

令和5年度
葛飾区区民モニターアンケート調査
第2回 一般モニター

報 告 書

- －「葛飾区の資源（古布）について」－
- －「健康診断等の実施医療機関について」－
- －「区民モニター調査（一般モニター）について」－

令和6年3月



目次

<u>I 調査概要</u>	1
<u>1. 調査の目的</u>	1
<u>2. 調査のテーマ</u>	1
<u>3. 調査の設計</u>	1
<u>4. 調査機関</u>	1
<u>5. 報告書の表記について</u>	1
<u>II 回答者の属性</u>	2
<u>III 調査結果の詳細</u>	6
<u>1. 葛飾区の資源（古布）について</u>	6
<u>(1) ファッション産業の課題の認知度</u>	6
<u>(2) 課題を解決するために大切なこと</u>	8
<u>(3) 毎年の古着・古布の処分量</u>	10
<u>(4) 古着の処分方法</u>	12
<u>(5) 古布（古着）の拠点回収の認知度</u>	14
<u>(6) 古布（古着）の拠点回収をどこで知ったか</u>	16
<u>(7) どのような方法なら拠点回収を利用したいか</u>	18
<u>(8) 古布（古着）の集団回収の認知度と利用の有無</u>	20
<u>(9) 古布（古着）の集団回収をどこで知ったか</u>	22
<u>(10) どのような方法なら集団回収を利用したいか</u>	24
<u>(11) 古着の回収ボックスの利用有無</u>	25
<u>(12) 衣服（古着を含む）を購入する際の手段</u>	27
<u>(13) 「ベビー服・子ども服&マタニティ服 洋服交換会」の認知度</u>	29
<u>(14) 古布回収の周知について必要だと思うもの</u>	31
<u>(15) 「繊維to繊維」の協定締結の認知度</u>	33
<u>(16) 古布についてのご意見</u>	35
<u>2. 健康診断等の実施医療機関について</u>	37
<u>(17) 医療機関を選ぶ基準</u>	37
<u>(18) 健康診断や予防接種を受ける際の区公式ホームページの利用有無</u>	39
<u>(19) 区内かかりつけ医の有無</u>	41
<u>(20) 健康診断や予防接種の実施医療機関の情報で不足していると感じるもの</u>	43

<u>(21) 健康診断などに同封されている紙媒体の医療機関一覧を見たことがあるか</u>	45
<u>(22) 実施医療機関一覧から特定の医療機関を探す際の見つけやすさ</u>	47
<u>(23) 実施医療機関一覧の文字の大きさについて</u>	49
<u>(24) 実施医療機関一覧の内容更新の頻度について</u>	51
<u>(25) 実施医療機関一覧の満足度</u>	53
<u>(26) 実施医療機関一覧が無くなったら困るか</u>	55
<u>(27) 実施医療機関一覧についてのご意見</u>	57
3. <u>区民モニター調査について</u>	58
<u>(28) 各回の調査テーマの内容や設問のわかりやすさ</u>	58
<u>(29) 各回の調査設問数について</u>	61
<u>(30) 選択設問と自由記述設問の割合について</u>	63
<u>(31) 次年度の調査回数（5回）について</u>	65
<u>(32) 区民モニター調査についてモニターの立場から必要だと思うこと</u>	67
<u>(33) 区民モニター調査の希望回答方法</u>	69
<u>(34) 各回の調査報告書の閲読度</u>	71
<u>(35) 区民モニターの活動をする以前に区に対して意見や要望を伝えたことはあるか</u>	73
<u>(36) 区政への関心度</u>	75
<u>(37) またモニターとして活動したいか</u>	77
<u>(38) 区民モニター調査に関する意見</u>	79

I 調査概要

1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募により決定した「区民モニター」から、適時かつ具体的なお意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

2. 調査のテーマ

- (1) 葛飾区の資源（古布）について
- (2) 健康診断等の実施医療機関について
- (3) 区民モニター（一般モニター）調査について

3. 調査の設計

- (1) 調査対象 一般モニター200名
- (2) 調査方法 郵送での調査の配付・回収（インターネット回答併用）
- (3) 調査期間 令和5年12月1日（金）～12月22日（金）
- (4) 有効回収数 166名（郵送回収：91名、インターネット回答：75名）

4. 調査機関

株式会社都市計画 2 1

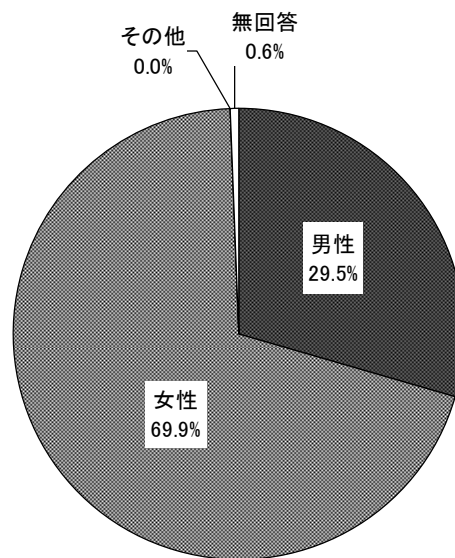
5. 報告書の表記について

- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。

※この報告書は、区公式ホームページ（<http://www.city.katsushika.lg.jp/>）に掲載している。
（トップページ＞区政情報＞統計・調査＞調査）

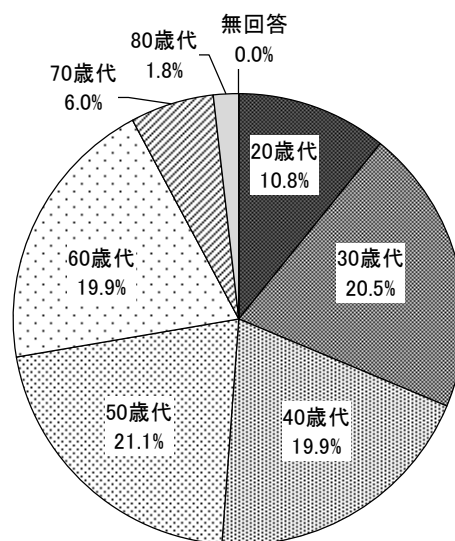
II 回答者の属性

(1) 性別



n=166

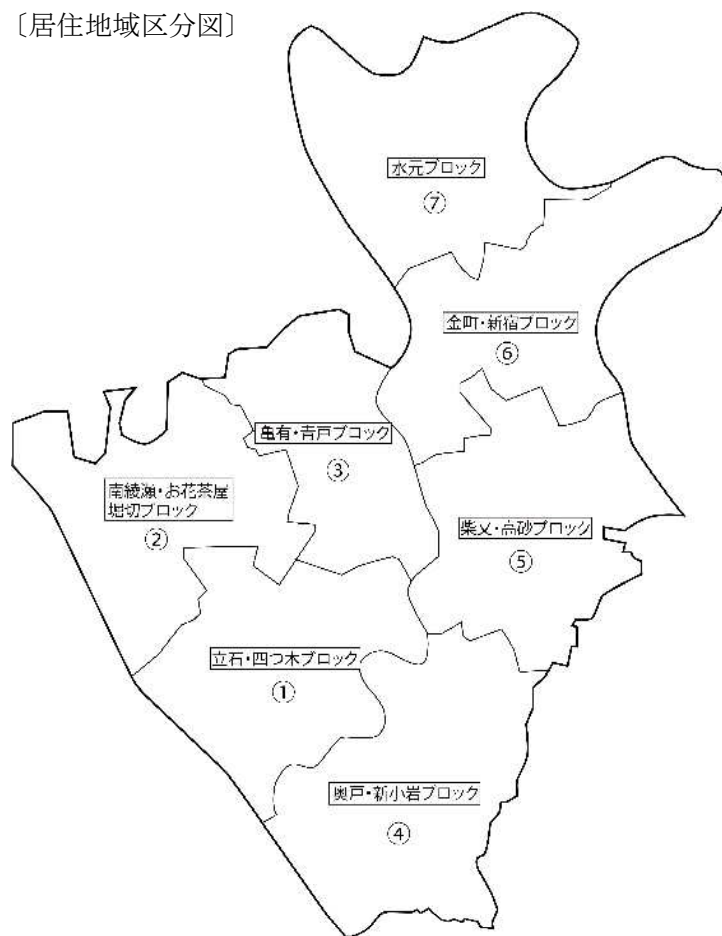
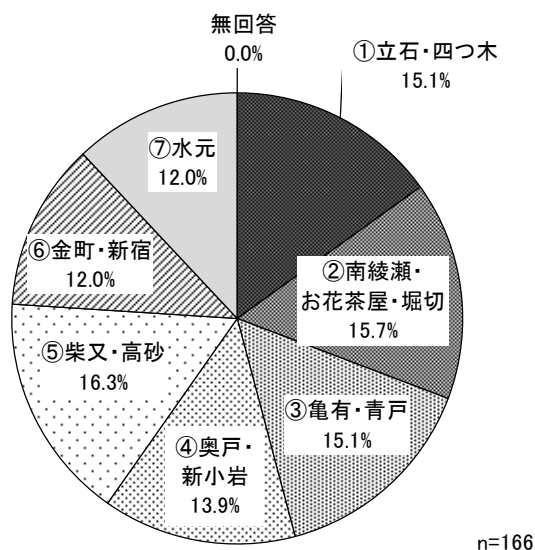
(2) 年齢層



n=166

(3) 居住地域 (7区分)

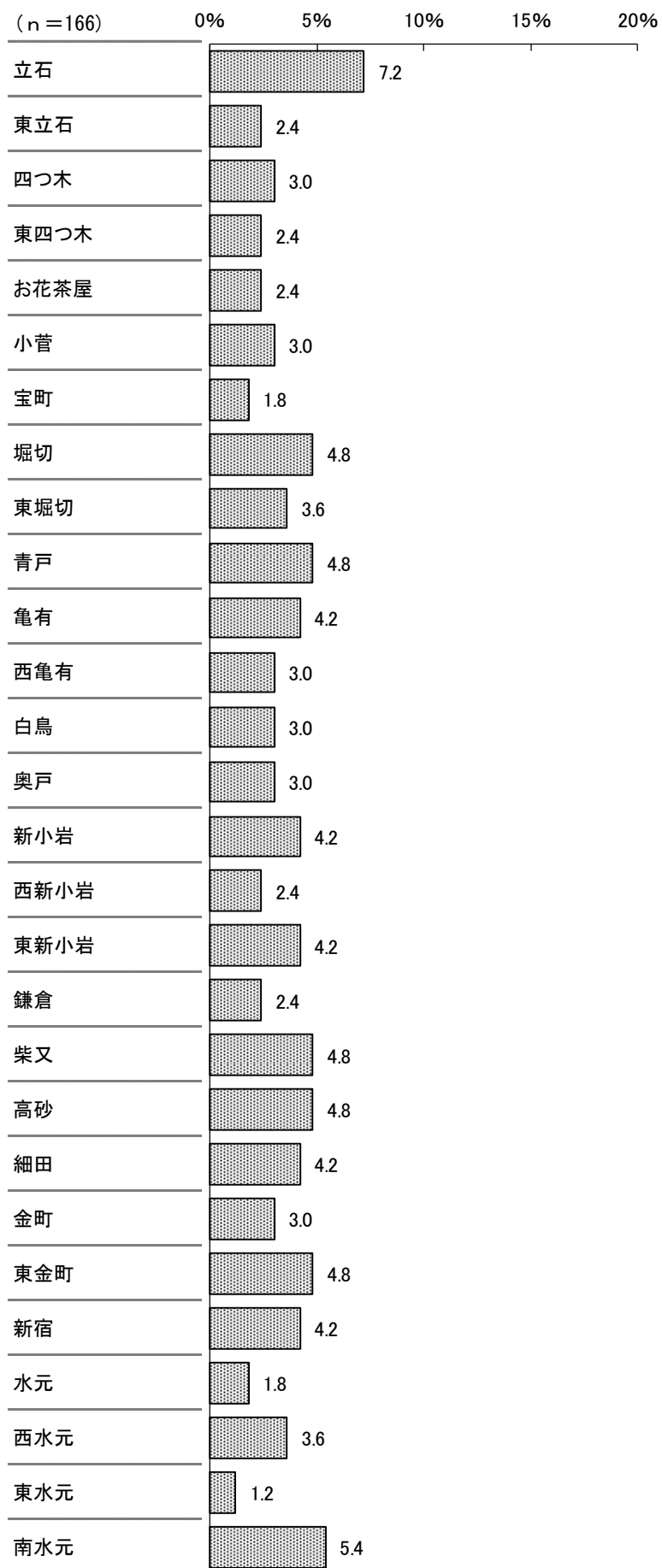
〔居住地域区分図〕



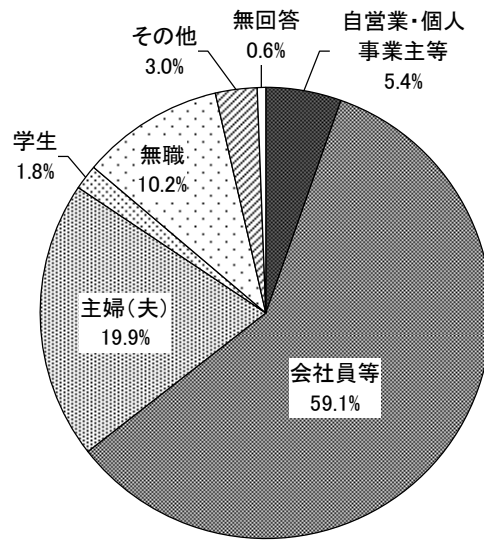
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

(4) 居住地域 (28区分)



(5) 職業



n=166

(6) 居住地域別 (7 区分) × 性別・年代別

(%)

		立石・四つ木	南綾瀬・お花茶屋・堀切	亀有・青戸	奥戸・新小岩	柴又・高砂	金町・新宿	水元	無回答
n									
全	体 (166)	15.1	15.7	15.1	13.9	16.3	12.0	12.0	
【性別別】	男性 (49)	18.4	16.3	14.3	10.2	14.3	12.2	14.3	
	女性 (116)	13.8	15.5	15.5	15.5	17.2	12.1	10.3	
【年代別】	20 歳代 (18)	5.6	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	27.8	
	30 歳代 (34)	8.8	17.6	20.6	17.6	17.6	8.8	8.8	
	40 歳代 (33)	15.2	15.2	18.2	12.1	18.2	12.1	9.1	
	50 歳代 (35)	17.1	17.1	8.6	17.1	17.1	14.3	8.6	
	60 歳代 (33)	30.3	9.1	9.1	15.2	15.2	9.1	12.1	
	70 歳代 (10)	40.0	10.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	
	80 歳代 (3)	33.3	33.3	33.3					

Ⅲ 調査結果の詳細

1. 葛飾区の資源（古布）について

区では区内から排出される年間約 200 トンの古布を、集団回収や拠点回収で資源として回収していますが、その回収分の 20～30%が資源化不適合物として焼却されており、燃やすごみとして排出されている繊維製品も推計で年間 2,000～3,000 トンあります。

区は令和 5 年 3 月 31 日に、一般社団法人 Textile Circular Network と協定を締結し、焼却されてしまう古布を可能な限り繊維製品として再生する取組である「繊維 to 繊維」を推進し、資源化率の向上に努めていくこととしました。

このたび、区内で実施している集団回収の取組を強化し、古布（衣類）の回収量の増加とごみ量の削減をより進めていくため、区民の皆様の古布に関する認知度等を確認し、今後の参考とするため区民モニターの皆様にご意見を伺います。

(1) ファッション産業の課題の認知度

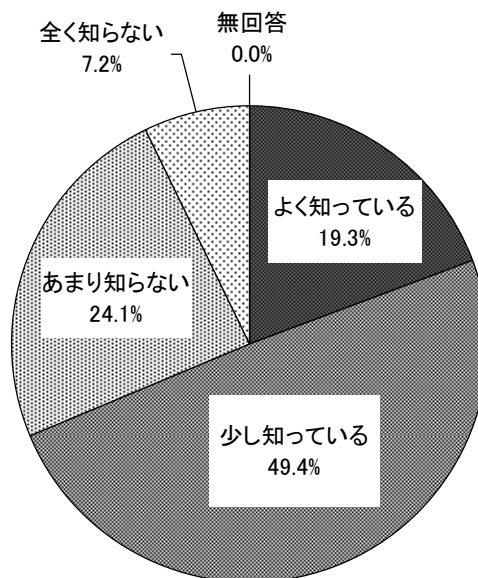
問 1 あなたは、衣服などのファッション産業が大量生産・大量消費・大量廃棄により、製造にかかる資源やエネルギー使用の増加、ライフサイクルの短命化などから環境負荷が非常に大きい産業と指摘されるようになり、国際的な課題となっていることを知っていますか。（○は 1 つ）

ファッション産業の国際的な課題の認知度は、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた【知っている（計）】が 68.7%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた【知らない（計）】が 31.3%となっている。

性別で見ると、【知っている（計）】は、男性が 71.5%で女性の 67.2%より高くなっている。

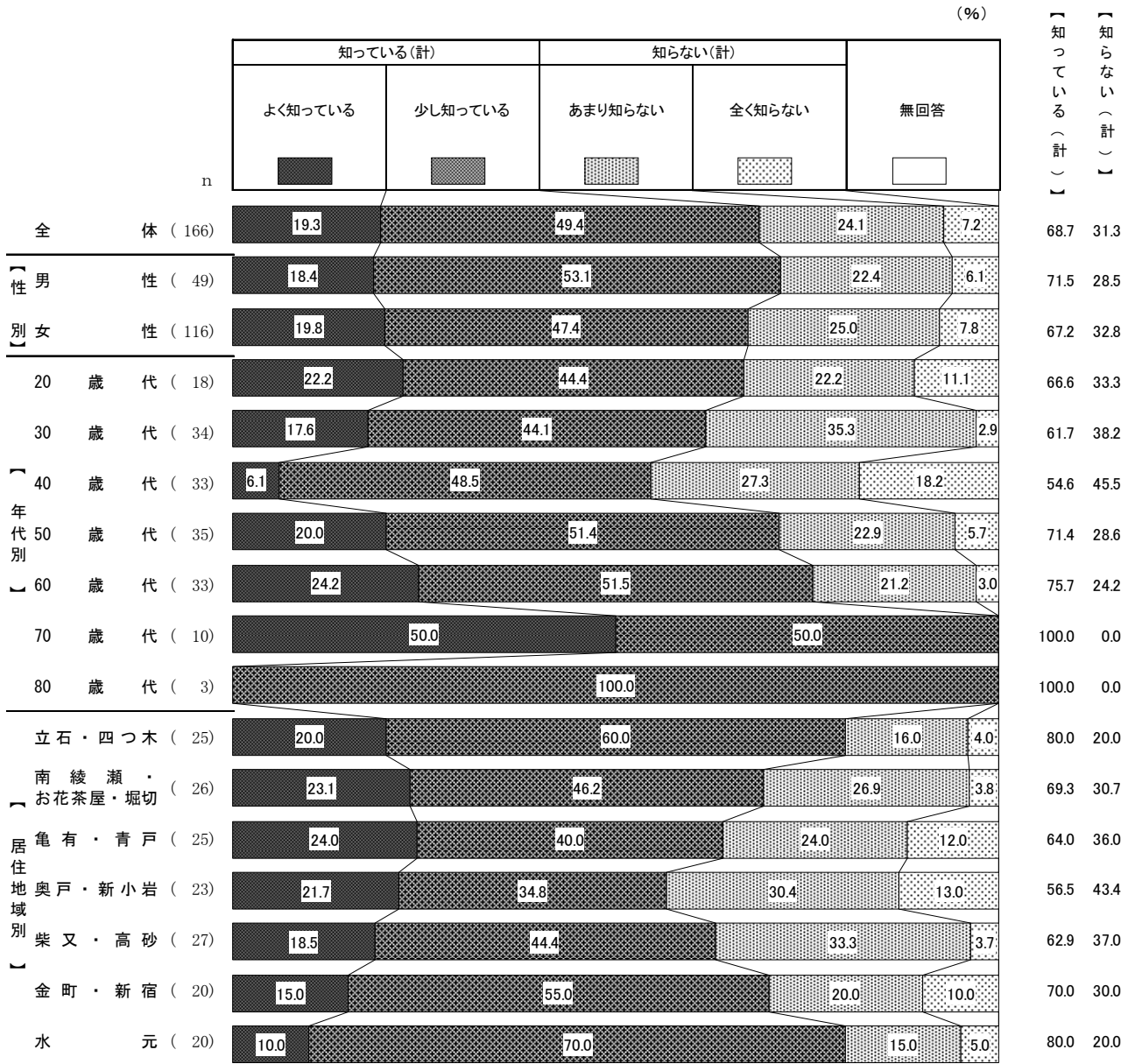
年代別で見ると、【知っている（計）】は、40 歳代を除く全ての年代で 6 割以上となっている。

図表－1 ファッション産業の課題の認知度（全体）



n=166

図表-2 ファッション産業の課題の認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(2) 課題を解決するために大切なこと

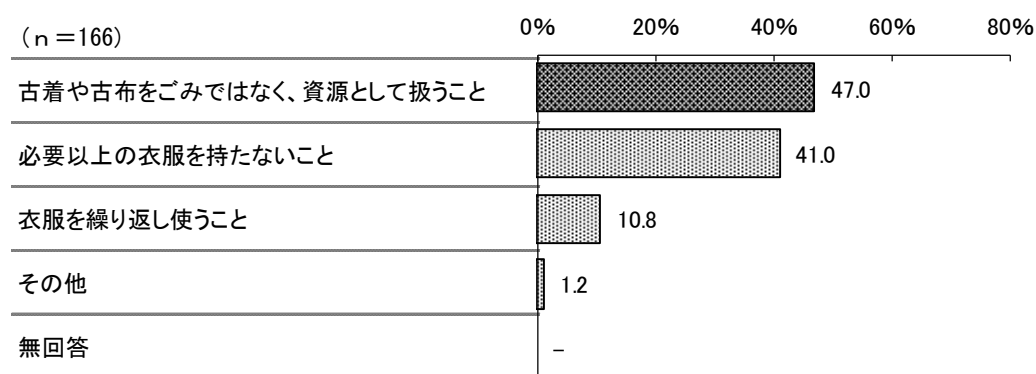
問2 あなたは、【問1】にあるような課題を解決するために、一番大切なことはどれだと思いますか？（〇は1つ）

課題を解決するために大切なことは、「古着や古布をごみではなく、資源として扱うこと」が47.0%で最も高く、次いで「必要以上の衣服を持たないこと」が41.0%、「衣類を繰り返し使うこと」が10.8%となっている。

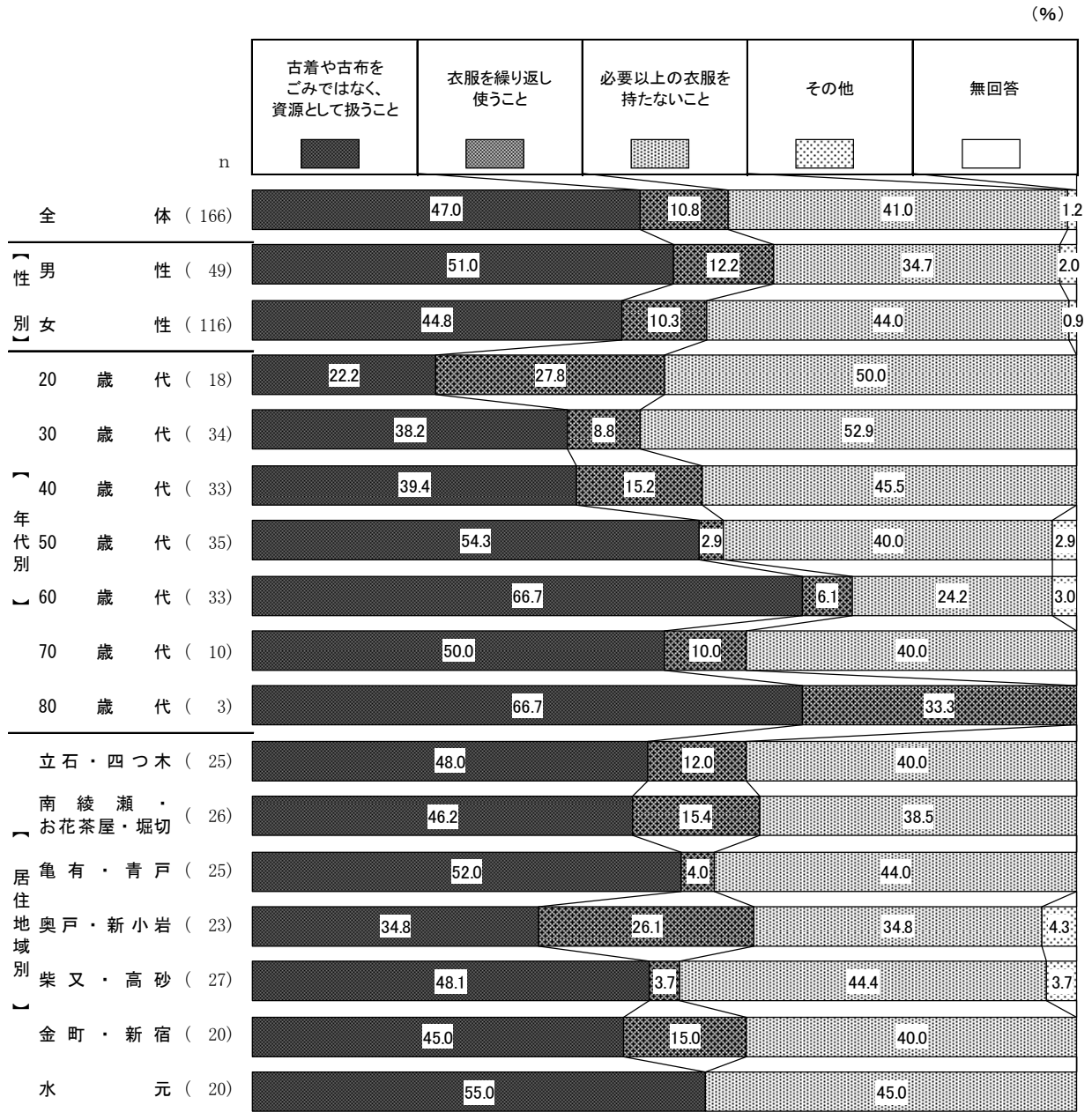
年代別でみると、「古着や古布をごみではなく、資源として扱うこと」は、20歳代を除く全ての年代で3割以上となっている。一方、「必要以上の衣服を持たないこと」は、20歳代で27.8%と最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「全部実行するべき」などがある。

図表-3 課題を解決するために大切なこと（全体）



図表－４ 課題を解決するために大切なこと
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



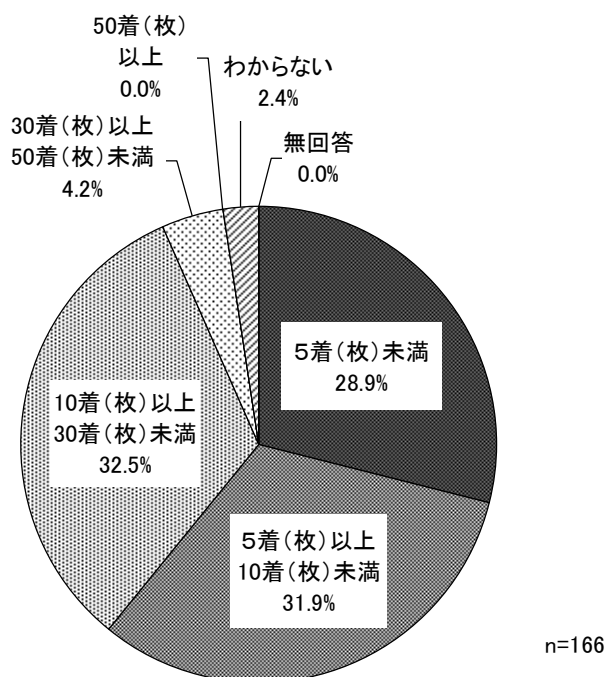
(3) 毎年の古着・古布の処分量

問3 あなたは、毎年、どれぐらいの古着や古布を処分しますか？（世帯単位の枚数をご回答ください）（○は1つ）

毎年の古着・古布の処分量は、「10着（枚）以上30着（枚）未満」が32.5%で最も高く、次いで「5着（枚）以上10着（枚）未満」が31.9%、「5着（枚）未満」が28.9%となっている。

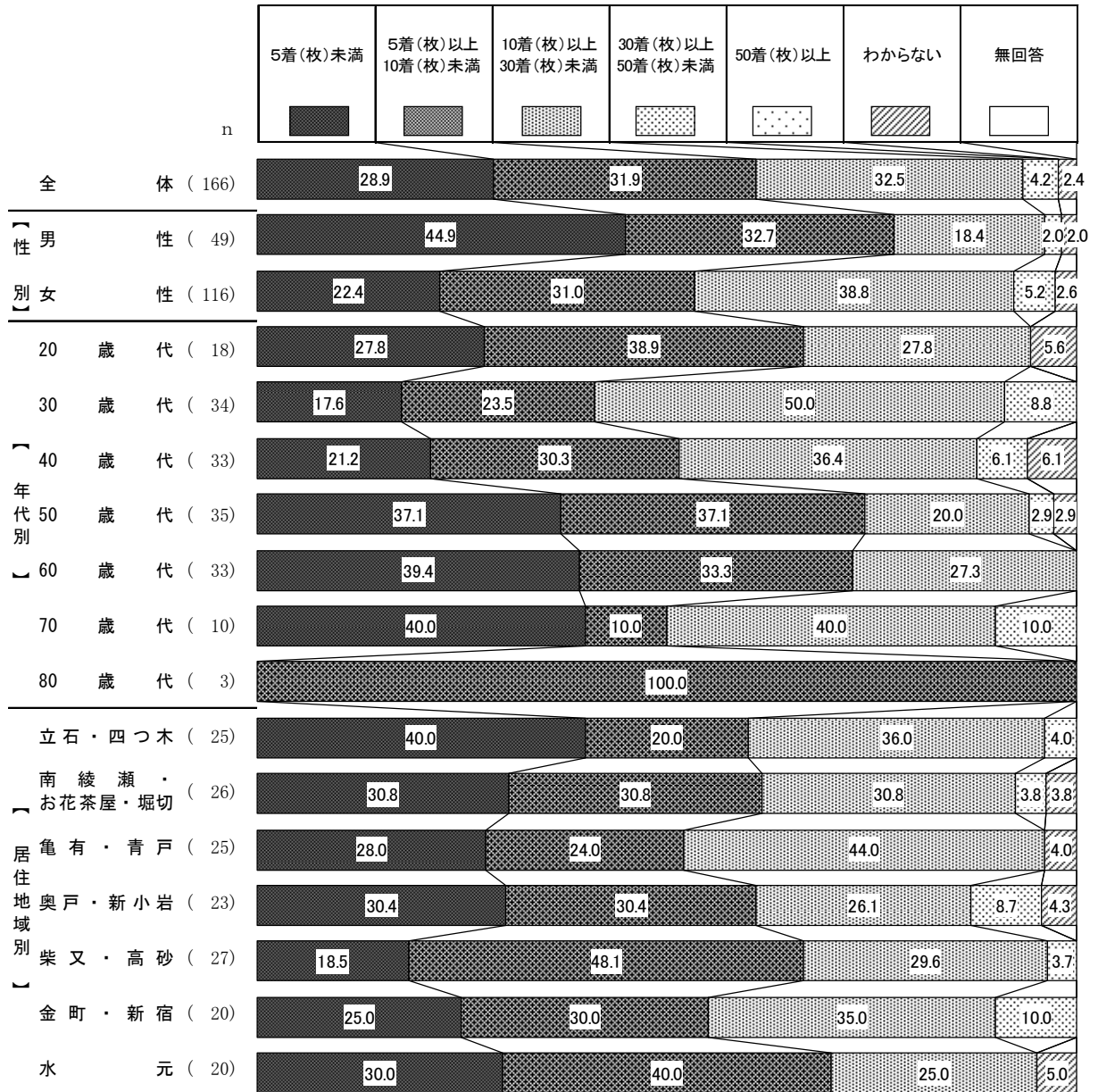
性別でみると、「5着（枚）未満」では、男性が44.9%で女性の22.4%より高くなっている。一方、「10着（枚）以上30着（枚）未満」では、女性が38.8%で男性の18.4%より高くなっている。年代別でみると、「10着（枚）以上30着（枚）未満」が、30歳代で5割となっている。

図表－5 毎年の古着・古布の処分量（全体）



図表－6 毎年の古着・古布の処分量
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(4) 古着の処分方法

問4 あなたは、古着を処分する際、どのようにしていますか？

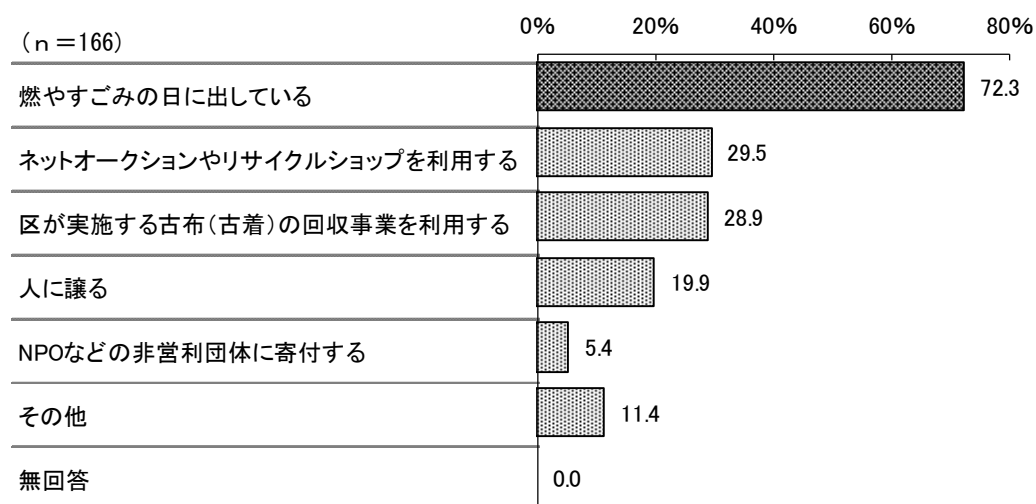
(あてはまるものすべてに○)

古着の処分方法は、「燃やすごみの日に出している」が72.3%で最も高く、次いで「ネットオークションやリサイクルショップを利用する」が29.5%、「区が実施する古布（古着）の回収事業を利用する」が28.9%となっている。

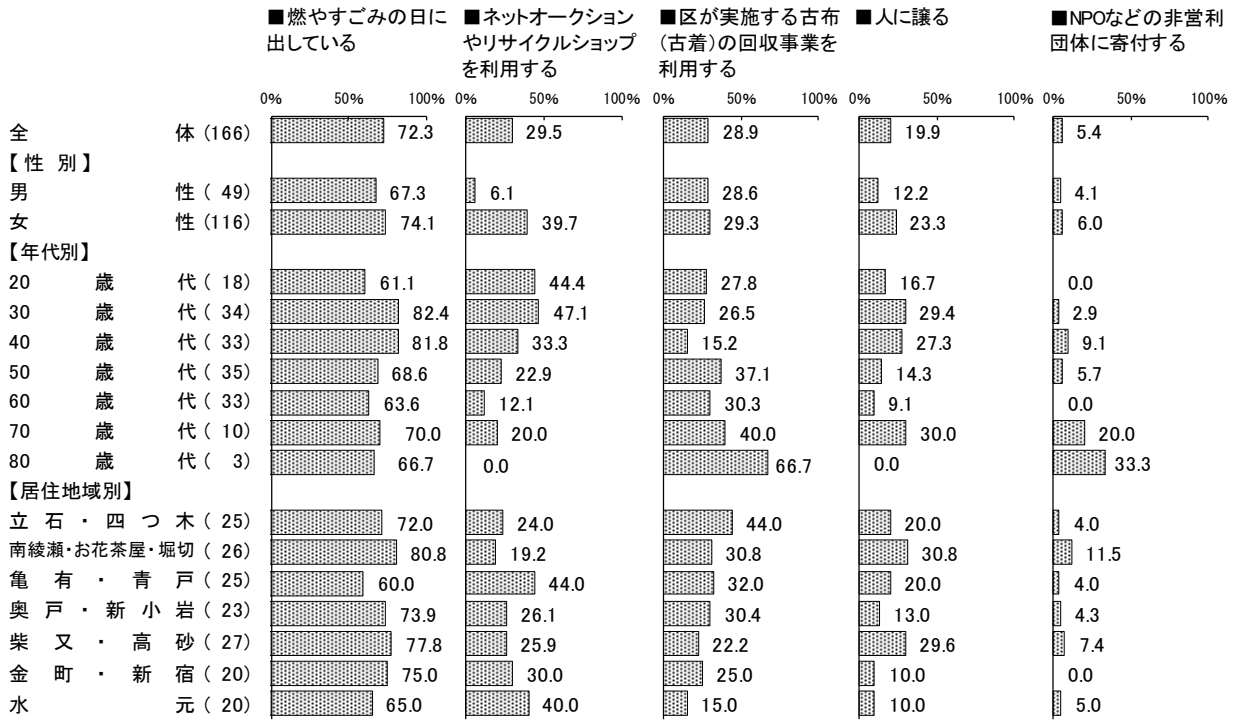
年代別で見ると、「ネットオークションやリサイクルショップを利用する」では、20歳代と30歳代で4割以上と高くなっている。

「その他」の意見としては、「お店の回収ボックスを利用する」、「掃除などで再利用する」、「区の清掃事務所に持ち込んでいる」などがある。

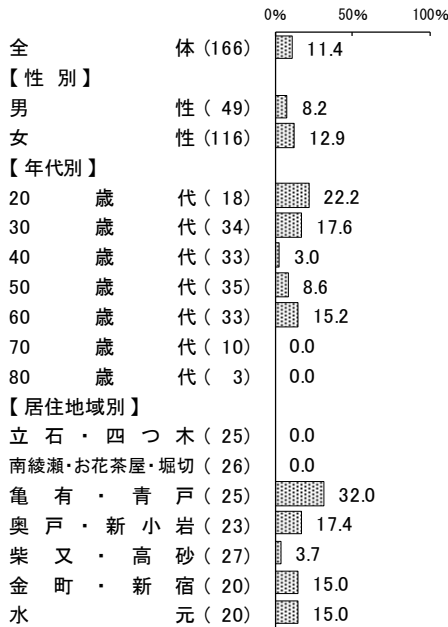
図表-7 古着の処分方法（全体）



図表－８ 古着の処分方法
(全体・性別・年代別・居住地域別)



■その他



(5) 古布（古着）の拠点回収の認知度

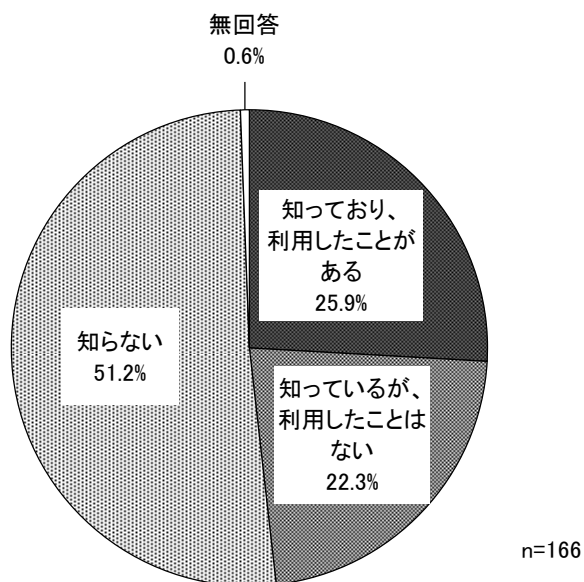
問5 あなたは、区の古布（古着）の拠点回収（※）を知っていますか。また、利用したことがありますか？（○は1つ）

※ 区では、区施設等にて日時・場所を限定し回収車を停車して回収する巡回方式と、区施設で回収ボックスを常設で設置する2つの方法で拠点回収を行っています。

区の古布（古着）の拠点回収の認知度は、「知らない」が51.2%で最も高く、次いで「知っており、利用したことがある」が25.9%、「知っているが、利用したことはない」が22.3%となっている。

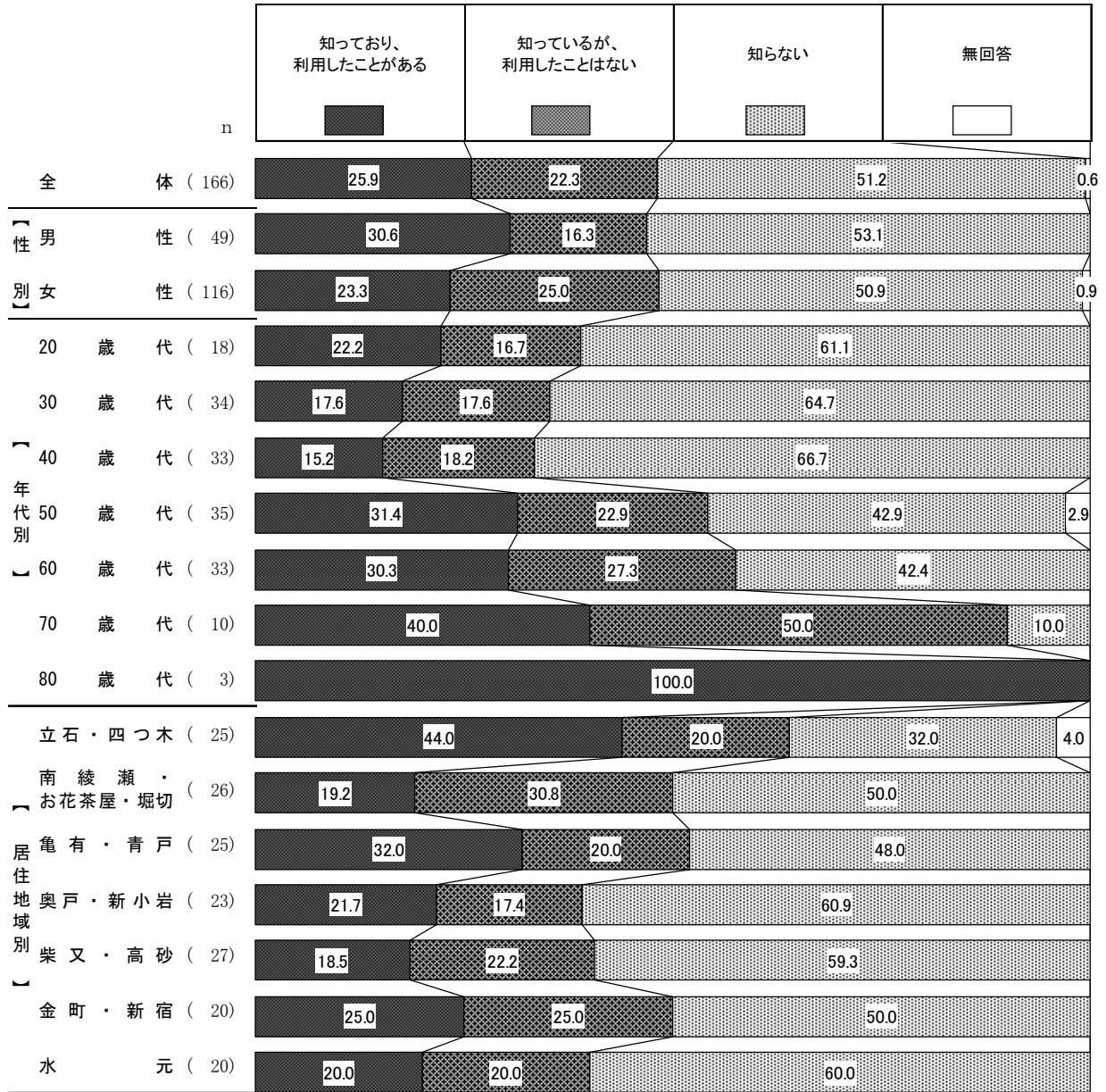
年代別で見ると、「知らない」は、20歳代から40歳代で6割以上と高くなっており、「知っており、利用したことがある」は、50歳代以上で3割以上となっている。

図表－9 古布（古着）の拠点回収の認知度（全体）



図表-10 古布（古着）の拠点回収の認知度
（全体・性別・年代別・居住地域別）

(%)



(6) 古布（古着）の拠点回収をどこで知ったか

問5で選択肢1「知っており、利用したことがある」・2「知っているが、利用したことはない」を選択した方にお伺いします。

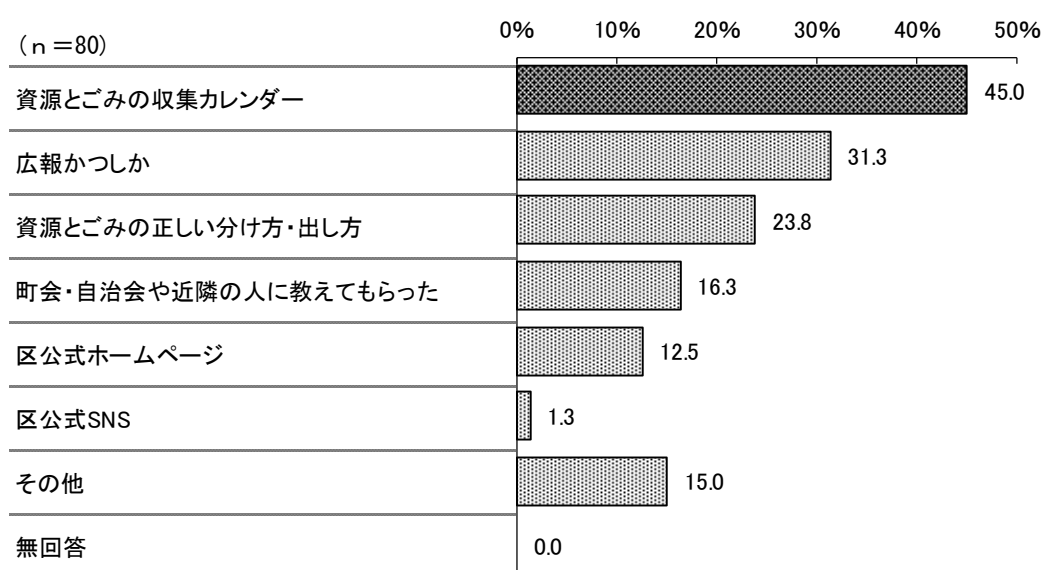
問6 区の古布（古着）の拠点回収をどこで知りましたか？（あてはまるものすべてに○）

古布（古着）の拠点回収をどこで知ったかは、「資源とごみの収集カレンダー」が45.0%で最も高く、次いで「広報かつしか」が31.3%、「資源とごみの正しい分け方・出し方」が23.8%となっている。

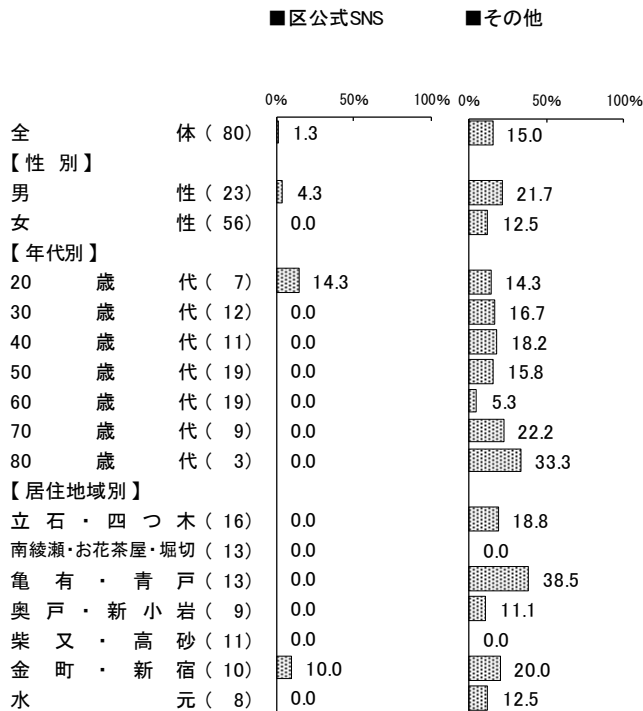
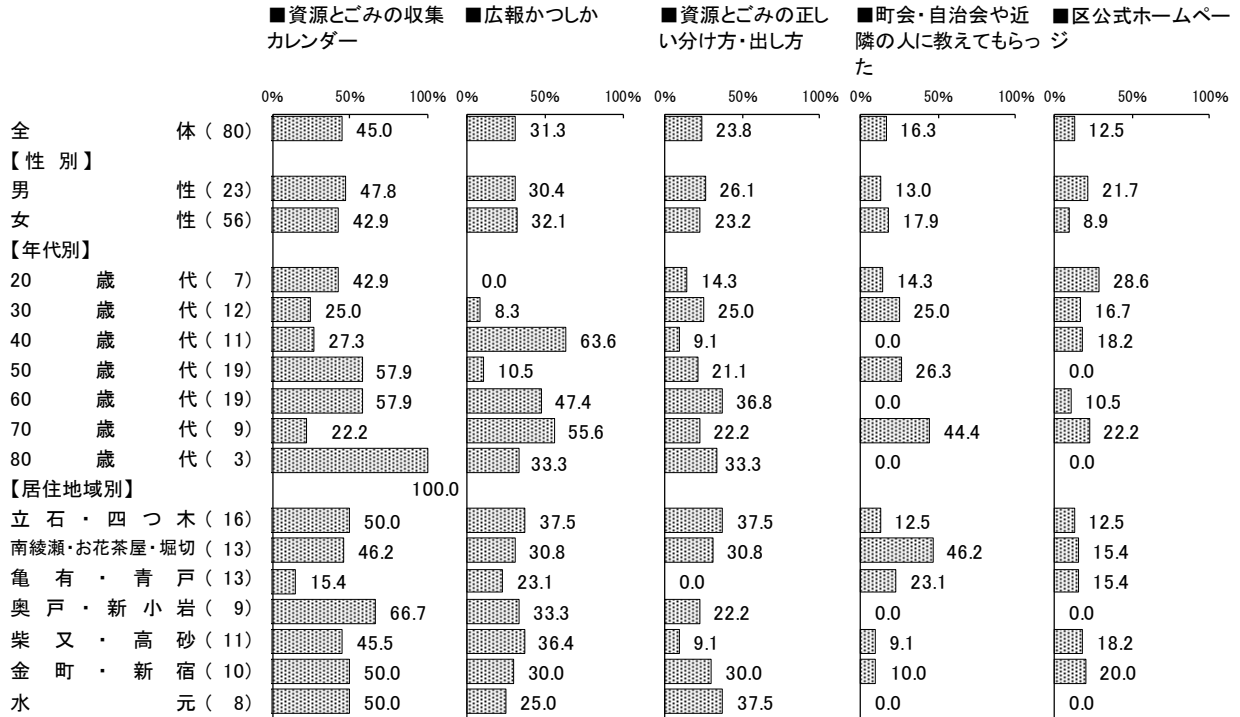
年代別でみると、40歳代と70歳代では、「広報かつしか」が5割以上と高くなっている。また、30歳代では、「資源とごみの収集カレンダー」と「資源とごみの正しい分け方・出し方」、「町会・自治会や近隣の人に教えてもらった」が、いずれも25.0%となっている。

「その他」の意見としては、「区役所に電話して確認した」、「回収BOXを直接見て知った」、「図書館利用時に見つけた」などがある。

図表-11 区の古布（古着）の拠点回収をどこで知ったか（全体）



図表-12 区 of 古布 (古着) の拠点回収をどこで知ったか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(7) どのような方法なら拠点回収を利用したいか

問7 どのような方法なら、拠点回収を利用したい、又はより利用したいと思いますか。

(自由記述)

【主なご意見】

<情報発信について>

- ・拠点の場所を広報紙に記載してほしい。
- ・小学校などでの周知を行ってほしい。
- ・わかりやすい事前告知や初回利用時にわくわくするような企画があると嬉しい。
- ・回収の日時と場所を目のつきやすい所でお知らせしてほしい。
- ・回収車がマイクで周知しながら走ってくれるとわかりやすい。
- ・もっと広報すべき。
- ・広報かつしかで、もっと大きく大切なこととして取り上げてほしい。

<回収方法について>

- ・自宅へ回収に来てくれる。
- ・スーパーや商業施設などでの回収。
- ・近隣の駅や学校での回収。
- ・郵送での回収が可能なこと。
- ・時間の制限なく、いつでも回収できる場所があると助かる。
- ・月2回の燃やさないごみの日に出せるようになること。
- ・回収ボックスを設置し、いつでも出せるようにする。
- ・土日の回収日を増やしてほしい。
- ・時間制限が無くなるとよい。
- ・いつも利用するごみ集積所において、決まった日にちで回収してくれること。
- ・コンビニエンスストアなど24時間持ち込める身近な場所で実施してほしい。
- ・スーパーや人の集まる場所に、いつでも持っていける回収ボックスのようなものがあるとよい。
- ・常設の回収場所を増やしてほしい。
- ・資源ごみの日に回収してもらえるのが一番出しやすい。
- ・刺繍の名前入りでも回収してもらえると助かる。
- ・自宅のごみ集積所で日にちを決めて回収してもらえると助かる。
- ・回収回数を増やすこと。
- ・家から近いと利用しようと思うが、遠いと荷物も重いし利用しないと思う。
- ・今の回収拠点で足りていると思う。

<その他>

- ・ポイント制や区内で利用できる金券のような特典があれば利用したい。
- ・古着の状態を確認し、引き取れないものはその場で処分してくれる。
- ・半透明の袋に入れなくても回収できるようになると利用しやすい。

- ・色付きや黒の袋、紙袋も使用可能だと利用しやすい。
- ・どのようなことに再利用しているか説明があると嬉しい。
- ・フリーマーケットやバザーのような催しを開催してほしい。
- ・どのような服を出しているかわからないようにする。
- ・子ども服交換会のような形式で実施する。
- ・ペットボトルのように拠点を決めて気軽に持ち込めるとありがたい。
- ・全く知らなかったのもっと周知してもらえれば古着を処分する際の選択肢に入っていたと思う。
- ・回収時の分別について、品目が多く利用しにくい。もう少し品目を絞り込んでほしい。
- ・もっと身近で、もっと出す人に利益が出るようなシステムならよい。
- ・今回、回収ボックスの常設場所を初めて知った。今後は利用したいと思う。
- ・気軽に持ち込めるような雰囲気にしてほしい。
- ・知っていれば回収を利用していたが、古着を回収していることを知らなかった。
- ・回収に出した服について、盗難対策をしっかりとしてほしい。
- ・かつしかエコライフプラザの拠点回収を利用しているが、限られた日だけでなくいつでも利用できるのが便利だと感じている。
- ・現在実施している方法でよいと思う。
- ・現在の方法で特に問題はないと思うが、仕事をしている人は平日の時間帯の対応が難しいので、週末の回収日を増やせれば利用しやすくなるかもしれない。

(8) 古布（古着）の集団回収の認知度と利用の有無

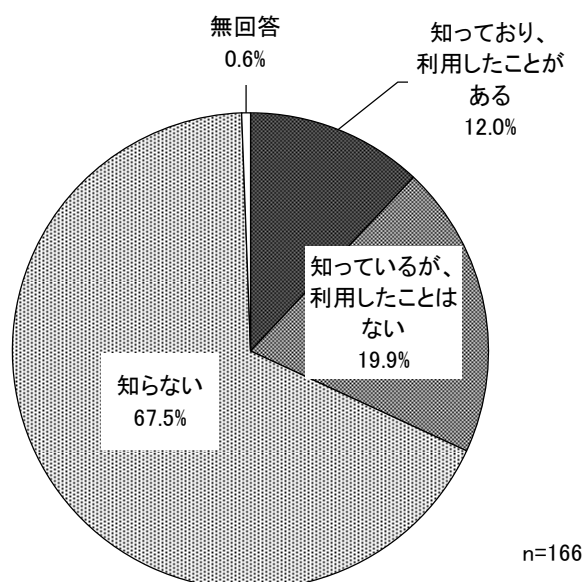
問8 あなたは、区の古布（古着）の集団回収（※）を知っていますか。また、利用したことがありますか？（○は1つ）

※ 区内の自治町会、子ども会などの住民親睦団体が、家庭から出る資源を持ち寄り、契約した回収業者に引き渡す自主的な資源リサイクル活動のこと。

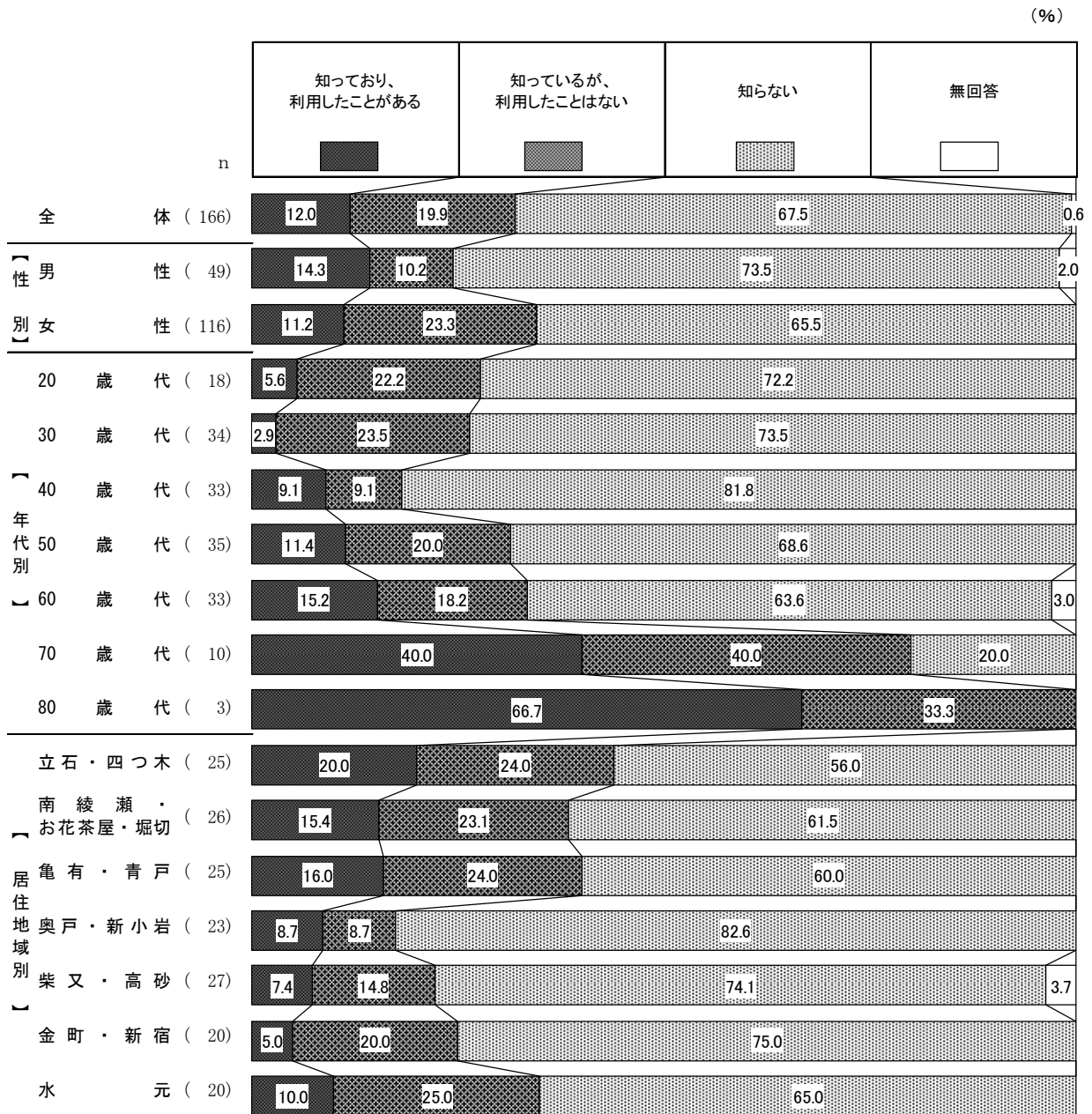
古布（古着）の集団回収の認知度と利用の有無は、「知らない」が67.5%で最も高くなっている。次いで、「知っているが、利用したことはない」が19.9%、「知っており、利用したことがある」が12.0%となっている。

年代別でみると、「知らない」は、20歳代から60歳代で6割以上となっている。一方で、70歳代と80歳代では、「知っており、利用したことがある」が4割以上と高くなっている。

図表-15 古布（古着）の集団回収の認知度と利用の有無（全体）



図表-16 古布（古着）の集団回収の認知度と利用の有無
（全体・性別・年代別・居住地域別）



(9) 古布（古着）の集団回収をどこで知ったか

問8で選択肢1「知っており、利用したことがある」・2「知っているが、利用したことはない」を選択した方にお伺いします。

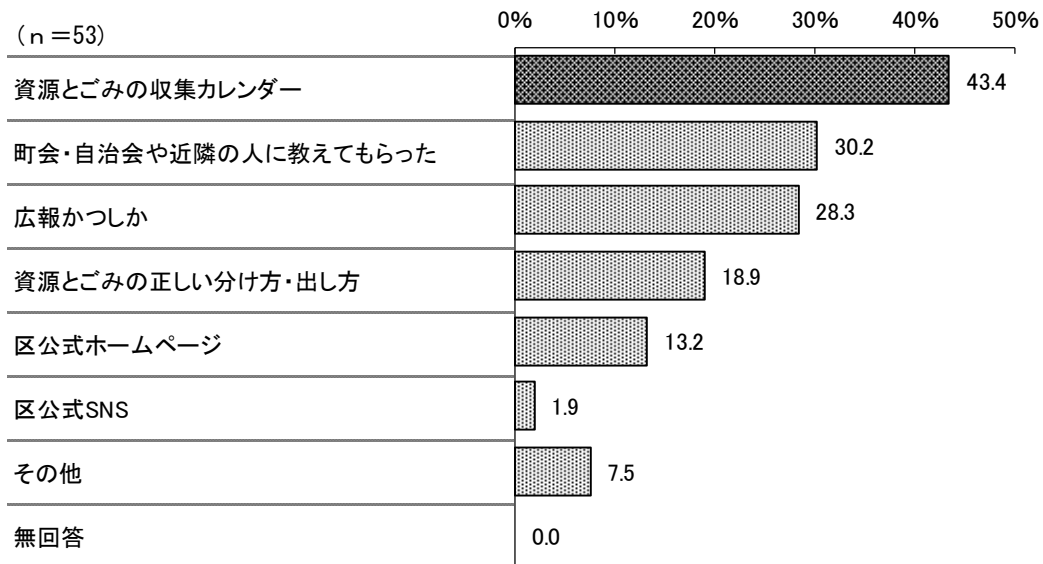
問9 区の古布（古着）の集団回収をどこで知りましたか？（あてはまるものすべてに○）

古布（古着）の集団回収を知った場所は、「資源とごみの収集カレンダー」が43.4%で最も高く、次いで「町会・自治会や近隣の人に教えてもらった」が30.2%、「広報かつしか」が28.3%となっている。

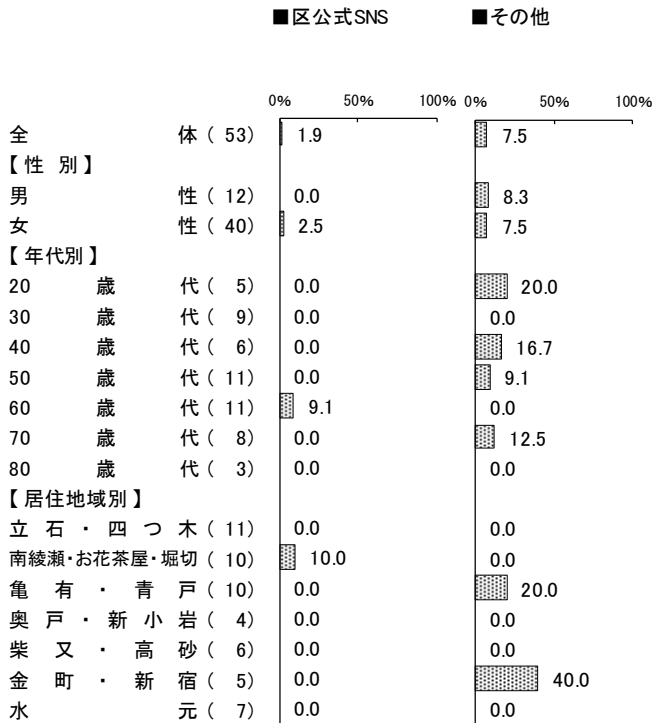
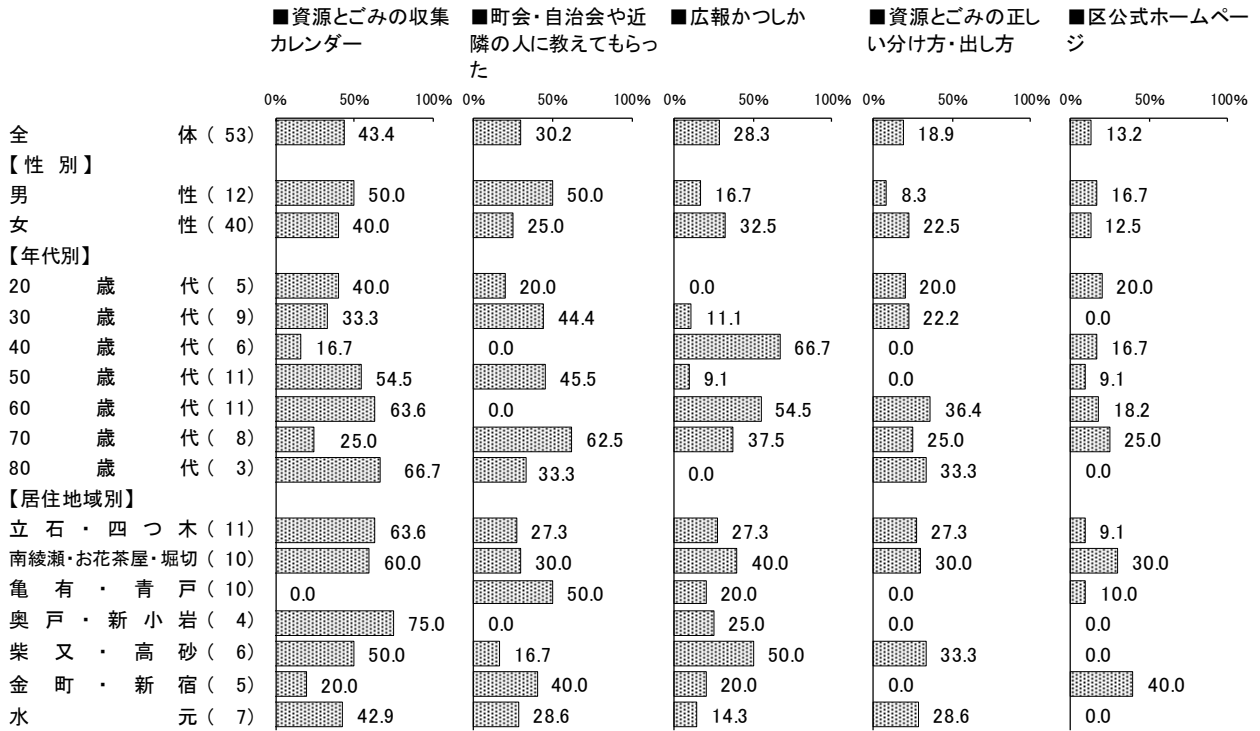
年代別でみると、「広報かつしか」は40歳代が66.7%と最も高くなっている。

「その他」の意見としては、「まちを歩いているときに見かけた」、「立石図書館で実際に利用した」、「PTA」などがある。

図表-17 古布（古着）の集団回収をどこで知ったか（全体）



図表-18 古布（古着）の集団回収をどこで知ったか
（全体・性別・年代別・居住地域別）



(10) どのような方法なら集団回収を利用したいか

問 10 どのような方法なら、集団回収を利用したい、又はより利用したいと思いますか。
(自由記述)

【主なご意見】

<情報発信について>

- ・広報かつしかで、大きくお知らせしてほしい。
- ・チラシなどを関係部署等に置いてほしい。
- ・SNS やポスターで呼びかける。
- ・自治町会等で集団回収についてお知らせする。
- ・町会の掲示板で案内があったら積極的に参加したい。
- ・実施日時の周知を増やせたら利用できるのではないかと思う。
- ・今回初めて知ったので、回収についてもっと周知してほしい。

<回収方法について>

- ・お祭りやイベント時に回収ボックスを配置する。
- ・子ども会の廃品回収で新聞や空き缶などは出しているので、古布も回収してくれると助かる。
- ・町会の資源ごみ回収の日に実施する。
- ・学校で集団回収を実施したらどうか。
- ・子どものいる家庭の方が不要となる服も多いと思うので、子ども会やPTA などの単位で実施するのがよいと思う。

<その他>

- ・古着を買い取ってくれるなら利用したい。
- ・回収日を告示しておき、指定の場所に置く方法であれば利用しやすいと思う。
- ・回収したものを抜き取って転売する等の不正行為がないと確認できれば、安心して利用できる。
- ・自分の子どもが子ども会に入ったり、自治町会と関わりが増えるなどすれば利用すると思う。
- ・周囲の人に古い洋服など見られたくないものもあるので、集団回収は利用したいと思えない。
- ・集団回収は負担が大きいと思う。

※このほか、問7と同様のご意見を多数お寄せいただきました。

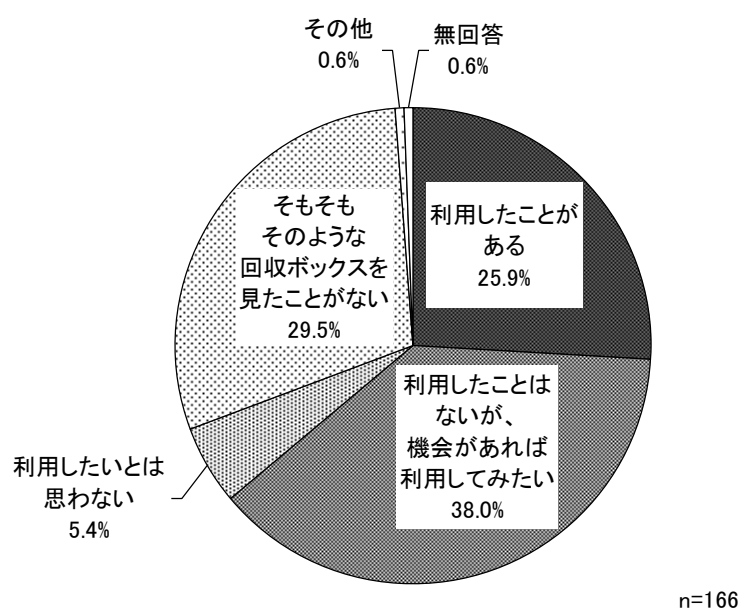
(11) 古着の回収ボックスの利用有無

問 11 あなたは、民間企業が店舗などに設置している古着の回収ボックスを利用したことがありますか？（○は1つ）

古着の回収ボックスの利用有無は、「利用したことはないが、機会があれば利用してみたい」が38.0%で最も高く、次いで「そもそもそのような回収ボックスを見たことがない」が29.5%、「利用したことがある」が25.9%となっている。

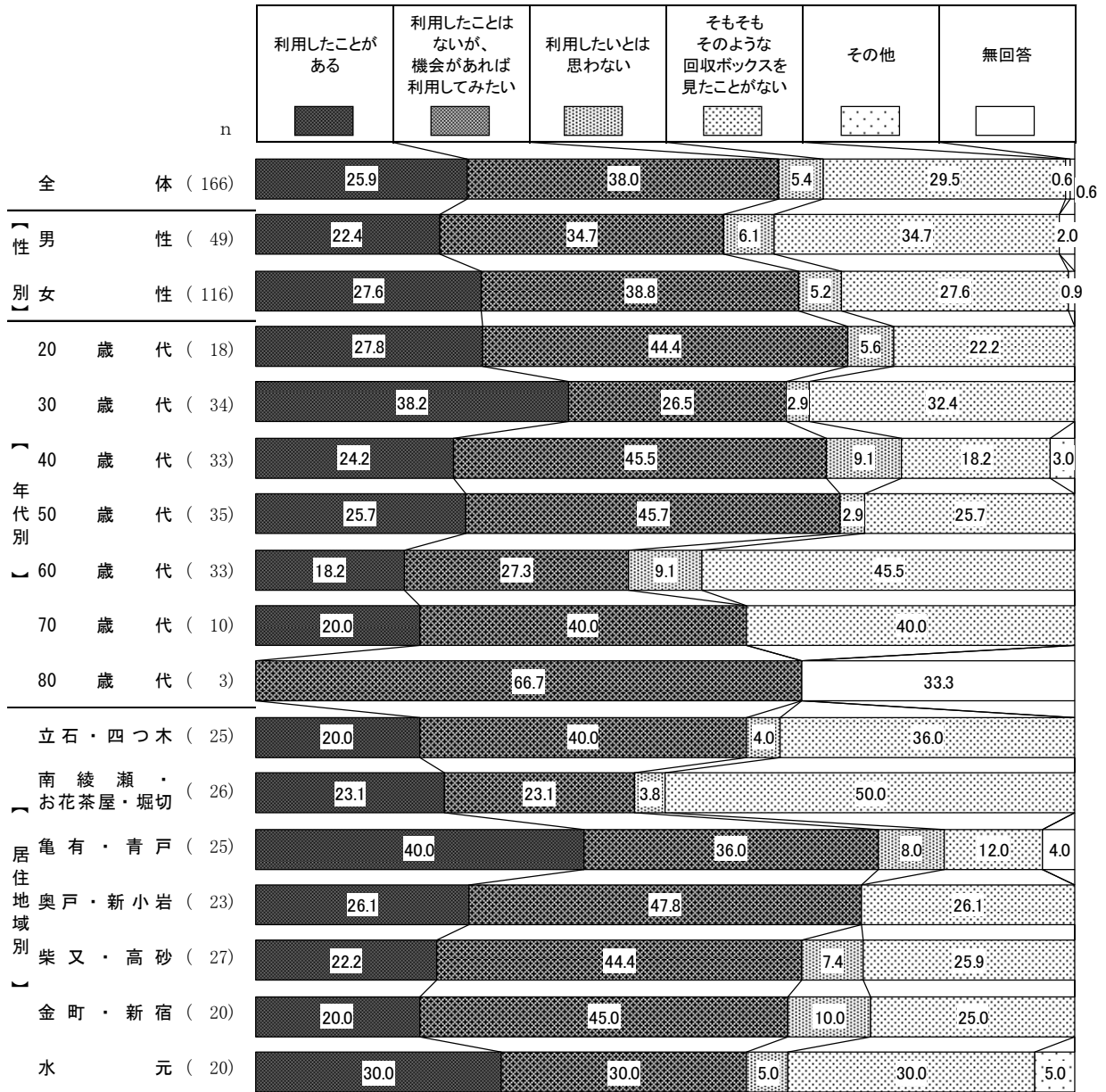
年代別でみると、「利用したことがある」は、30歳代が38.2%で最も高く、次いで20歳代が27.8%となっている。

図表-19 古着の回収ボックスの利用有無（全体）



図表-20 古着の回収ボックスの利用有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



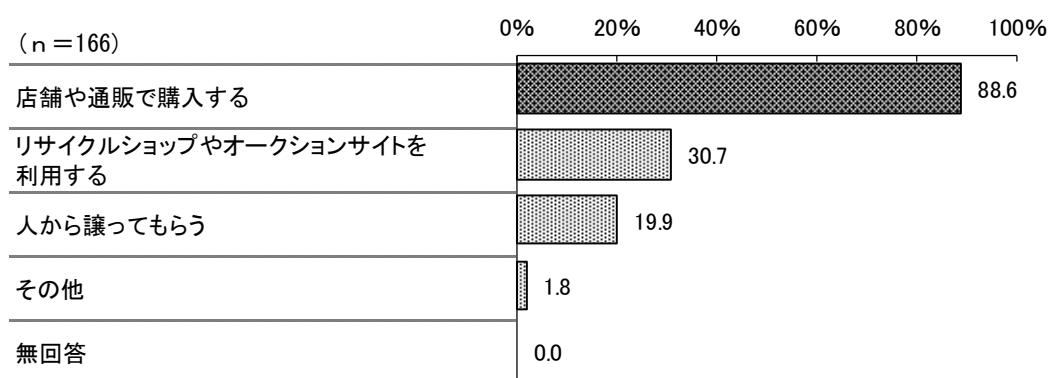
(12) 衣服（古着を含む）を購入する際の手段

問 12 あなたは、衣服（古着を含む）を購入する際、どのような手段で購入しますか？
（あてはまるものすべてに○）

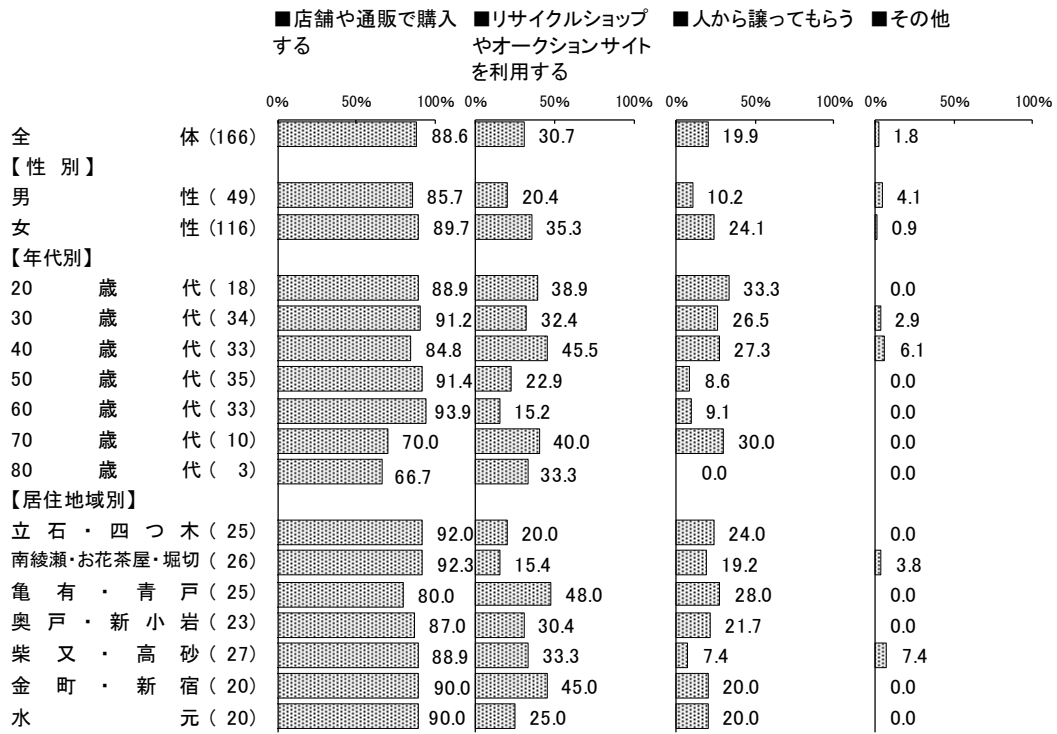
衣服（古着を含む）を購入する際の手段は、「店舗や通販で購入する」が 88.6%で最も高く、次いで「リサイクルショップやオークションサイトを利用する」が 30.7%、「人から譲ってもらう」が 19.9%となっている。

年代別でみると、「店舗や通販で購入する」は、全ての年代で6割以上、「人から譲ってもらう」は、20歳代と70歳代で3割以上となっている。

図表-21 衣服（古着を含む）を購入する際の手段（全体）



図表-22 衣服（古着を含む）を購入する際の手段
（全体・性別・年代別・居住地域別）



(13) 「ベビー服・子ども服&マタニティ服 洋服交換会」の認知度

問 13 あなたは、区が実施する「ベビー服・子ども服&マタニティ服 洋服交換会」(※)を知っていますか？(○は1つ)

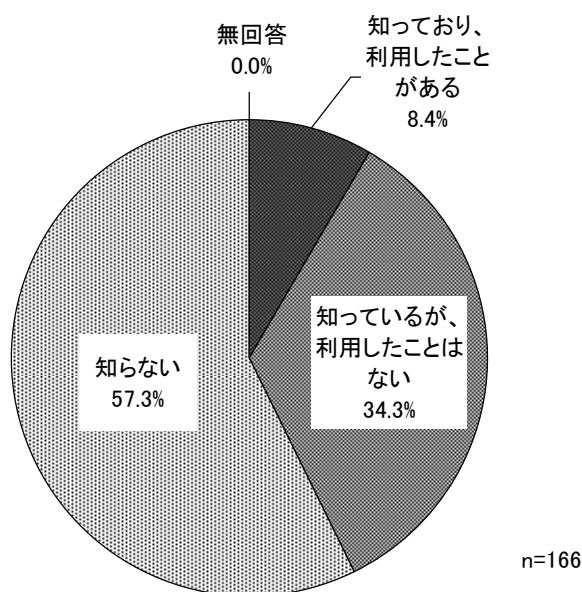
※ 区民の皆様に子ども服やマタニティ服を持ち寄っていただき、会場にある洋服と交換できるイベント。

「ベビー服・子ども服&マタニティ服 洋服交換会」の認知度は、「知らない」が57.3%で最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が34.3%、「知っており、利用したことがある」が8.4%となっている。

年代別でみると、「知らない」は、全ての年代で3割以上となっており、60歳代と80歳代で8割以上となっている。

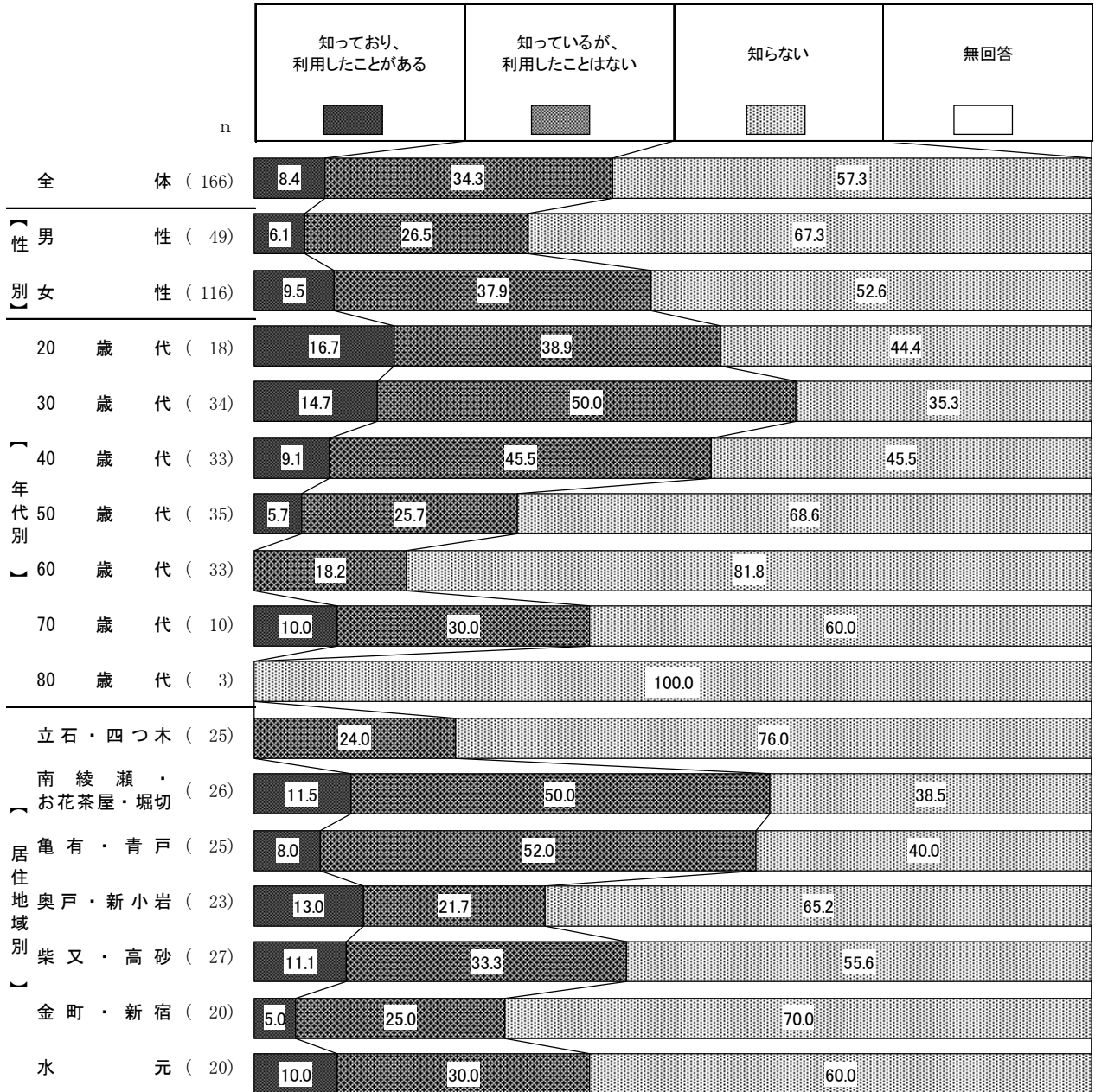
「知っており、利用したことがある」は、20歳代と30歳代、70歳代が1割以上となっている。

図表-23 「ベビー服・子ども服&マタニティ服 洋服交換会」の認知度(全体)



図表-24 「ベビー服・子ども服&マタニティ服 洋服交換会」の認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(14) 古布回収の周知について必要だと思うもの

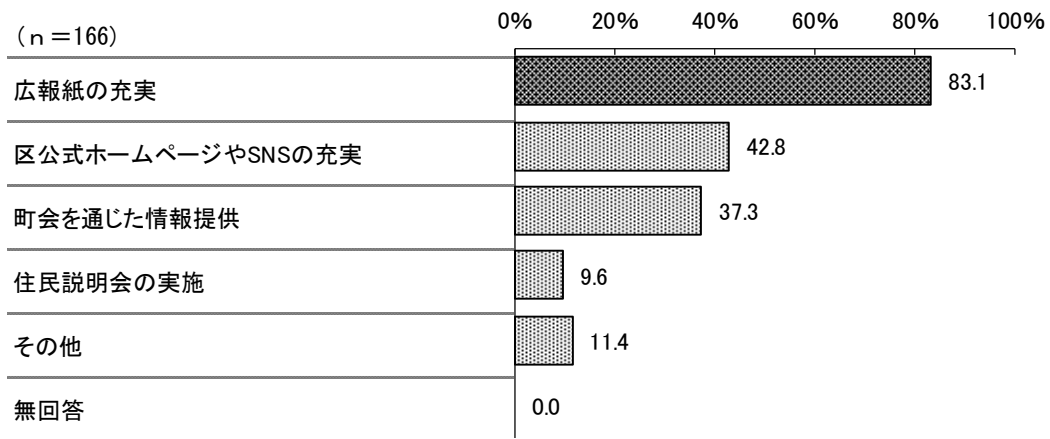
問 14 区古布の回収について、区民の方々により知っていただくためには何が必要だと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

古布の回収の周知について必要だと思うものは、「広報紙の充実」が 83.1%で最も高く、「区公式ホームページや SNS の充実」が 42.8%、「町会を通じた情報提供」が 37.3%となっている。

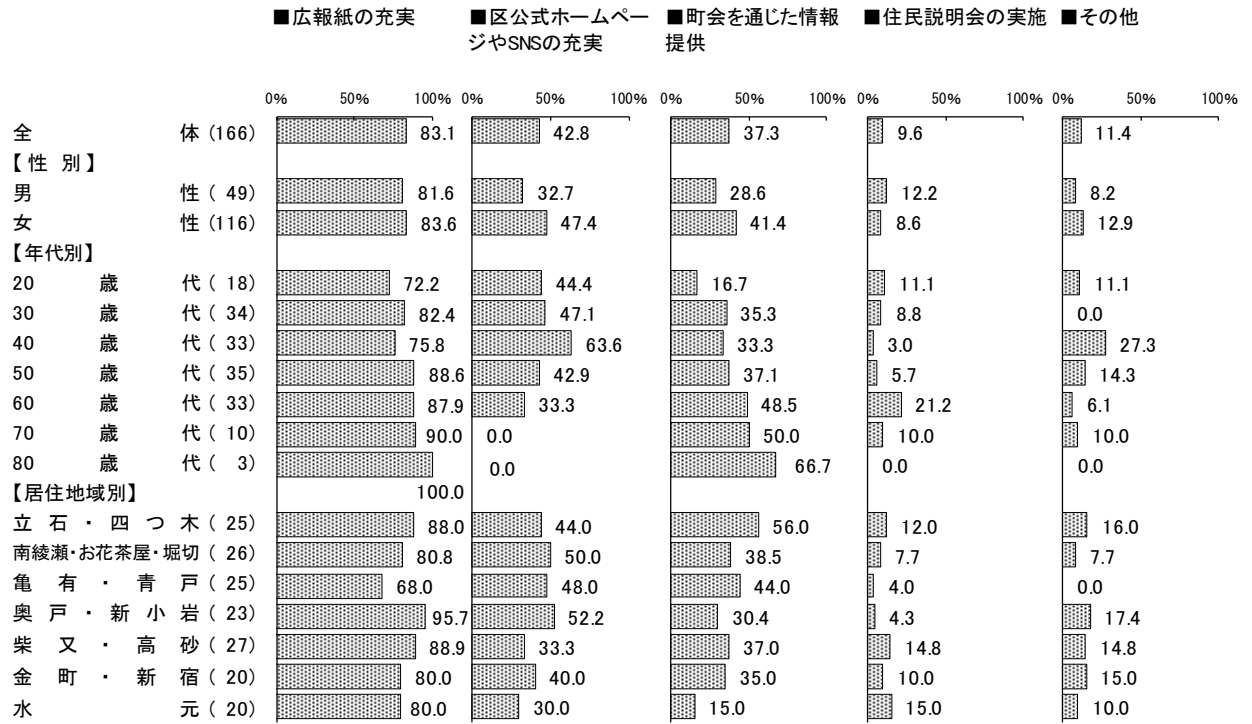
年代別でみると、「広報紙の充実」は、全ての年代で7割以上となっている。また、「区公式ホームページや SNS の充実」は、50 歳代以下の年代で4割以上と高くなっている。

「その他」の意見としては、「古着を使ってコーディネートするイベントの開催」、「区内小・中学校での子どもへの周知」、「広報紙において写真入りで大きく告知する」などがある。

図表-25 古布回収の周知について必要だと思うもの（全体）



図表-26 古布回収の周知について必要だと思うもの
(全体・性別・年代別・居住地域別)



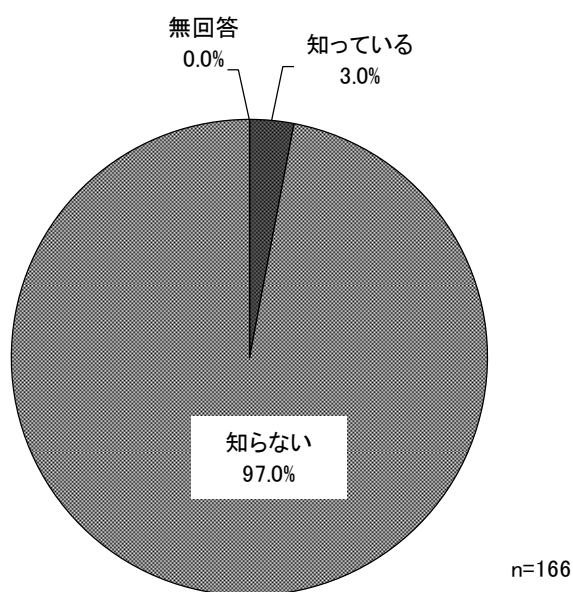
(15) 「繊維 to 繊維」の協定締結の認知度

問 15 あなたは、区が一般社団法人 Textile Circular Network と衣料を中心とする繊維製品を、新たな繊維製品としてリサイクルする取組「繊維 to 繊維」で連携・協力するための協定を締結したことを知っていますか？（○は1つ）

「繊維 to 繊維」の協定締結の認知度は、「知らない」が 97.0%、「知っている」は、3.0%となっている。

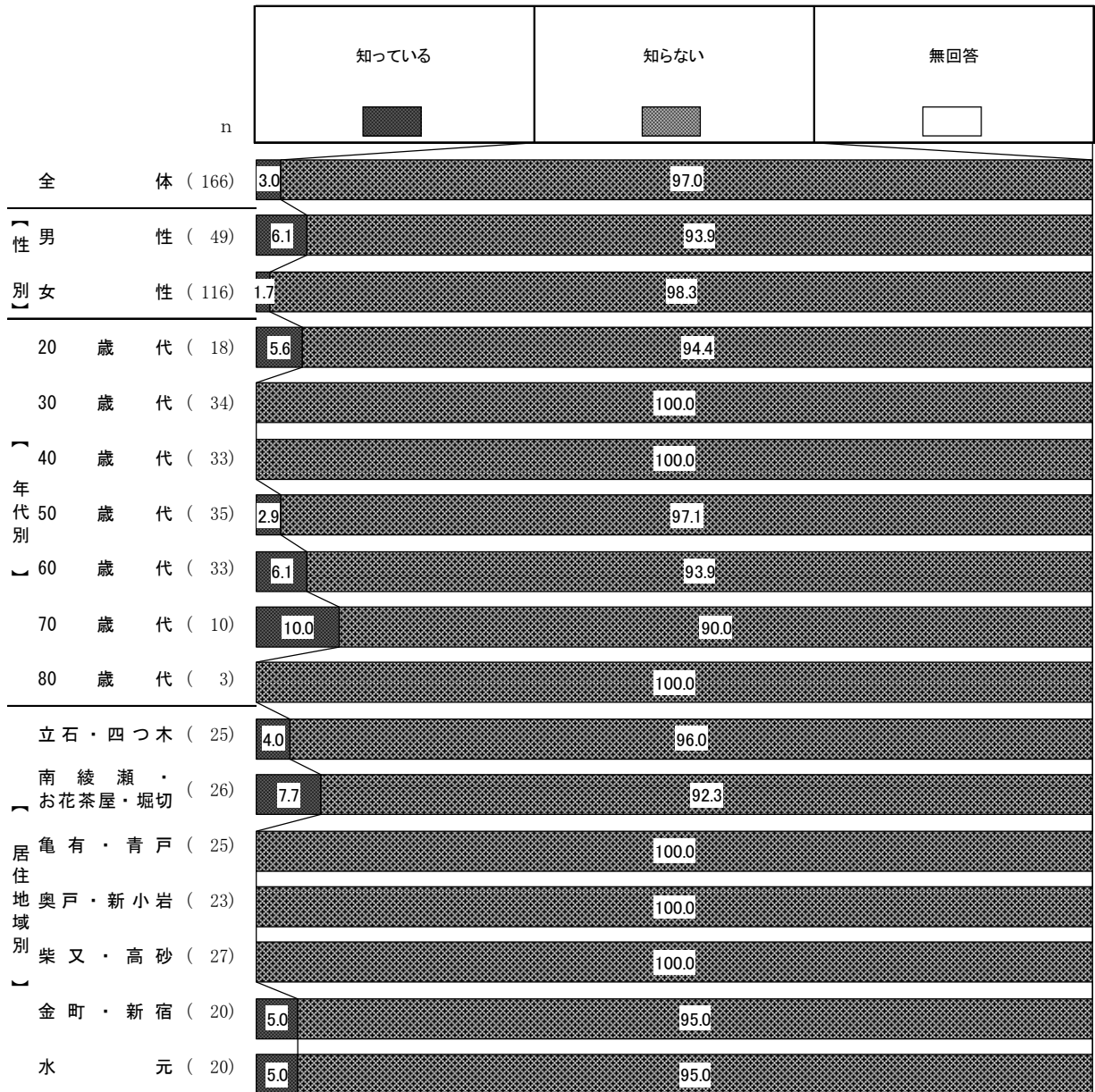
年代別でみると、「知らない」は、全ての年代で9割以上となっている。一方、「知っている」は、70歳代で1割となっている。

図表-27 「繊維 to 繊維」の協定締結の認知度（全体）



図表-28 「繊維 to 繊維」の協定締結の認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(16) 古布についてのご意見

問 16 古布についてご意見がありましたらご記入ください。(自由記述)

【主なご意見】

<情報発信について>

- ・古布リサイクルの取組を知らなかったのもっと周知してほしい。
- ・リサイクルや回収に協力したいが、情報が無い。必要時以外は区のホームページも見ないため、広報紙や回覧等でないと情報を得る手段がない。
- ・古布を処理する際に、役に立つ方法はないか、リサイクルできないかについて、いつも悩みながら捨てていた。もっと活用方法を広めてほしい。
- ・良い取組をしていると思うので、区民にもっとアピールしてほしい。
- ・回収した古布がどのように再生され、何に利用されているかがわからないので、広報かつしかなどで教えてほしい。
- ・回収について知らない人が多いと思う。いつも不要な服をどうしようか迷っているのも、同じような家庭があるのではないかと思った。他の人にも知ってほしい。
- ・どのような古着がリサイクルできないのかについて、詳しく知りたい。
- ・ベビー服交換会が立石地区で行われているのは知っているが、その他の地区でも実施しているかはわからない。場所を増やすとともに、情報をもっと発信してほしい。
- ・広報紙を使って古着がどうリサイクルされたかなどを伝えてほしい。

<回収について>

- ・どの程度の品質や汚れ具合であれば、回収対象となるのか明確であるとよい。
- ・古布回収について、近くの地区センターで回収があるので知ってはいるが、回収日時が決まっているので利用しにくい。ほかのごみと同じように出せるとありがたい。
- ・学校の入口に回収箱があれば、保護者が持って行きやすいと思う。また、拠点に持ち込みたいが、時間が決まっているため、仕事をしているとなかなか行けず結局燃やすごみとして捨ててしまっている。
- ・周りの人に聞いても不要となった服がたくさんあるが、処理するのが面倒だと言っている。簡単に持って行けるところが近場であればよいと思う。
- ・わざわざ回収拠点に持っていくのは手間なため、フリマサイトで売れない衣類は燃やすごみとして処分している。
- ・子どもの衣類が古布として大量に出るものの、必ず記名があるので、リサイクルに出しづらく、燃やすごみの日に出している。保育園等に盗難対策を施した回収ボックスがあれば利用したい。
- ・子どもの服は、まだ着られるがサイズアウトしたものが多い。機会があればリサイクルも利用してみたい。
- ・資源ごみの日に回収してくれると出しやすい。
- ・24時間利用できる拠点回収場所があるともっと出しやすくなる。

<その他>

- SDGs の視点からも資源としての活用を推奨したい。
- リメイクできる講座などがあったら趣味が広がったりすると思う。
- 区で古着を回収してくれることを知らなかったのも、これまで多くの古着を処分してしまい、とてももったいなかったと思っている。
- バザーなどをもっと開催してくれるとありがたい。
- より多くの人々が回収に協力してくれたら、有効活用になると思うので、個人だけでなく学校や地域でも取り組むのがよいと思う。
- 今後も回収を積極的に利用したい。
- ウェスとして利用してもらえるようになるべく提供しているが、実態を周知すると協賛者が増えるのではないかと思う。
- 古布も世界の貧困な国に寄付している人が大勢いる、全てが活用されている訳ではなく、逆に困っている国もあるとのニュースを聞き、問題が深いと感じた。
- 他の区では洋服を持って行くと無料で洋服がもらえる場所が多くあると聞いた。葛飾区もそのような施設をつくったり、定期的にイベントを開催したらよいと思う。ベビー服交換会も抽選に外れていけないこともあった。各児童館などで月に1回交換会を開催してくれるとありがたい。
- 古着を新たな繊維製品としてリサイクルするという取組はとてもよいことだと思う。一人一人が地球の環境などを考えて、衣服を選ぶ目を光らせることが大切なことだと思う。

2. 健康診断等の実施医療機関について

区では健康診断や予防接種を受けていただく際に、実施医療機関を紙媒体の一覧としてお知らせに同封しています。この実施医療機関一覧の活用状況や、医療機関の選定方法について傾向を把握し、今後の周知方法の参考とするため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

(17) 医療機関を選ぶ基準

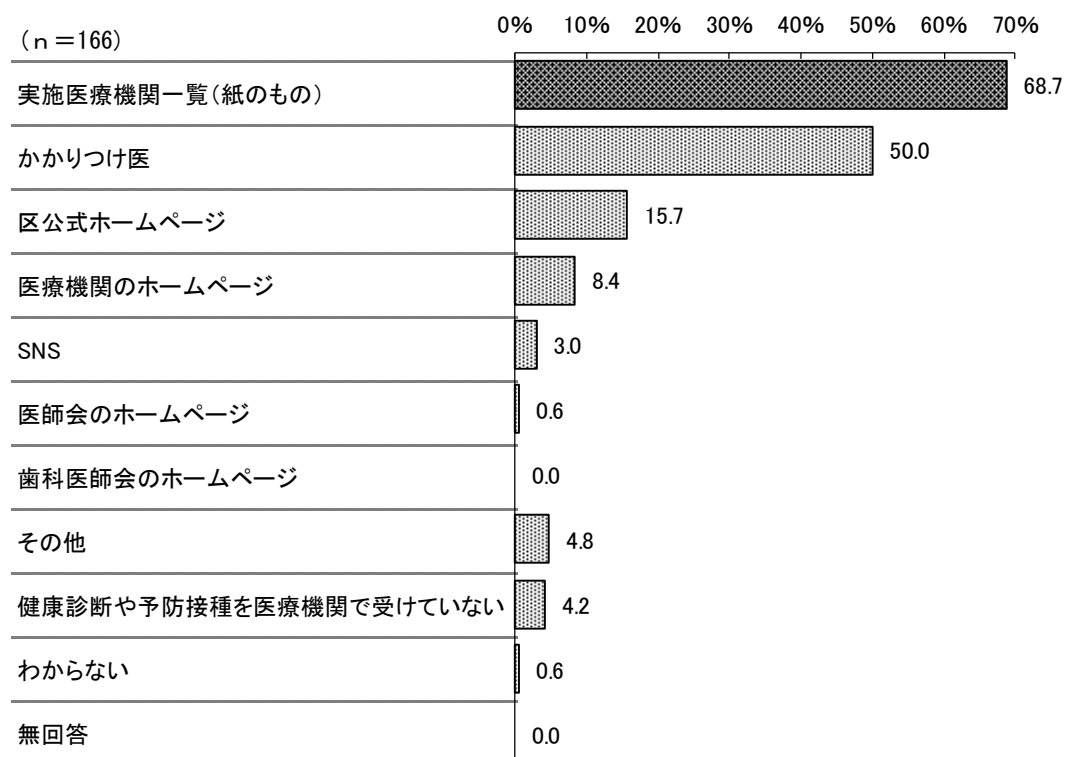
問17 健康診断や予防接種を受ける医療機関について、何を参考にして決めていますか？（あてはまるものすべてに○）

医療機関を選ぶ基準については、「実施医療機関一覧（紙のもの）」が68.7%で最も高く、次いで「かかりつけ医」が50.0%、「区公式ホームページ」が15.7%となっている。

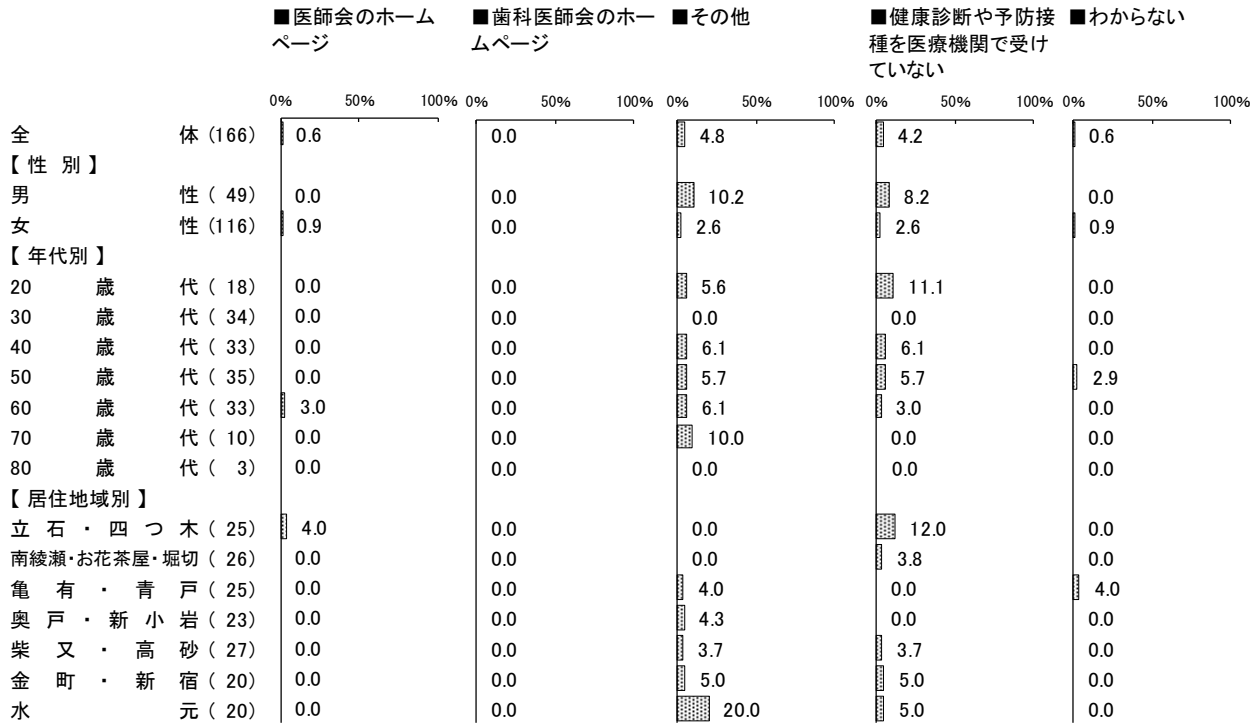
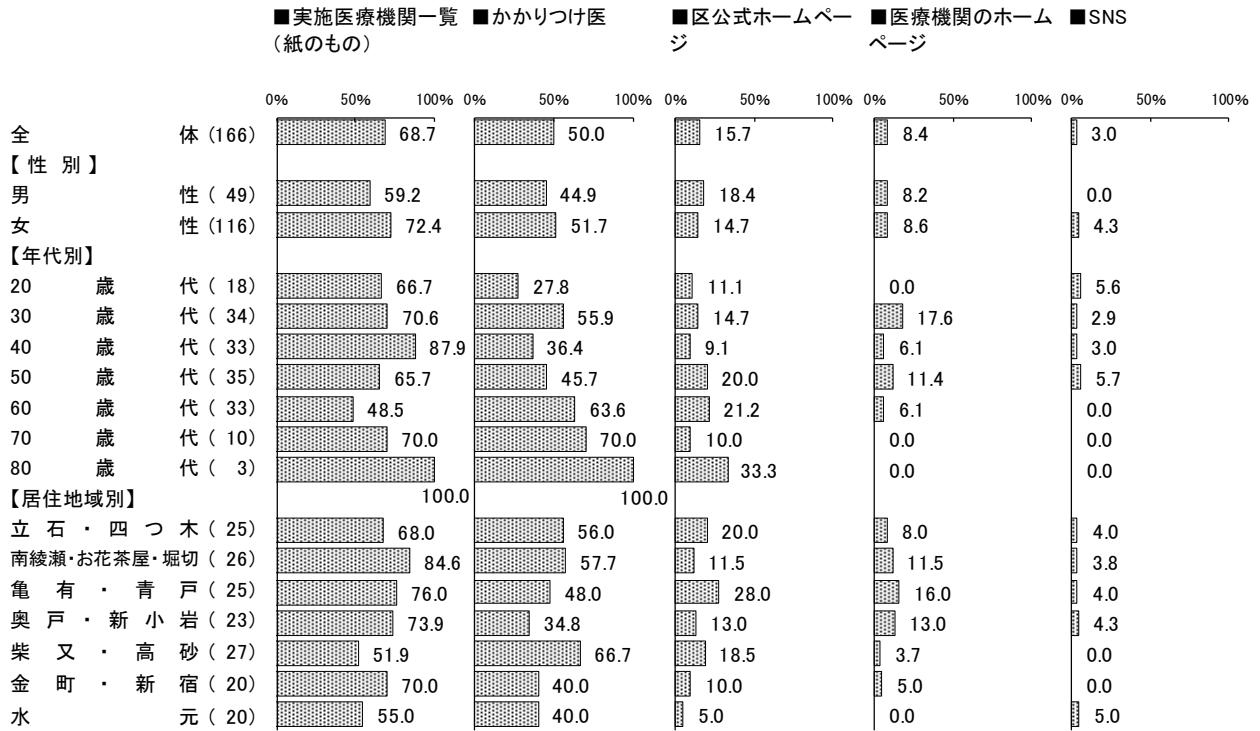
年代別でみると、「かかりつけ医」は、60歳代以上の年代で6割以上と高くなっており、80歳代では10割となっている。また、「区公式ホームページ」は、50歳代、60歳代、80歳代で2割以上となっている。

「その他」の意見としては、「社会保険組合の紹介」、「民間の健康診断」などがある。

図表-31 医療機関を選ぶ基準（全体）



図表-32 医療機関を選ぶ基準
(全体・性別・年代別・居住地域別)



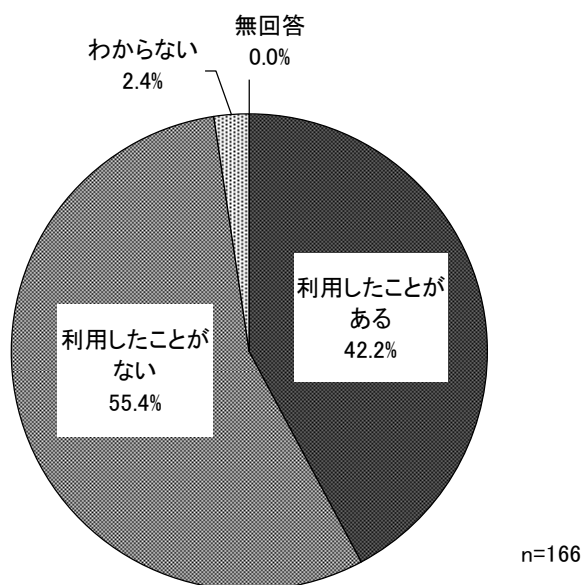
(18) 健康診断や予防接種を受ける際の区公式ホームページの利用有無

問 18 健康診断や予防接種を受ける際に、区公式ホームページを利用したことがありますか？（○は1つ）

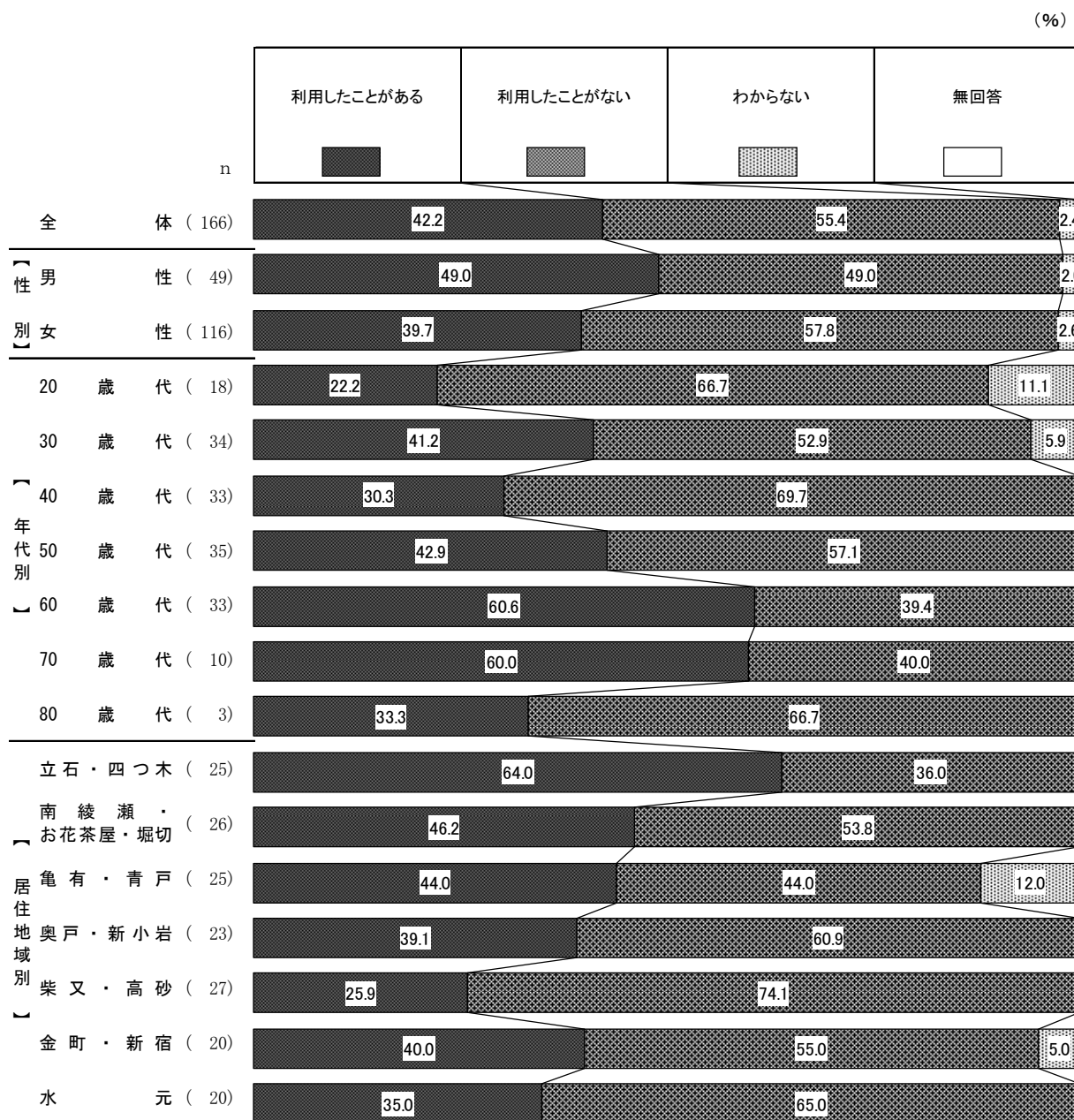
健康診断や予防接種を受ける際の区公式ホームページの利用有無は、「利用したことがない」が55.4%、「利用したことがある」が42.2%となっている。

年代別でみると、「利用したことがある」は、60歳代、70歳代で6割以上となっている。また、「利用したことがない」は、20歳代、40歳代、80歳代で6割以上となっている。

図表－33 健康診断や予防接種を受ける際の区公式ホームページの利用有無（全体）



図表-34 健康診断や予防接種を受ける際の区公式ホームページの利用有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)



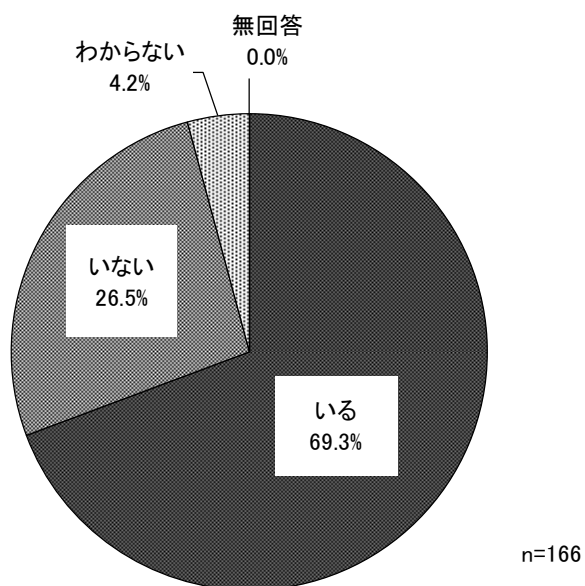
(19) 区内かかりつけ医の有無

問 19 あなたには、区内にかかりつけ医がいますか？（○は1つ）

区内かかりつけ医の有無は、「いる」が69.3%、「いない」が26.5%となっている。

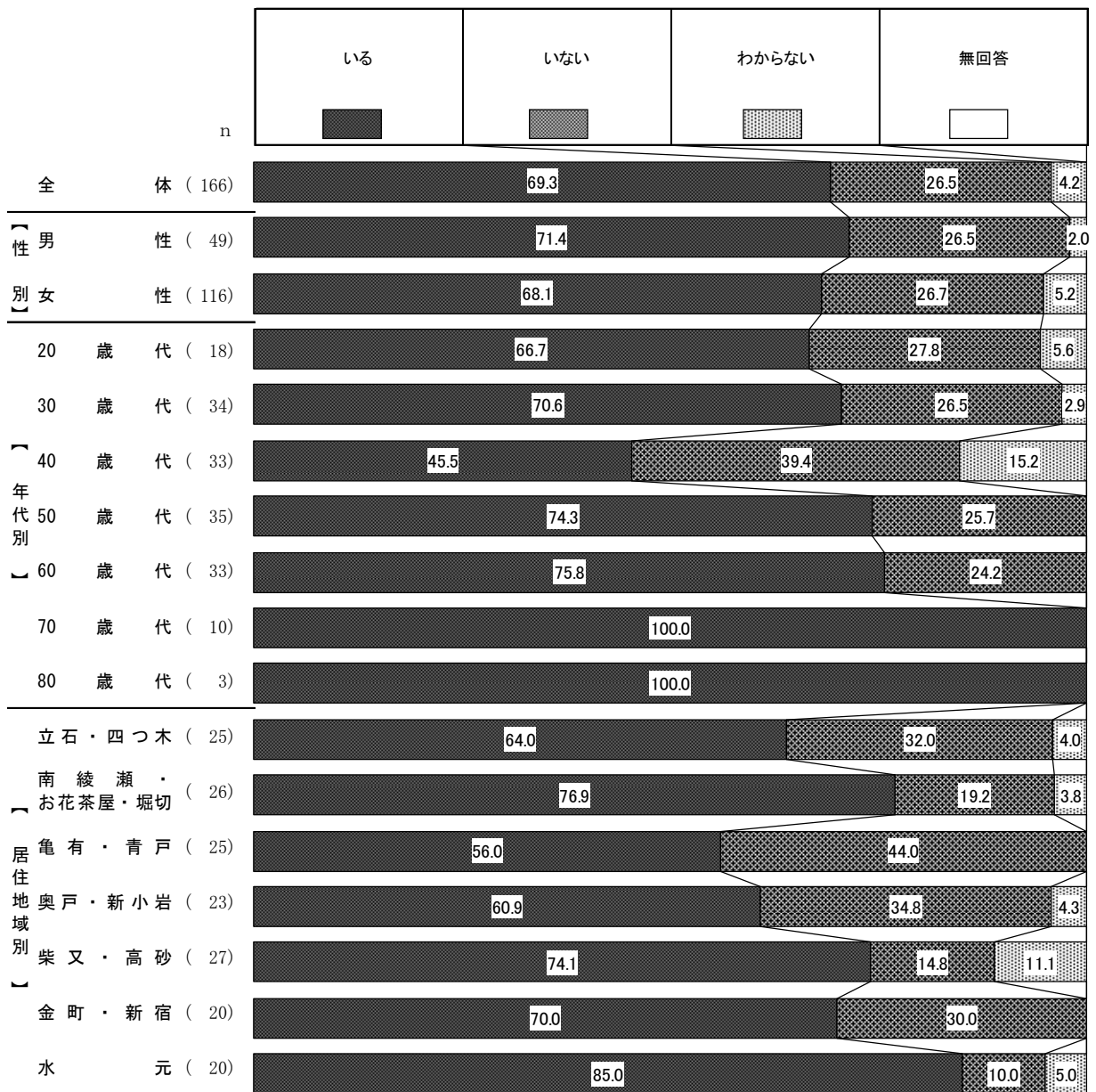
年代別で見ると、「いる」は、40歳代を除く全ての年代で6割以上となっている。一方、「いない」は、40歳代で約4割となっている。

図表-35 区内かかりつけ医の有無（全体）



図表-36 区内かかりつけ医の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(20) 健康診断や予防接種の実施医療機関の情報で不足していると感じるもの

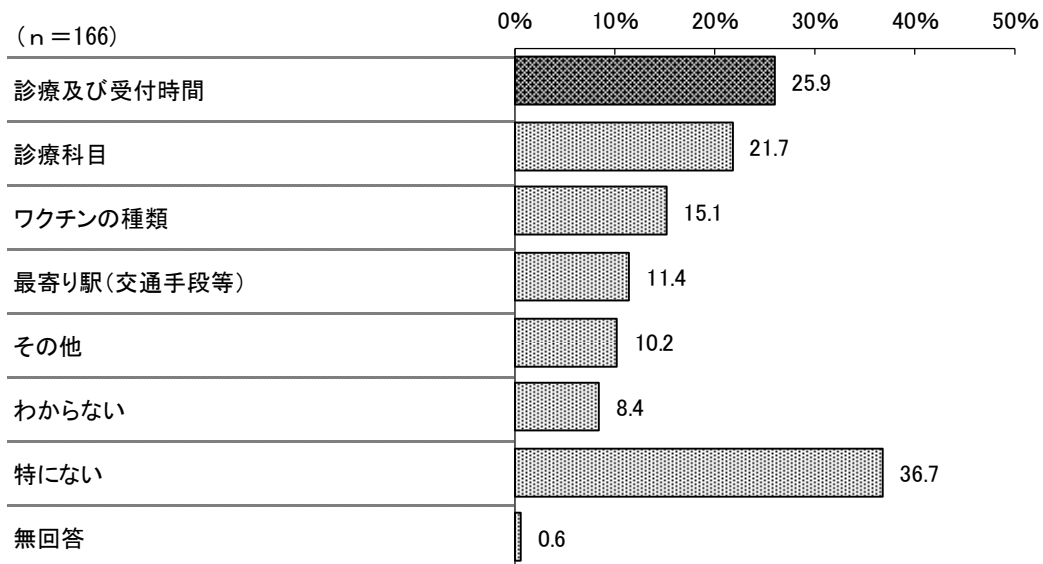
問 20 健康診断や予防接種の実施医療機関の情報で、不足していると感じるものは何ですか？（あてはまるものすべてに○）

健康診断や予防接種の実施医療機関の情報で、不足していると感じるものは、「診療及び受付時間」が25.9%で最も高く、次いで「診療科目」が21.7%となっている。一方で、36.7%の方が「特にない」と答えている。

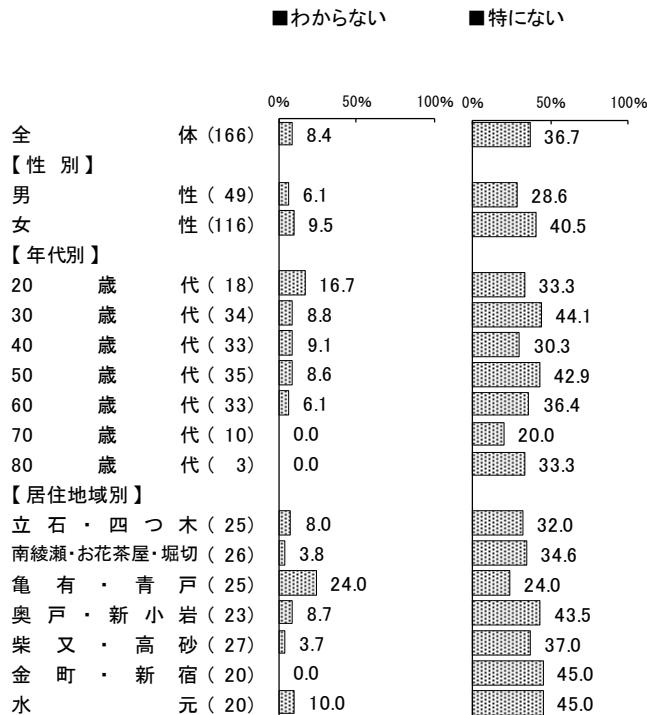
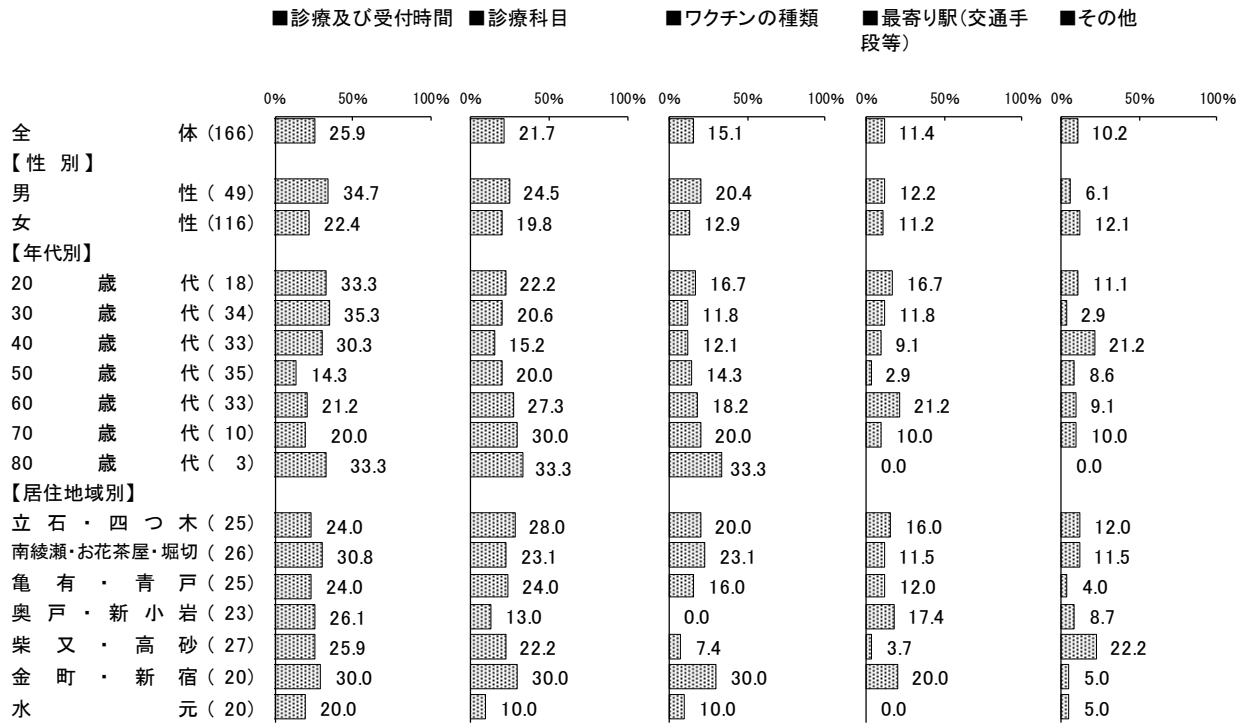
年代別でみると、「診療及び受付時間」は、20歳代、30歳代、40歳代、80歳代で3割以上となっている。また、「特にない」は、30歳代と50歳代で4割以上と高くなっている。

「その他」の意見としては、「予約の要否」、「空き情報の詳しい内容」、「混雑状況や所要時間」などがある。

図表－37 健康診断や予防接種の実施医療機関の情報で不足していると感じるもの（全体）



図表-38 健康診断や予防接種の実施医療機関の情報で不足していると感じるもの
(全体・性別・年代別・居住地域別)



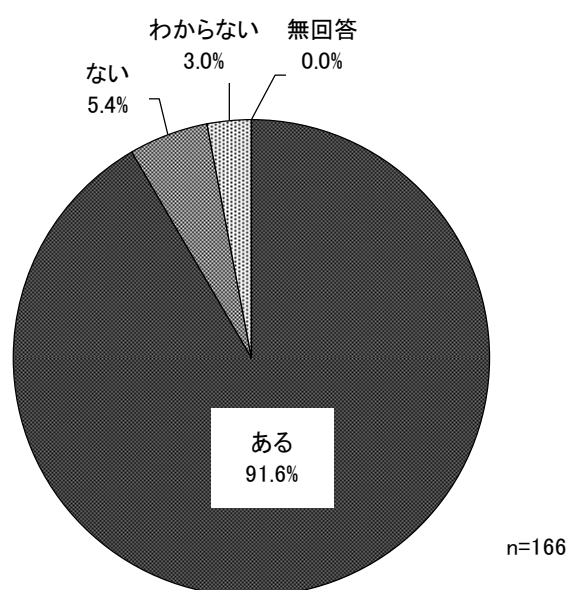
(21) 健康診断などに同封されている紙媒体の医療機関一覧を見たことがあるか

問 21 健康診断や予防接種の予診票に同封されている紙媒体の医療機関一覧を見たことがありますか？（○は1つ）

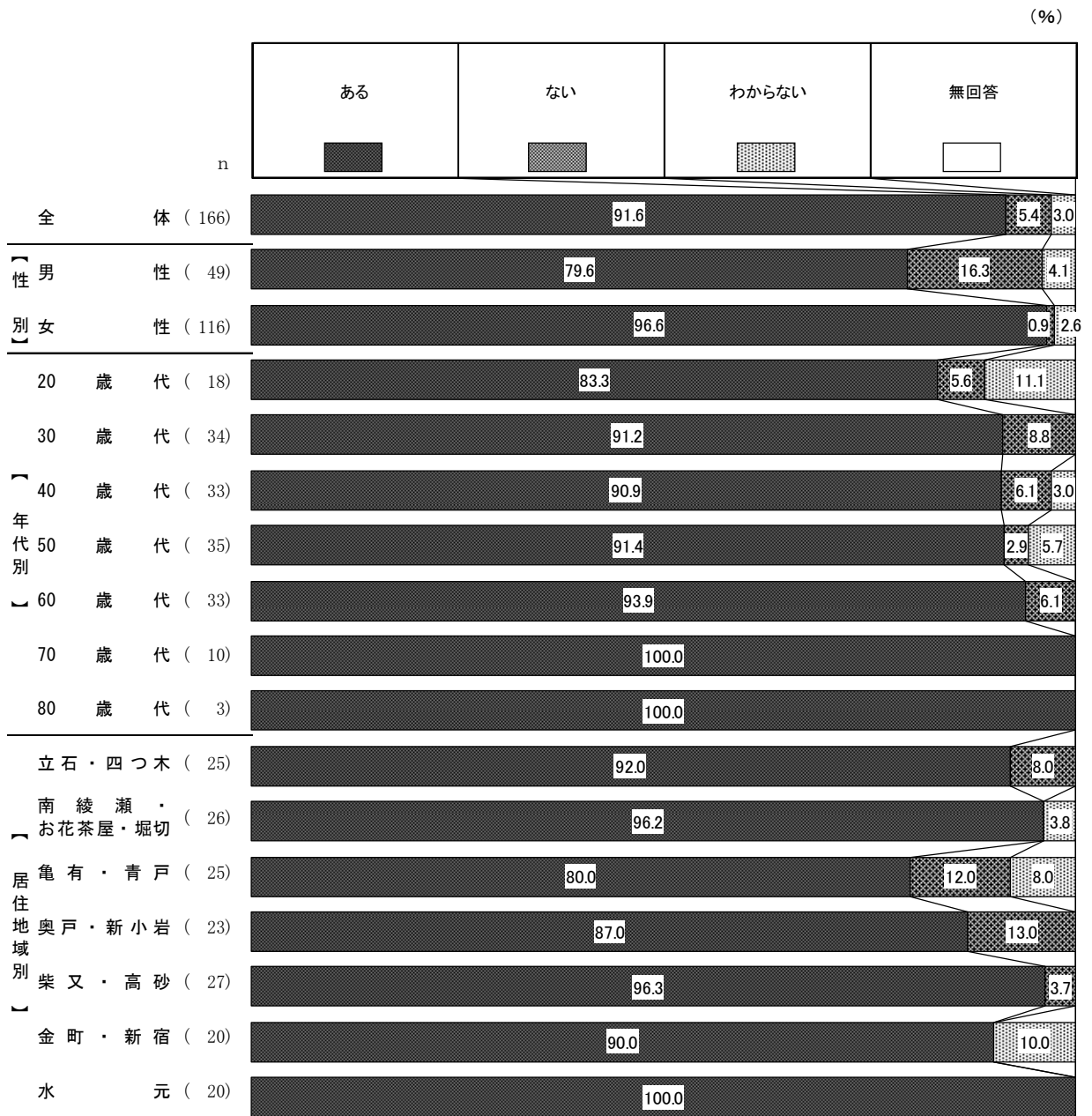
健康診断などに同封されている紙媒体の医療機関一覧を見たことがあるかは、「ある」が91.6%、「ない」が5.4%となっている。

年代別でみると、「ある」は、全ての年代で8割以上となっている。

図表-39 健康診断などに同封されている紙媒体の医療機関一覧を見たことがあるか（全体）



図表-40 健康診断などに同封されている紙媒体の医療機関一覧を見たことがあるか
 (全体・性別・年代別・居住地域別)



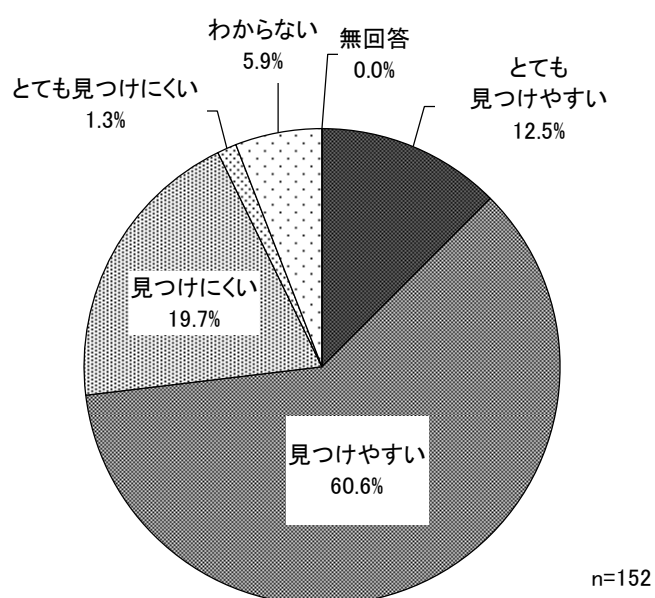
(22) 実施医療機関一覧から特定の医療機関を探す際の見つけやすさ

問 21 で選択肢 1「ある」を選択した方にお伺いします。

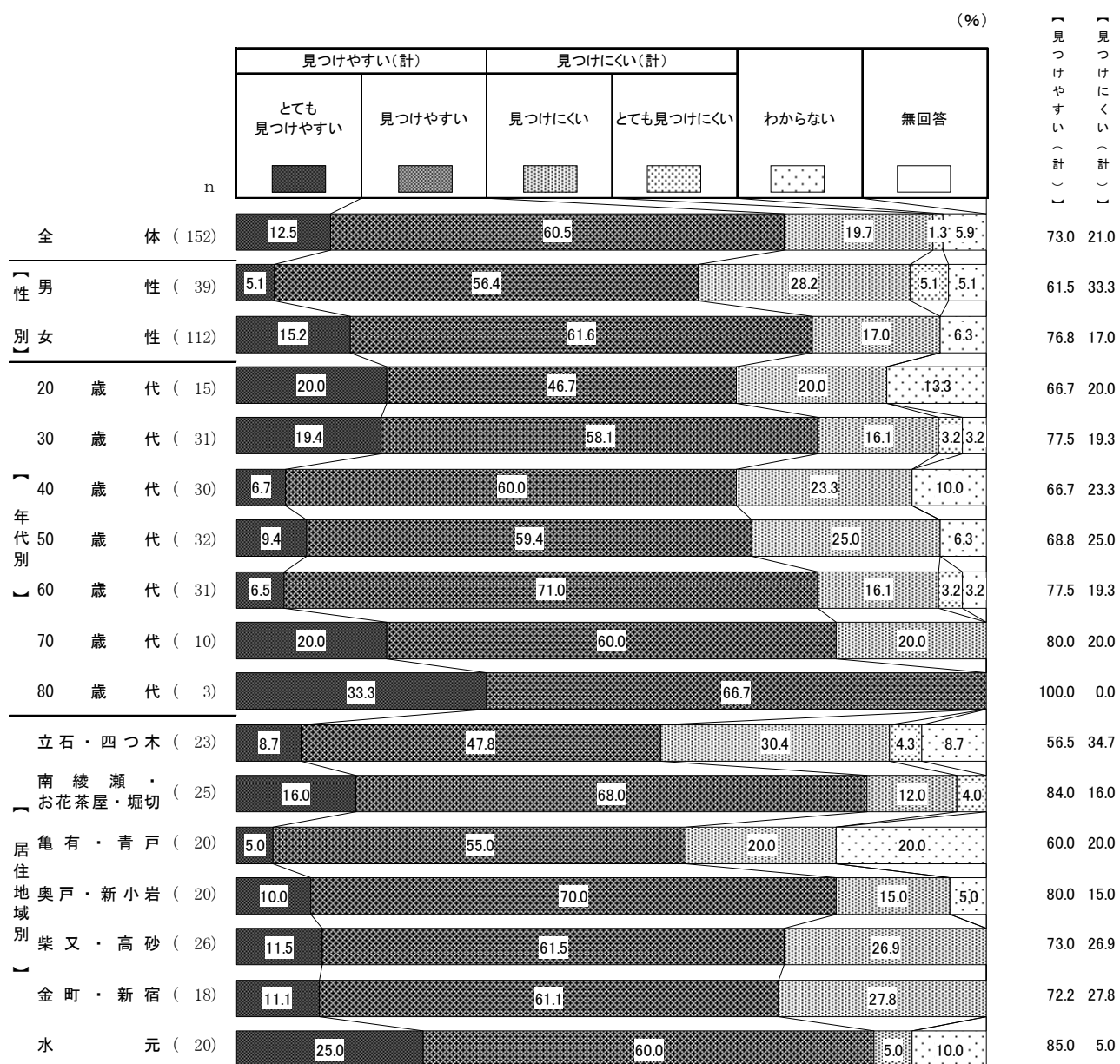
問 22 実施医療機関一覧から特定の医療機関を探す際に、見つけやすさについてどう感じますか？（〇は1つ）

実施医療機関一覧から特定の医療機関を探す際の見つけやすさは、「とても見つけやすい」と「見つけやすい」を合わせた【見つけやすい（計）】が、73.0%となっている。一方、「見つけにくい」と「とても見つけにくい」を合わせた【見つけにくい（計）】が、21.0%となっている。年代別でみると、【見つけやすい（計）】は、全ての年代で6割以上となっている。

図表-41 実施医療機関一覧から特定の医療機関を探す際の見つけやすさ（全体）



図表-42 実施医療機関一覧から特定の医療機関を探す際の見つけやすさ
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(23) 実施医療機関一覧の文字の大きさについて

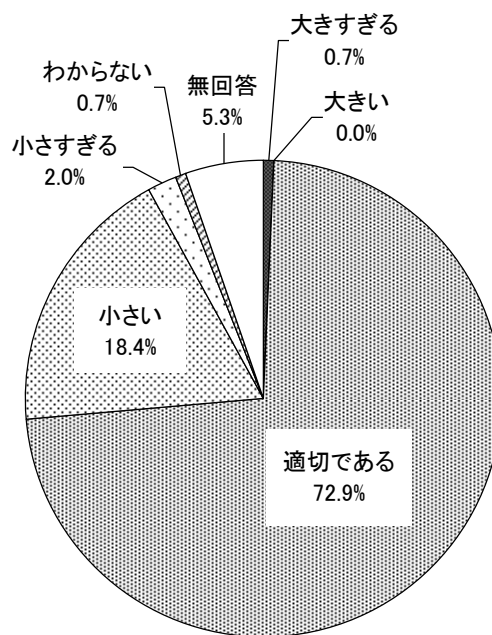
問 21 で選択肢 1 「ある」を選択した方にお伺いします。

問 23 実施医療機関一覧の文字の大きさについては適切ですか？（○は1つ）

実施医療機関一覧の文字の大きさについては、「適切である」が72.9%で最も高く、次いで「小さい」と「小さすぎる」を合わせた【小さい（計）】が、20.4%、「大きい」と「大きすぎる」を合わせた【大きい（計）】が0.7%となっている。

年代別でみると、「適切である」は、全ての年代で5割以上となっている。また、【小さい（計）】は、50歳代と60歳代で3割台となっている。

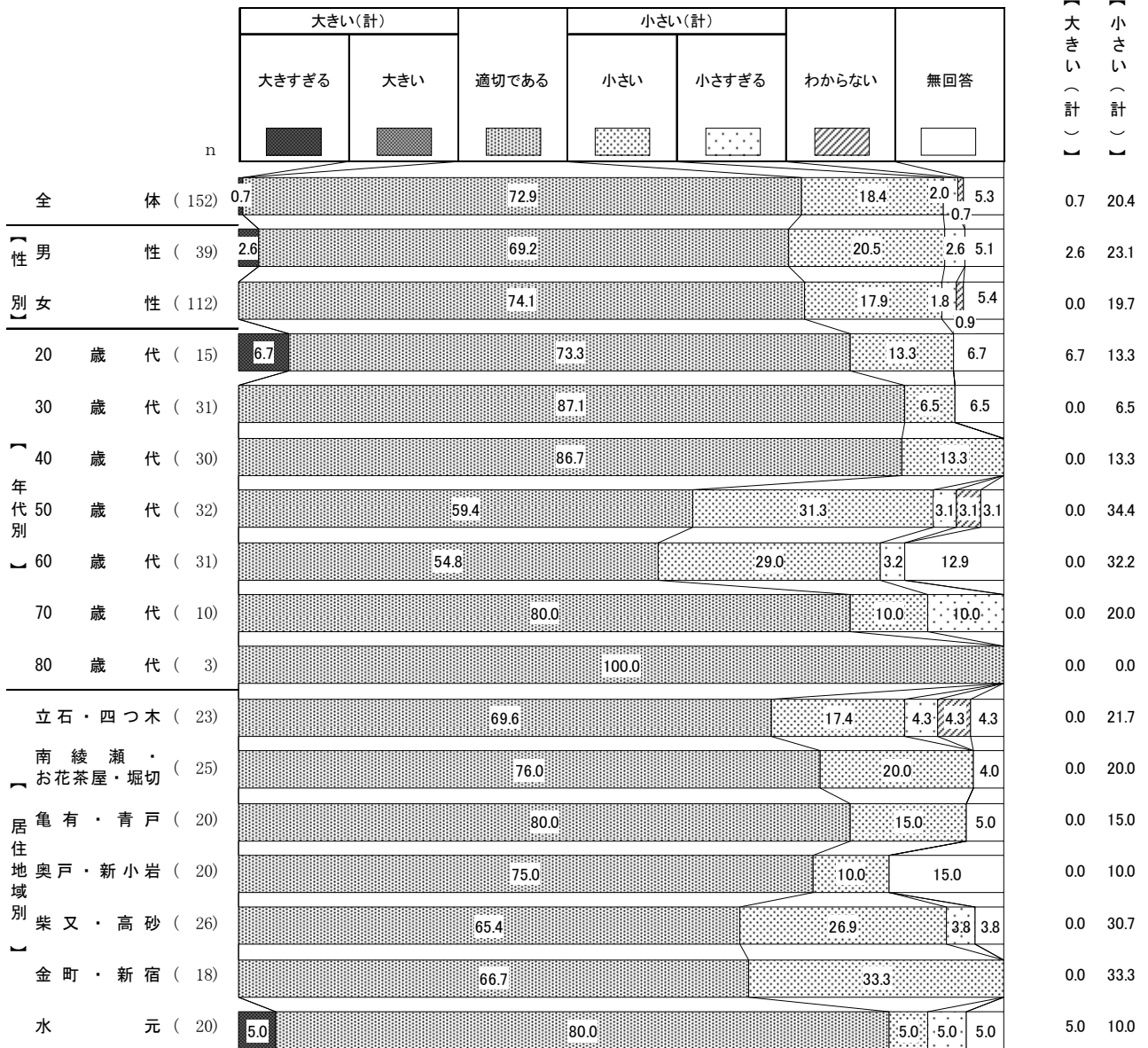
図表-43 実施医療機関一覧の文字の大きさについて（全体）



n=152

図表-44 実施医療機関一覧の文字の大きさについて
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(24) 実施医療機関一覧の内容更新の頻度について

問 21 で選択肢 1 「ある」 を選択した方にお伺いします。

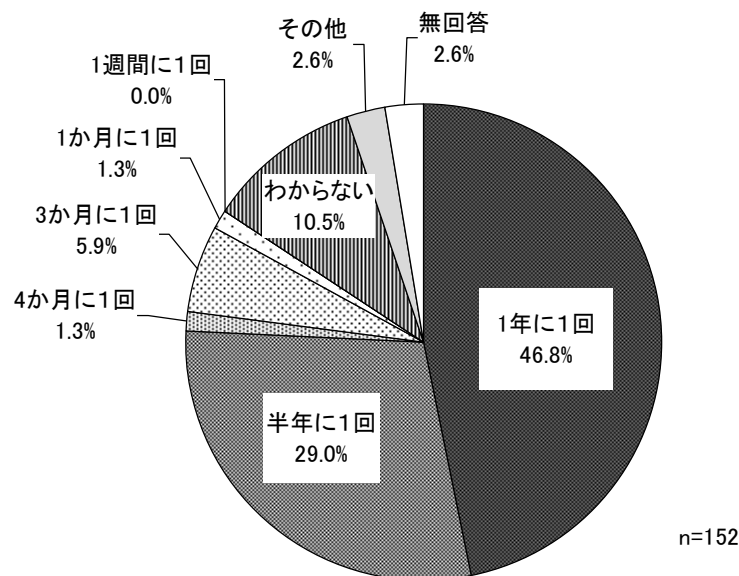
問 24 実施医療機関一覧は年に 1 回程度その内容を更新していますが、更新の頻度はどれぐらいが適切だと感じますか？（○は 1 つ）

実施医療機関一覧の内容更新の頻度については、「1 年に 1 回」が 46.8%で最も高く、次いで「半年に 1 回」が 29.0%、「3 か月に 1 回」が 5.9%となっている。

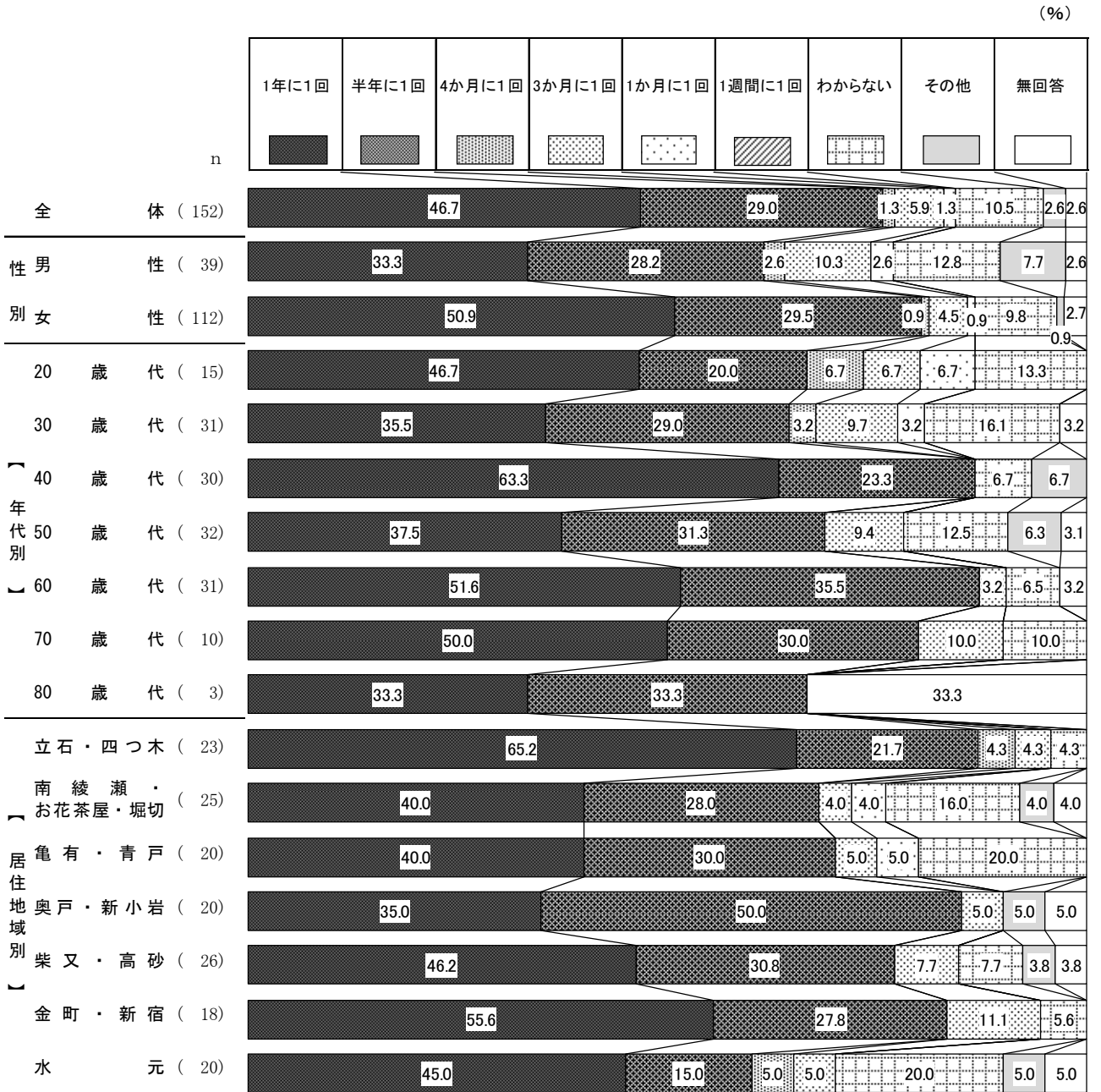
年代別でみると、「1 年に 1 回」は、全ての年代で 3 割以上となっており、40 歳代が 63.3%と高くなっている。

「その他」の意見としては、「定期診断のサイクルに合わせて」、「変更があればその都度」などがある。

図表-45 実施医療機関一覧の内容更新の頻度について（全体）



図表-46 実施医療機関一覧の内容更新の頻度について
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(25) 実施医療機関一覧の満足度

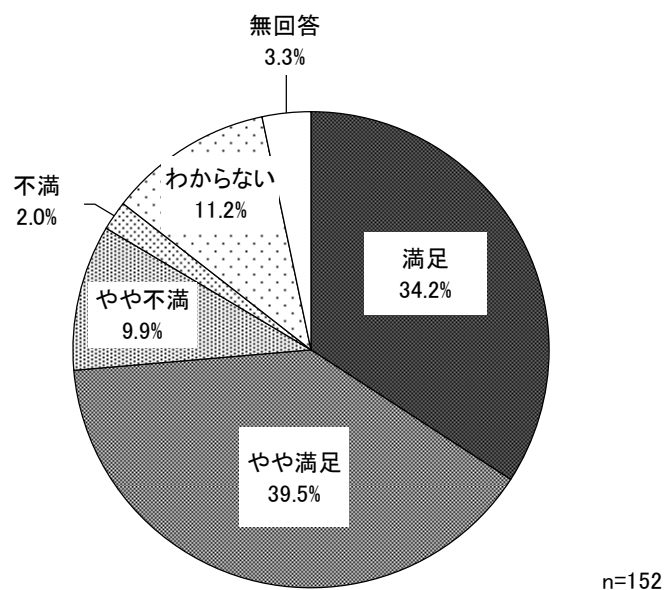
問 21 で選択肢 1「ある」を選択した方にお伺いします。

問 25 実施医療機関一覧について満足度をお聞かせください。(○は1つ)

実施医療機関一覧の満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた【満足(計)】が73.7%となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた【不満(計)】は、11.9%となっている。

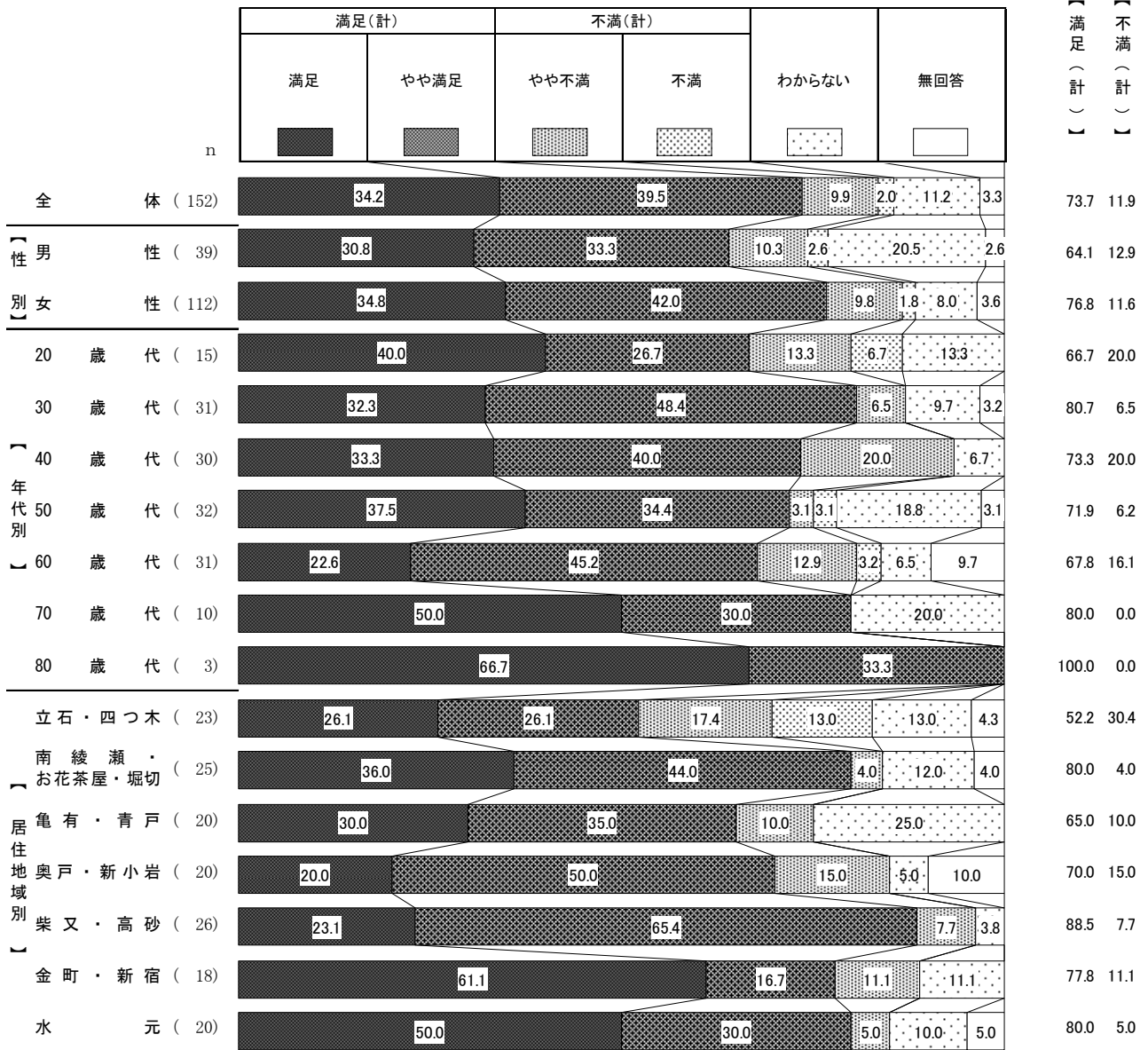
年代別でみると、【満足(計)】は、全ての年代で6割以上となっている。【不満(計)】は、20歳代と40歳代で2割となっている。

図表-47 実施医療機関一覧の満足度(全体)



図表-48 実施医療機関一覧の満足度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



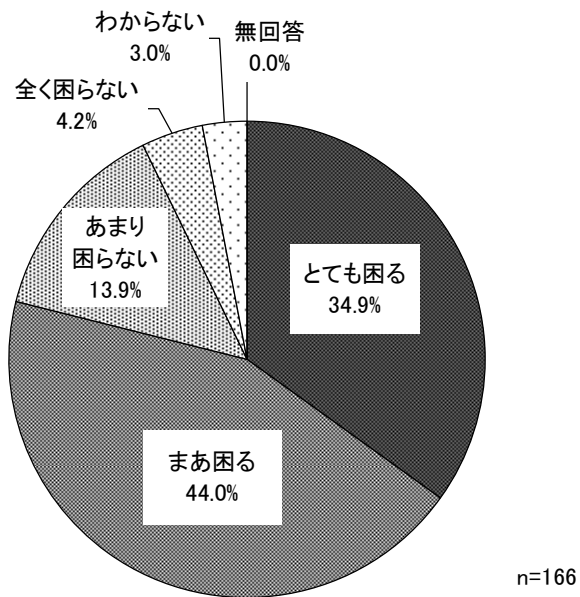
(26) 実施医療機関一覧が無くなったら困るか

問 26 健康診断や予防接種の予診票に同封されている実施医療機関一覧が無くなったら、困りますか。(○は1つ) ?

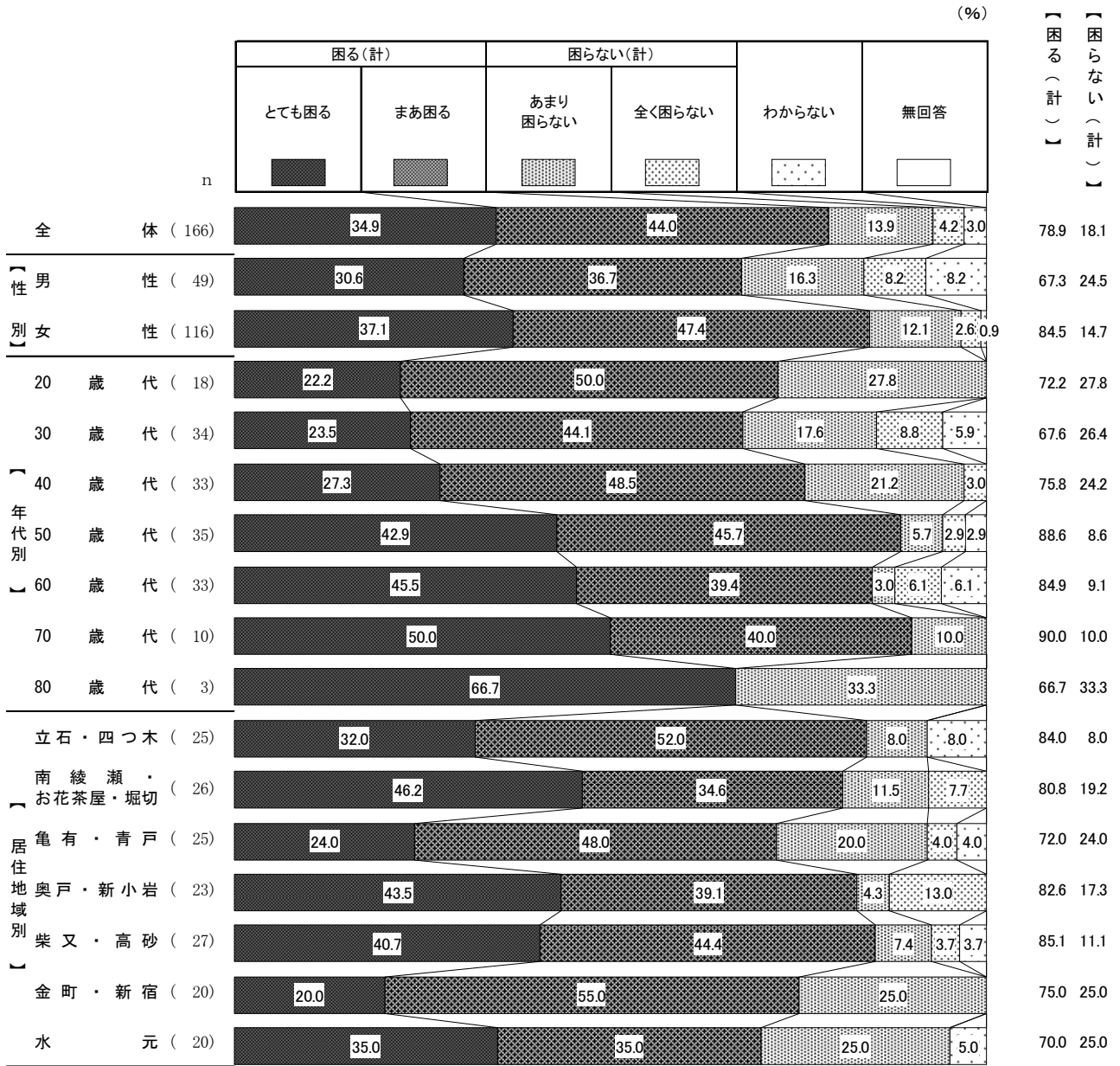
実施医療機関一覧が無くなったら困るかについては、「とても困る」と「まあ困る」を合わせた【困る(計)】が78.9%となっている。一方、「全く困らない」と「あまり困らない」を合わせた【困らない(計)】は、18.1%となっている。

年代別でみると、【困る(計)】は、全ての年代で6割以上となっており、70歳代が90.0%で最も高くなっている。

図表-49 実施医療機関一覧が無くなったら困るか(全体)



図表-50 実施医療機関一覧が無くなったら困るか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(27) 実施医療機関一覧についてのご意見

問 27 実施医療機関一覧について、ご意見がございましたらご記入ください。(自由記述)

【主なご意見】

<記載内容について>

- ・住所のみだと自宅からの距離がわからないため、実施医療機関の位置がわかるように地図があるとよい。
- ・携帯で地図を調べられるのであれば問題はないと思うが、調べられない人のために地図が同封されていると親切だと思う。
- ・実施医療機関の住所ではなく、最寄り駅を大きく書いてほしい。
- ・有料項目の金額を「確定」で教えてほしい。(〇〇円～・各機関にお問い合わせください等)
- ・大学病院や総合病院が少ないように感じる。
- ・字が小さく見づらい。
- ・骨密度検査について、骨盤で測る方法に対応している病院が一覧表でわかるところがとてもよい。
- ・文字印刷の色を見やすい色にしてほしい。
- ・地域ごとに記載されているので探しやすい。

<今後の取扱いについて>

- ・医療機関を選ぶのに必要なので継続してほしい。
- ・出来れば紙媒体を無くさないでほしい。
- ・広報かつしかやホームページで充分だと思う。
- ・同封されている紙を見て医療機関を選んでいるので、絶対に廃止しないでほしい。
- ・若い世代はインターネットで検索できるが、高齢者は紙の方がありがたいと思う。

<その他>

- ・記載のあった医療機関に連絡をしたらやっていなかった。
- ・ネット予約ができる医療機関が少ない。
- ・パソコンやスマホで一覧を確認し、そこから予約できると便利だと感じる。電話予約ではなく、アプリなどから予約できたら便利だと思う。
- ・一覧があることによって初めての医療機関にも行きやすくなった。
- ・予約する際は、電話やその医療機関ホームページを見ないと詳細がわからないため、一覧情報に加え、その医療機関のホームページへのリンクなどが貼られたページがあるとよい。
- ・特に不便や不満はない。
- ・区のホームページでも確認できるので助かる。
- ・現状自身の知っている医療機関があるかを確認している。更なる情報となるとページ数も増えるので、現状の形であっても一覧表はあったほうがよい。
- ・普段の受診時に参考となるのであると便利だと思う。
- ・現状のままでよいと思う。

3. 区民モニター調査について

区では、区民の皆様のご意見を伺い区政運営の参考とするため、区民モニター調査を実施しております。

2年間の任期満了にあたり、今後の本調査をより有意義なものとするため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

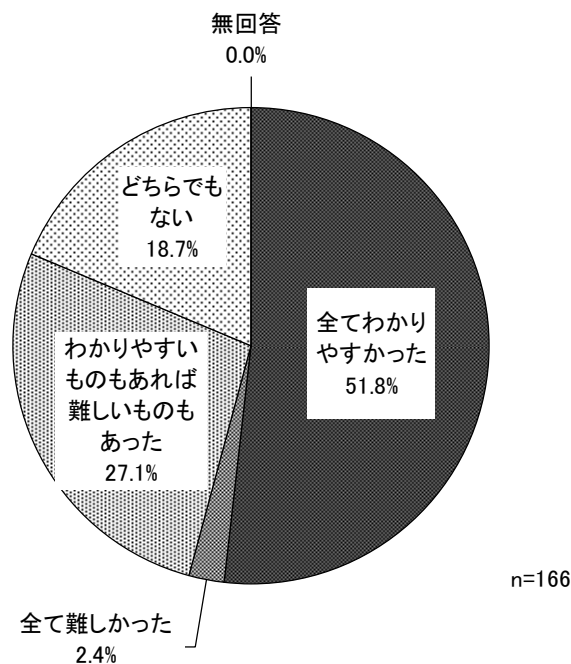
(28) 各回の調査テーマの内容や設問のわかりやすさ

問 28 各回の調査テーマについて、内容や設問のわかりやすさはいかがでしたか？（○は1つ）

各回の調査テーマの内容や設問のわかりやすさは、「全てわかりやすかった」が51.8%で最も高く、次いで「わかりやすいものもあれば難しいものもあった」が27.1%、「どちらでもない」が18.7%となっている。

年代別でみると、「全てわかりやすかった」は、70歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。「わかりやすいものもあれば難しいものもあった」は、70歳代が7割で高くなっている。

図表-51 各回の調査テーマの内容や設問のわかりやすさ（全体）



<主な具体的意見>

わかりやすいものもあれば難しいものもあった

<全体>

- ・馴染みのない項目については難しく感じた。
- ・心のバリアフリーと地域福祉について。
- ・令和4年度第1回調査は内容が難しかった。
- ・重複的な質問が多かった。
- ・令和4年度調査について、テーマは簡単なのに質問の仕方が抽象的で、何を回答したらよいかわからない回があった。
- ・自分の興味や関心のあるものはわかりやすいが、そうでないものは難しく感じた。
- ・ごみのことなどはわかりやすかったが、人権問題については難しいと感じた。

<SDGsについて>

- ・知識のある人とそうでない人との差がありそう。
- ・流行っているから無理に入れた感が否めない。
- ・テーマが世界的でもあり、葛飾区独自の視点の展開がよくわからないと感じた。
- ・あまり認識がなかった。日本語を表記してほしい。
- ・考え方が曖昧だと思っているので、答えにくかった。
- ・知識不足のところがあったので、難しかった。

<里親について>

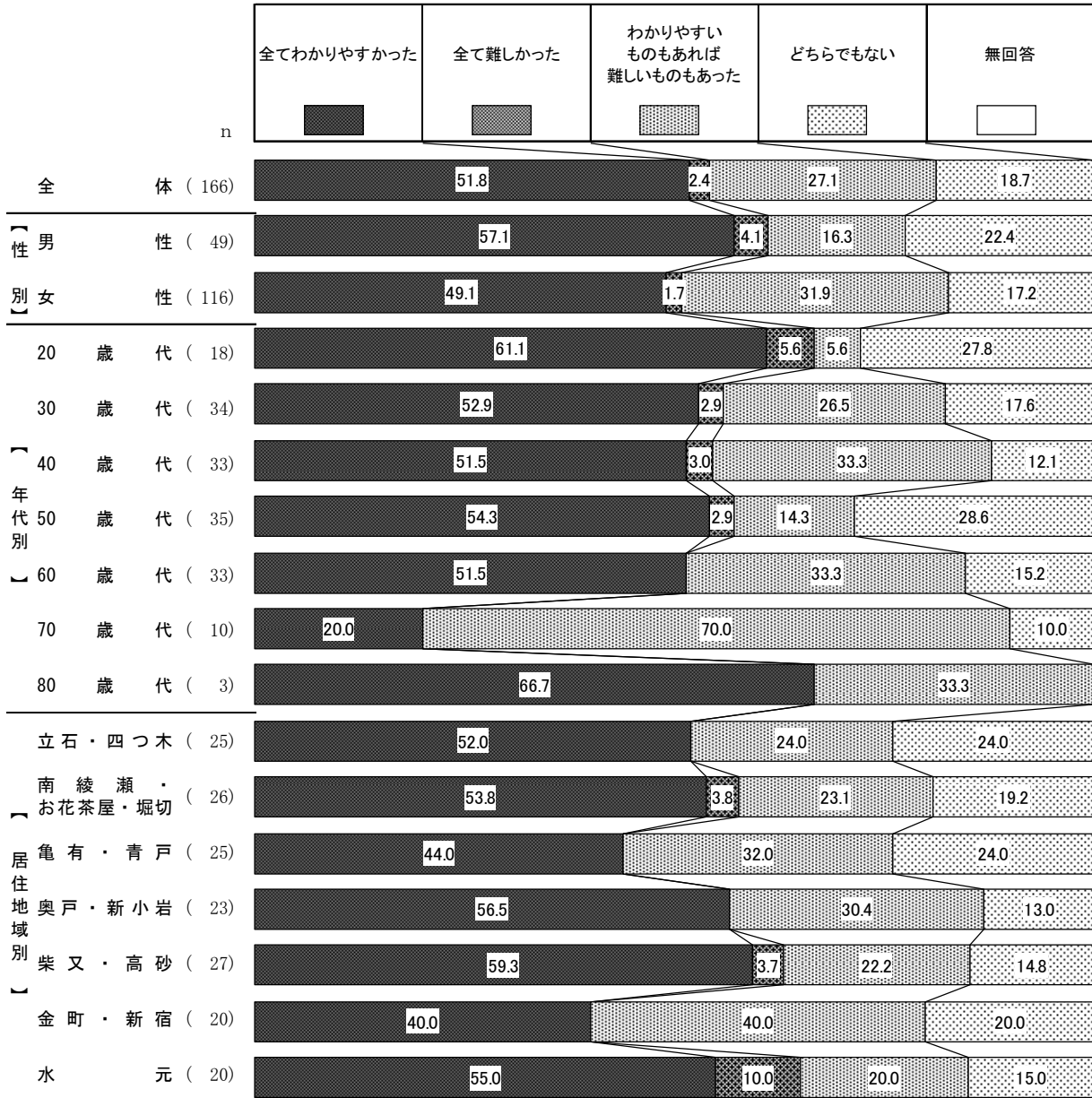
- ・子どもの権利擁護や里親は難しかった。
- ・これまで考えたこともなかったので答えにくかった。
- ・身近な話ではなかったので難しかった。

【参考】

年度	調査回	調査テーマ
令和4年度	第1回	(1) 葛飾区のSDGsについて
		(2) 資源とごみについて
		(3) 里親（養育家庭）について
		(4) 子どもの権利擁護について
	第2回	(1) 心のバリアフリーについて
		(2) シェアサイクルについて
		(3) 区民と区長との意見交換会について
		(4) 生涯学習について
令和5年度	第1回	(1) 区公式ホームページについて
		(2) 地域福祉について
		(3) 区の教育施策について
	第2回	(1) 葛飾区の資源（古布）について
		(2) 健康診断等の実施医療機関について
		(3) 区民モニター（一般モニター）調査について

図表-52 各回の調査テーマの内容や設問のわかりやすさ
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



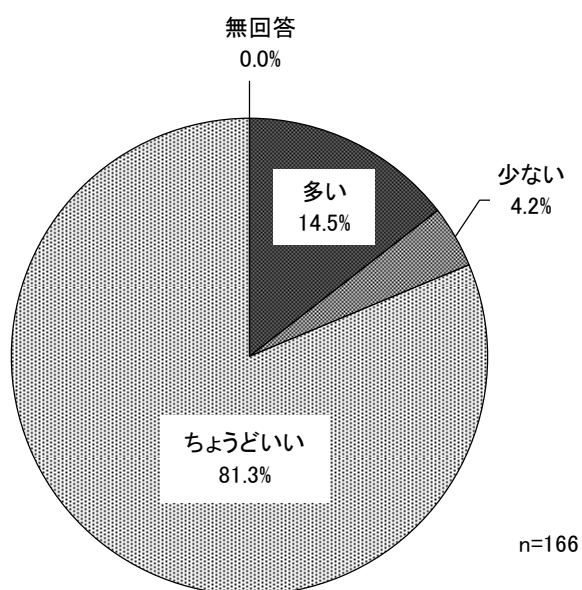
(29) 各回の調査設問数について

問 29 各回の調査設問数について、どのように感じましたか？（○は1つ）

各回の調査設問数については、「ちょうどいい」が81.3%で最も高く、次いで「多い」が14.5%、「少ない」が4.2%となっている。

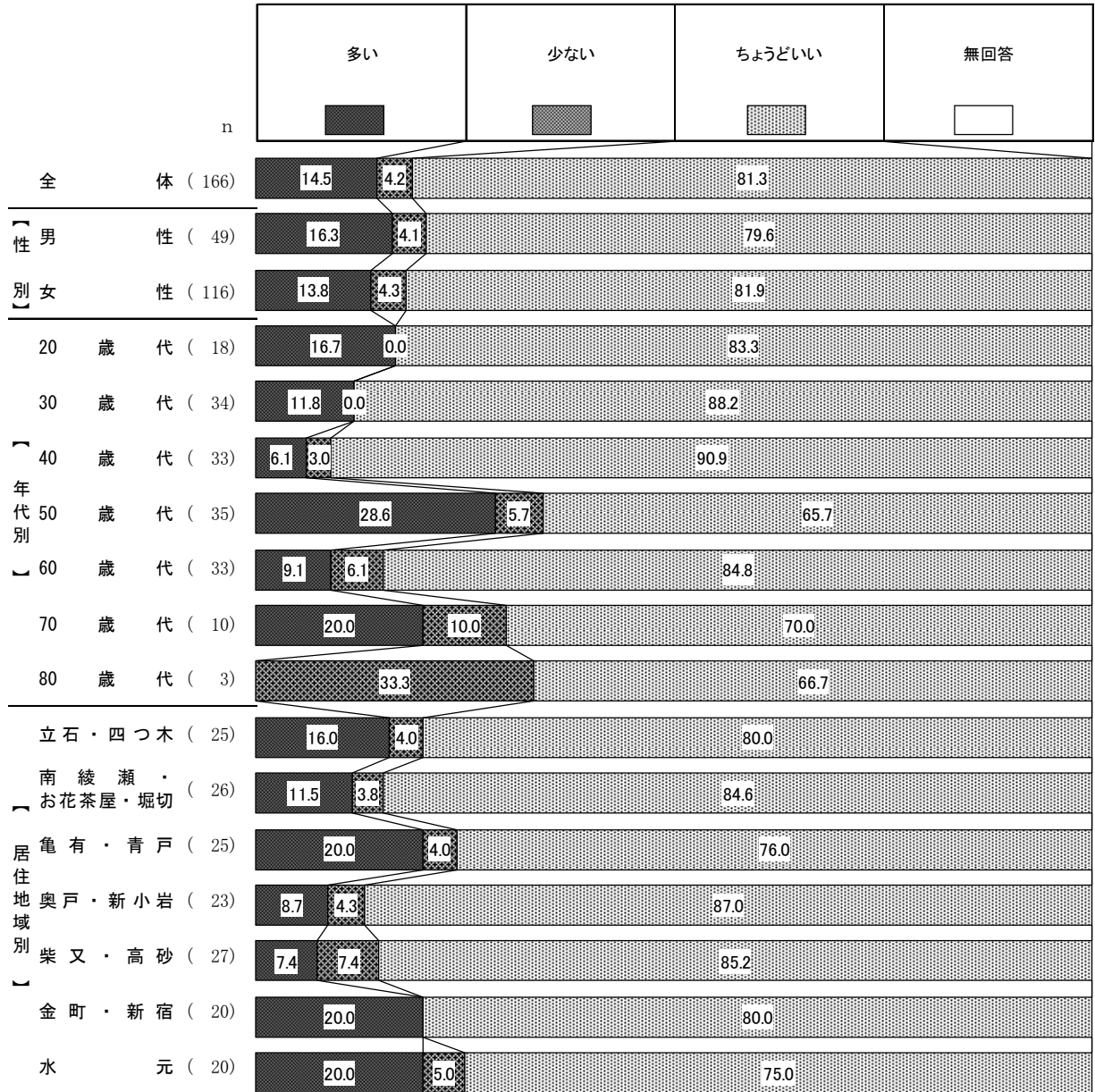
年代別でみると、「ちょうどいい」は、全ての年代で6割以上となっている。「多い」は、50歳代が28.6%で最も高くなっている。

図表-53 各回の調査設問数について（全体）



図表-54 各回の調査設問数について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(30) 選択設問と自由記述設問の割合について

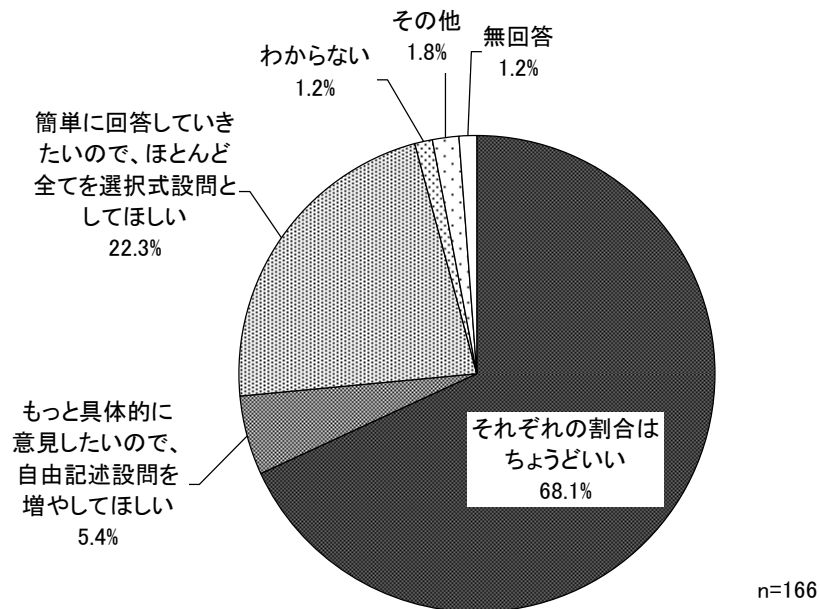
問 30 各回の設問方式について、約 45 問のうち多くを選択設問（1つ選ぶなど）として、数問程度自由記述設問としてきましたが、いかがでしたか？（○は1つ）

選択設問と自由記述設問の割合については、「それぞれの割合はちょうどいい」が 68.1%で最も高く、次いで「簡単に回答していきたいので、ほとんど全てを選択式設問としてほしい」が 22.3%、「もっと具体的に意見したいので、自由記述設問を増やしてほしい」が 5.4%となっている。

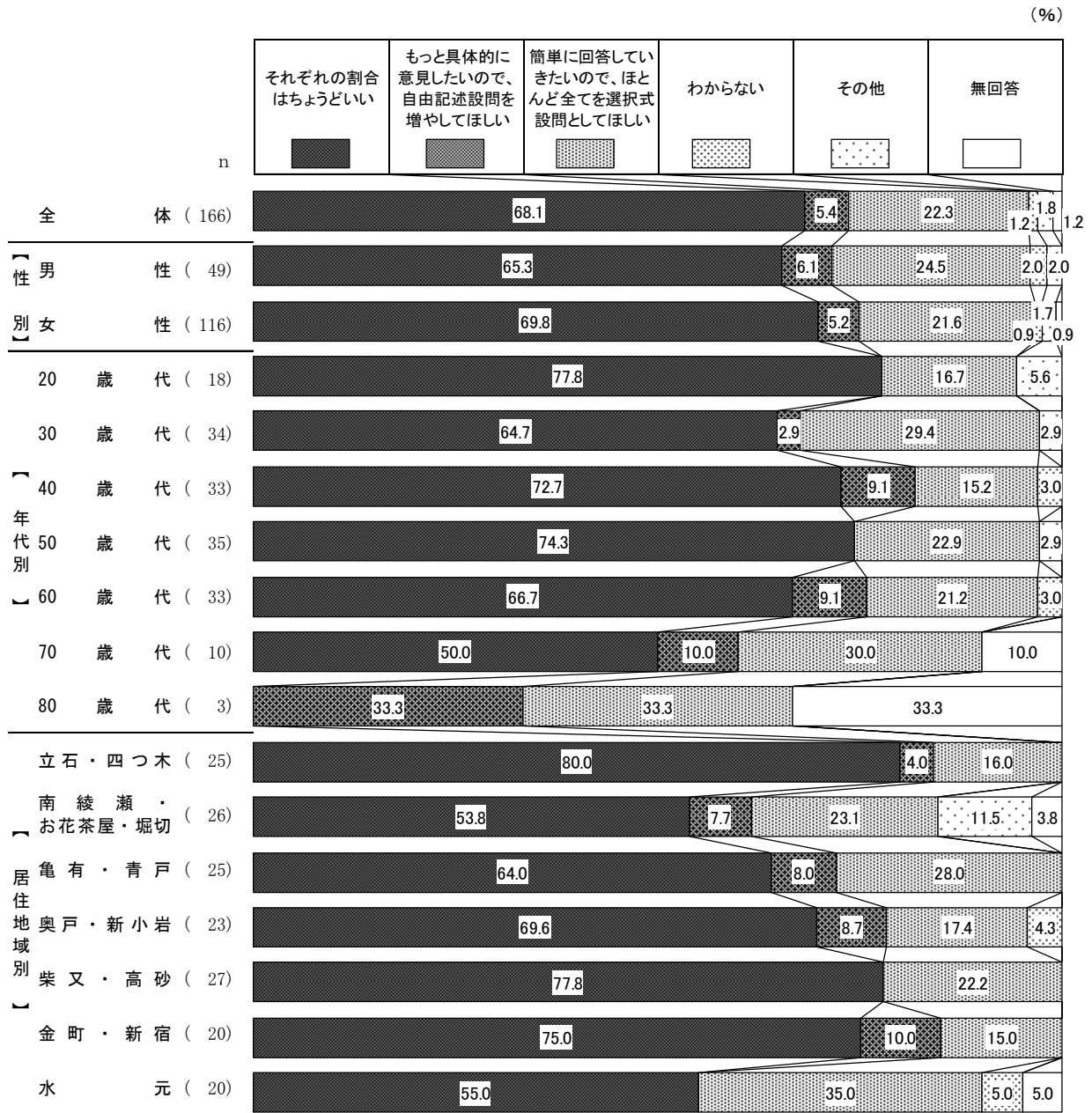
年代別でみると、「それぞれの割合はちょうどいい」は、20 歳代、40 歳代、50 歳代で 7 割以上と高くなっている。「簡単に回答していきたいので、ほとんど全てを選択式設問としてほしい」は、30 歳代、70 歳代、80 歳代で約 3 割となっている。

「その他」の意見としては、「自由記述は 1 つでよいのではないか」などがある。

図表—55 選択設問と自由記述設問の割合について（全体）



図表-56 選択設問と自由記述設問の割合について
(全体・性別・年代別・居住地域別)



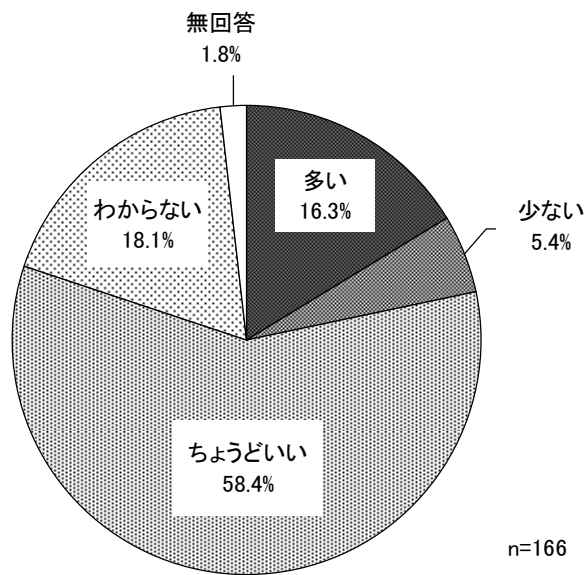
(31) 次年度の調査回数（5回）について

問 31 皆様のご意見をより多くお寄せいただくため、次年度は1年間に5回（1回あたり45問程度）の調査実施を検討しております。調査回数（5回）についてどのように感じますか？回答の理由も教えてください。（○は1つ）

次年度の調査回数（5回）については、「ちょうどいい」が58.4%で最も高く、次いで「多い」が16.3%、「少ない」が5.4%となっている。

年代別でみると、「ちょうどいい」は、30歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。

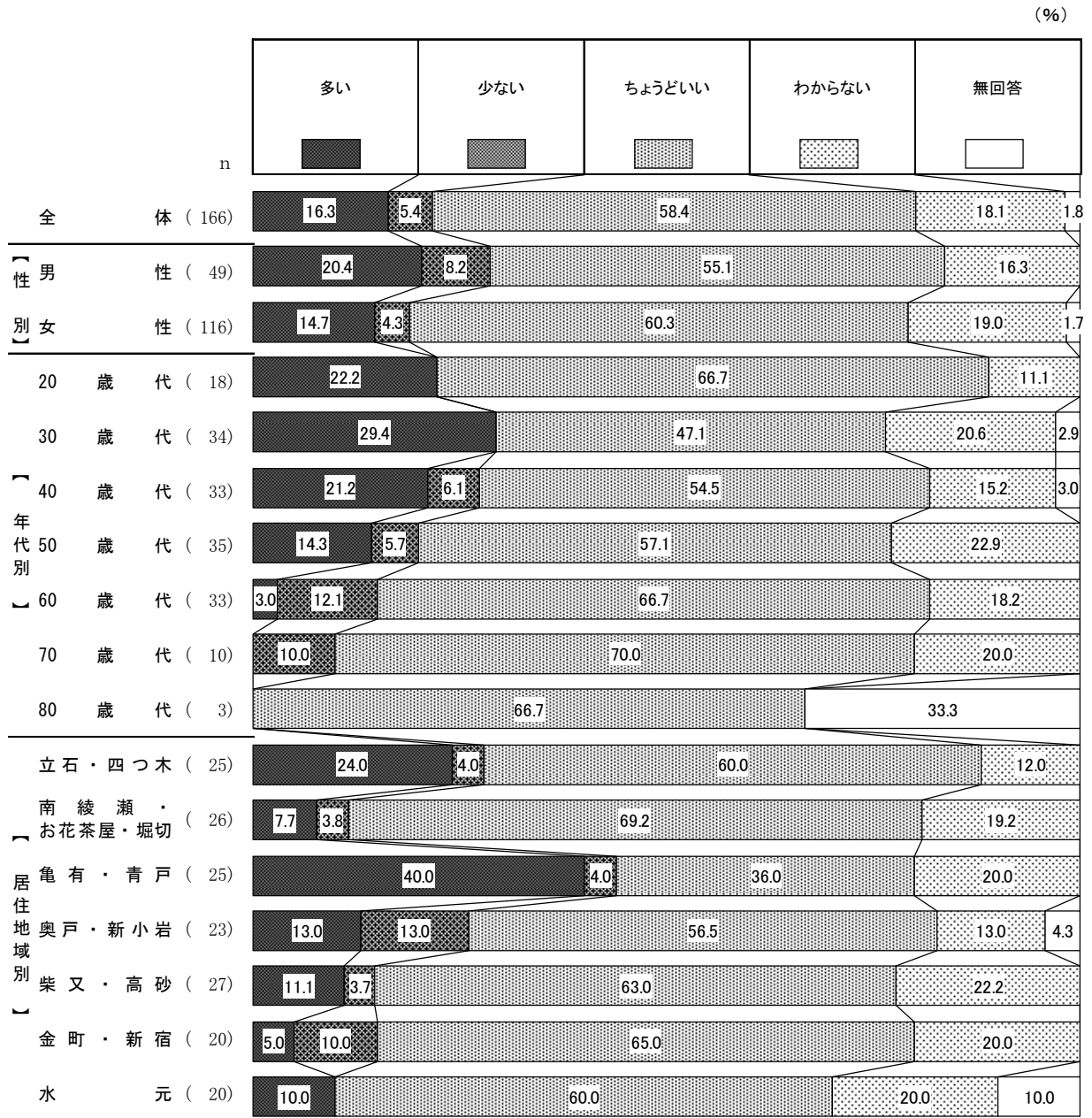
図表-57 次年度の調査回数（5回）について（全体）



<回答の主な理由>

<p>多い</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の倍以上になるので、時間に余裕がないと厳しい。 回答者の負担が増して、回収率が下がると思う。 3か月に1回が妥当だと思う。 1回の設問数を増やす方が効率的。
<p>ちょうどいい</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児の合間でも出来たから。 5回くらいなら負担にならないと思う。 よりよいまちづくりにするため。 区民の考えを知るための調査なので、回数を増やすことはよいと思う。 回数を増やすことで、区民の考えが区に届きやすくなると思う。 年2回ではモニター意識が薄れるため。 ちょうどいい回数だと思う。
<p>少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> もっと区の実情を知りたい。 年2回は少ないと思っていた。 様々な課題があるので、もう少し意見を聞いたらどうか。
<p>わからない</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査の内容による。 調査内容が不足していれば増やすべきだが、そうでないなら今のままでよい。 やってみないとわからない。

図表-58 次年度の調査回数（5回）について
（全体・性別・年代別・居住地域別）



(32) 区民モニター調査についてモニターの立場から必要だと思うこと

問 32 区民モニター調査では、調査回数を重ねるごとに回答数（回収率）が減少していく傾向があります。より多くの皆さんに回答してもらうために、モニターの立場から必要だと思うことはありますか？（自由記述）

【主なご意見】

<情報発信について>

- ・一長一短かもしれないが、各回で事前にどのようなテーマについてアンケートを実施するかアナウンスしておく、回答率が上がるのではないかな。
- ・回答率を毎回公開して、回答を促してほしい。
- ・紙媒体でなく、メールなどで URL が送られてくれば外出先などでも回答しやすい。
- ・再度アンケートのお願いを資料配布し催促する。
- ・未回答の方にはメールにてお知らせする。
- ・後でやろうとっていて回答し忘れた方もいるかと思うので、リマインドのメール、または、はがきで通知する。
- ・ウェブ回答希望者には、メール通知やリマインドをかける等の方法を取ったほうがよい。ウェブで回答済みの場合にも、督促はがきを全回答者に郵送しているかと思うと時代遅れ感が否めない。
- ・インターネット回答を選んだ人には、メールか QR コードをつけたはがきなどで調査票を送ってほしい。封筒に入っていると億劫で封筒を開けないまま終わるときがある。

<実施回数・設問数について>

- ・1回のボリュームが大きすぎる気がする、回数を増やしてボリュームを減らしてはどうか。
- ・毎回45問ではなくて、少ない時があってもよいと思う。
- ・実施頻度を年2回から増やすのは習慣化のためによいと思う。
- ・実施回数を2年で4回ではなく、1年で4回の方が中だるみしないと感じる。
- ・2年間モチベーションが続かない、または環境の変化がある人がいると思う。1年の任期で実施回数を6回程度にするのはどうか。
- ・全2回だと習慣化しないので、全5回くらい実施してもよいと思う。
- ・実施時期を連休や閑散期にするなど工夫する。
- ・1回の締め切りを短くするのはどうか。
- ・区側は様々な内容を1回の調査で網羅したいと考え設問を作ると思うが、結構な時間を取られている。実施回数を増やして、30分程度で回答できる量にしたら負担が少なく回答しやすい。

<謝礼について>

- ・回答回数に応じて謝礼に強弱をつける。
- ・全ての回で回答しないと謝礼をもらえないようにする。
- ・2回回答すれば謝礼がもらえるのであれば、回収率が減っていくのは必然だと思う。
- ・全ての回で回答したら賞状のようなものがもらえるとやりがいがある。
- ・図書カードや、区内で使える商品券など多少の見返りがあってほしい。

- ・調査回毎に謝礼が出るとよい。

<調査結果について>

- ・モニターが出した意見に対してどのようなことを行ったかアウトプットを出すこと。
- ・アンケートの集計結果は公表されるものの、区政への程度反映されたのかわからない。過去の調査の意義も示すことはできないか。

<その他>

- ・理想は100%だが、設問により関心度が違うため妥当な数字ではないかと思う。
- ・イラストを入れてわかりやすくする。
- ・減少前提で、多めにモニター数を確保する。
- ・自ら応募したにも関わらず回答していない方の気持ちがわからない。
- ・選択式設問であれば、あまり構えずに回答できるのではないか。
- ・最低2回の協力と言わず、全回か未回答があると次の調査が届かないようにするなど。
- ・区民としての責任感や地域のためになるということの意識が必要。
- ・モニターが一番区政で気になっていることを自由に意見できるコーナーがあると嬉しい。私は特にごみの分別について気になっている。
- ・回答しない人がいることに驚いた。回収率を重視するのであれば、現状の質問数は大変だと感じる量なので、質問数を減らしたらどうか。内容を重視するのであれば、この程度の回収率減少は許容範囲のように感じる。
- ・モニターに選ばれたという自覚が必要だと思う。毎回回答すべき。
- ・モニターとして質問の趣旨がわからないこともあるので、モニター側から逆質問をできるようにするか、すぐやる課に予約して質問できる仕組みを作ってほしい。
- ・1年間で区役所に行ったことのある人に良かった点や悪かった点、感謝した点を記述してもらい、次回の調査で質問するなど工夫してほしい。
- ・12月は年の瀬で忙しいので、時期をずらして11月に調査した方がよい。
- ・回答率が低くなるのは仕方がないと思う。回答数を減らしてみるのがよいのではないか。
- ・紙ではなく直接会場に集まって発言できてよいのではないかと思う。
- ・郵送で書類が送られてくるよりも、メールやSNS、プラットフォームを活用した方が気軽に回答できると思う。
- ・モニターの立場として回答しなければならないと思っているが、調査の内容など区側に問題はないか。本当に必要な調査なのか、多くの方の興味を引く内容かなどを考えてほしい。関心がないからという理由がほとんどだと思う。
- ・意見が集約されると、自分の意見がどの程度反映されるか疑問に思う。また、その他大勢の中に埋没しているような気がする。

(33) 区民モニター調査の希望回答方法

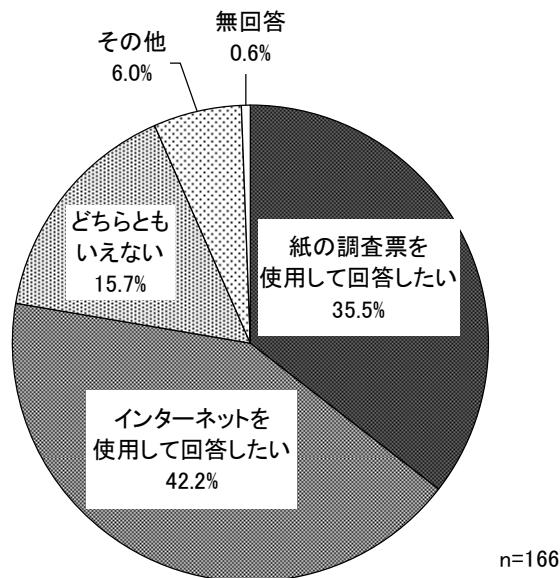
問 33 区民モニター調査について、紙の調査票とインターネットのどちらの方法で回答
したいですか？（○は1つ）

区民モニター調査の希望回答方法は、「インターネットを使用して回答したい」が42.2%で最も高く、次いで「紙の調査票を使用して回答したい」が35.5%となっている。

年代別でみると、「インターネットを使用して回答したい」は、20歳代、30歳代で5割以上となっている。「紙の調査票を使用して回答したい」は、70歳代、80歳代で5割以上となっている。

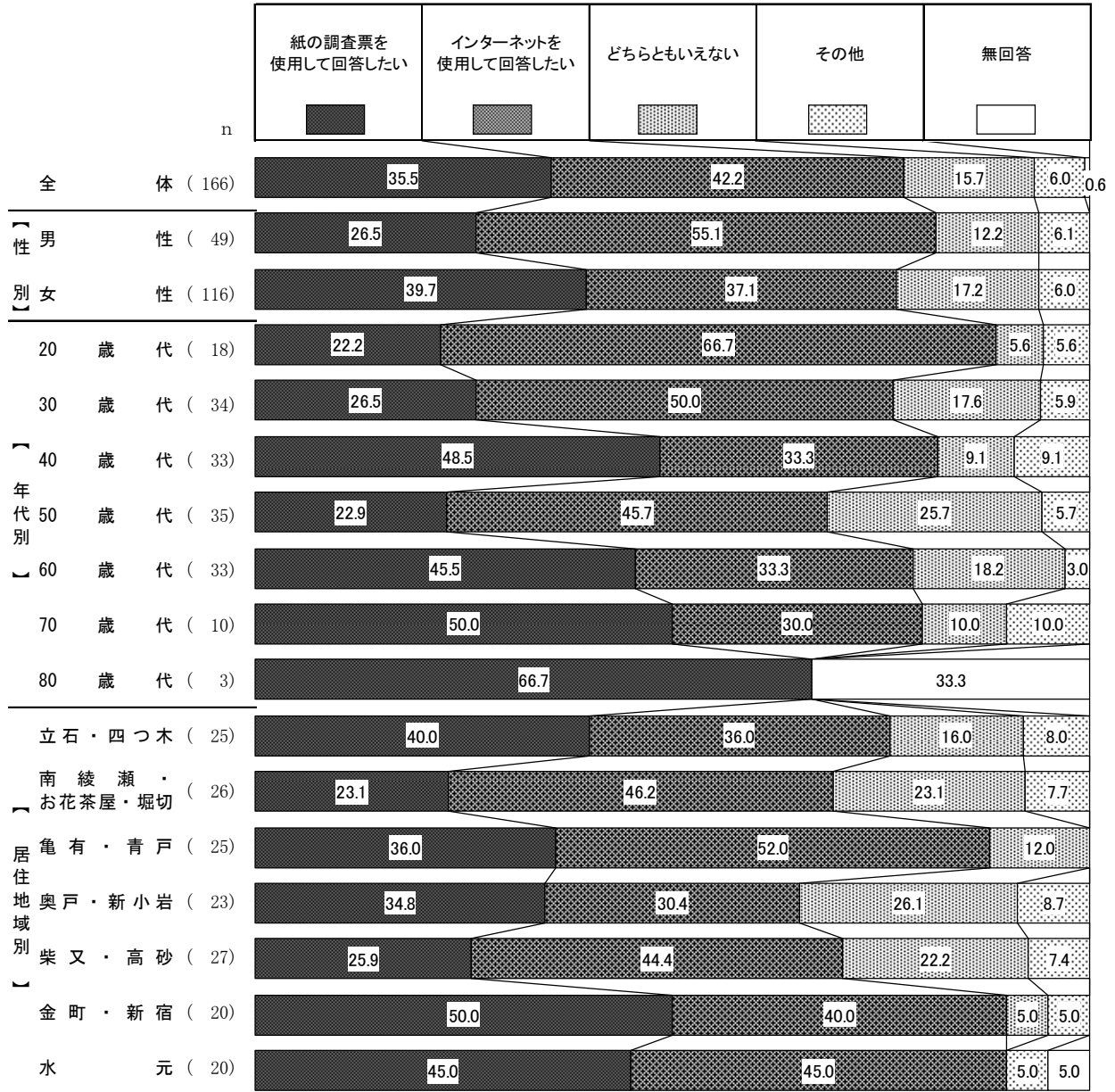
「その他」の意見としては、「LINEで回答できるとよい」、「どちらでも回答できるとよい」などがある。

図表-59 区民モニター調査の希望回答方法（全体）



図表-60 区民モニター調査の希望回答方法
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(34) 各回の調査報告書の閲読度

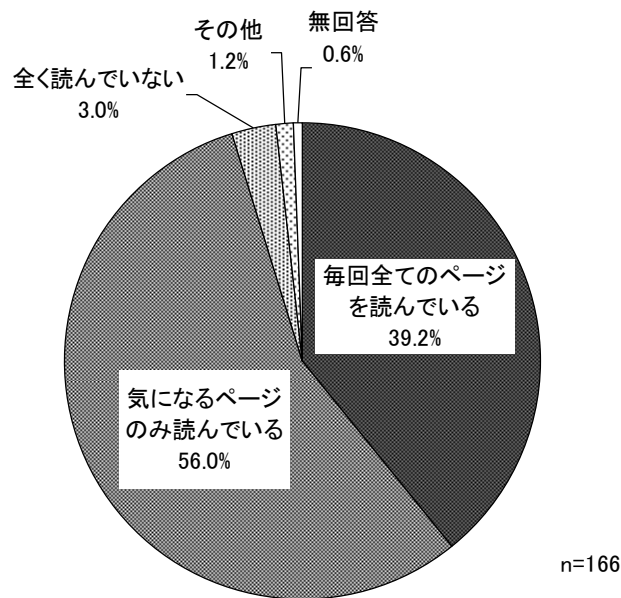
問 34 各回の調査報告書は読んでいますか？（○は1つ）

各回の調査報告書の閲読度は、「気になるページのみ読んでいる」が 56.0%で最も高く、次いで「毎回全てのページを読んでいる」が 39.2%、「全く読んでいない」が 3.0%となっている。

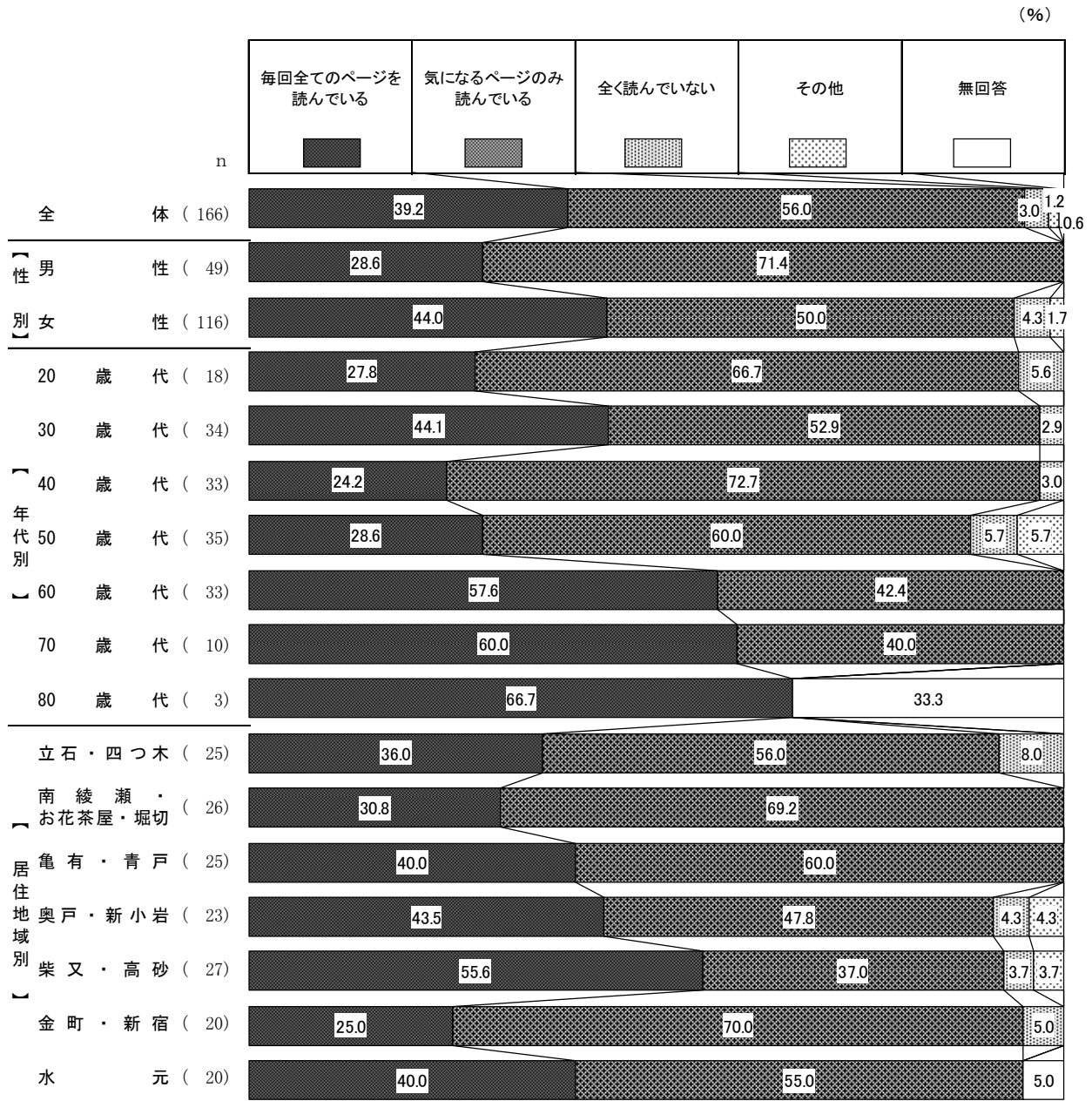
年代別でみると、「気になるページのみ読んでいる」は 60 歳代以上を除く全ての年代で 5 割以上となっている。「毎回全てのページを読んでいる」は 60 歳代以上の全ての年代で 5 割以上となっている。

「その他」の意見としては、「自由記述の部分を特に読んでいる」などがある。

図表-61 各回の調査報告書の閲読度（全体）



図表－62 各回の調査報告書の閲読度
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(35) 区民モニターの活動をする以前に区に対して意見や要望を伝えたことはあるか

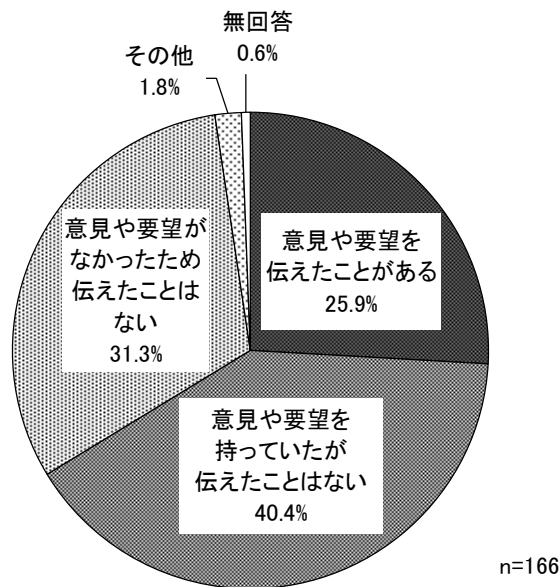
問 35 区民モニターの活動をする以前に区に対して意見や要望を伝えたことはありますか？（〇は1つ）

区民モニターの活動をする以前に区に対して意見や要望を伝えたことはあるかは、「意見や要望を持っていたが伝えたことはない」が40.4%で最も高く、次いで「意見や要望がなかったため伝えたことはない」が31.3%、「意見や要望を伝えたことがある」が25.9%となっている。

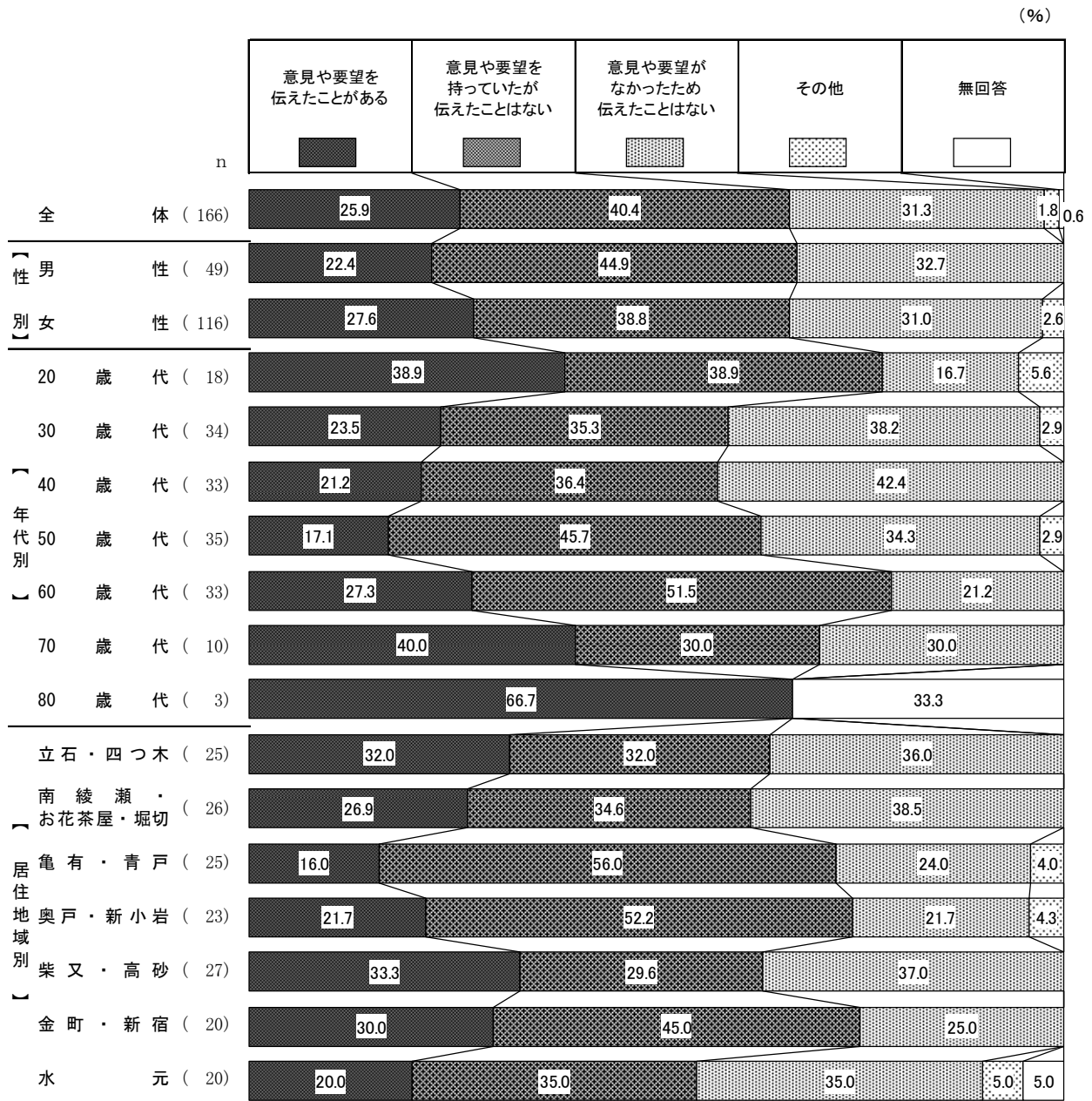
年代別でみると、「意見や要望を持っていたが伝えたことはない」は、全ての年代で3割以上となっている。「意見や要望を伝えたことがある」は、20歳代、70歳代、80歳代で3割以上となっている。一方、50歳代が1割台と低くなっている。

「その他」の意見としては、「伝える方法がわからなかった」などがある。

図表-63 区民モニターの活動をする以前の区に対する意見や要望の有無（全体）



図表-64 区民モニターの活動をする以前の区に対する意見や要望の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)



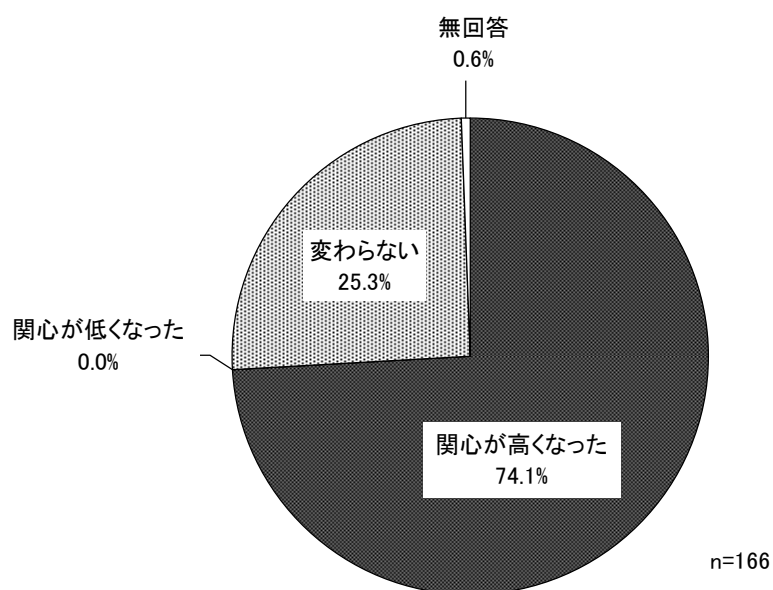
(36) 区政への関心度

問 36 区民モニター調査を通じて区政への関心は高くなりましたか？（○は1つ）

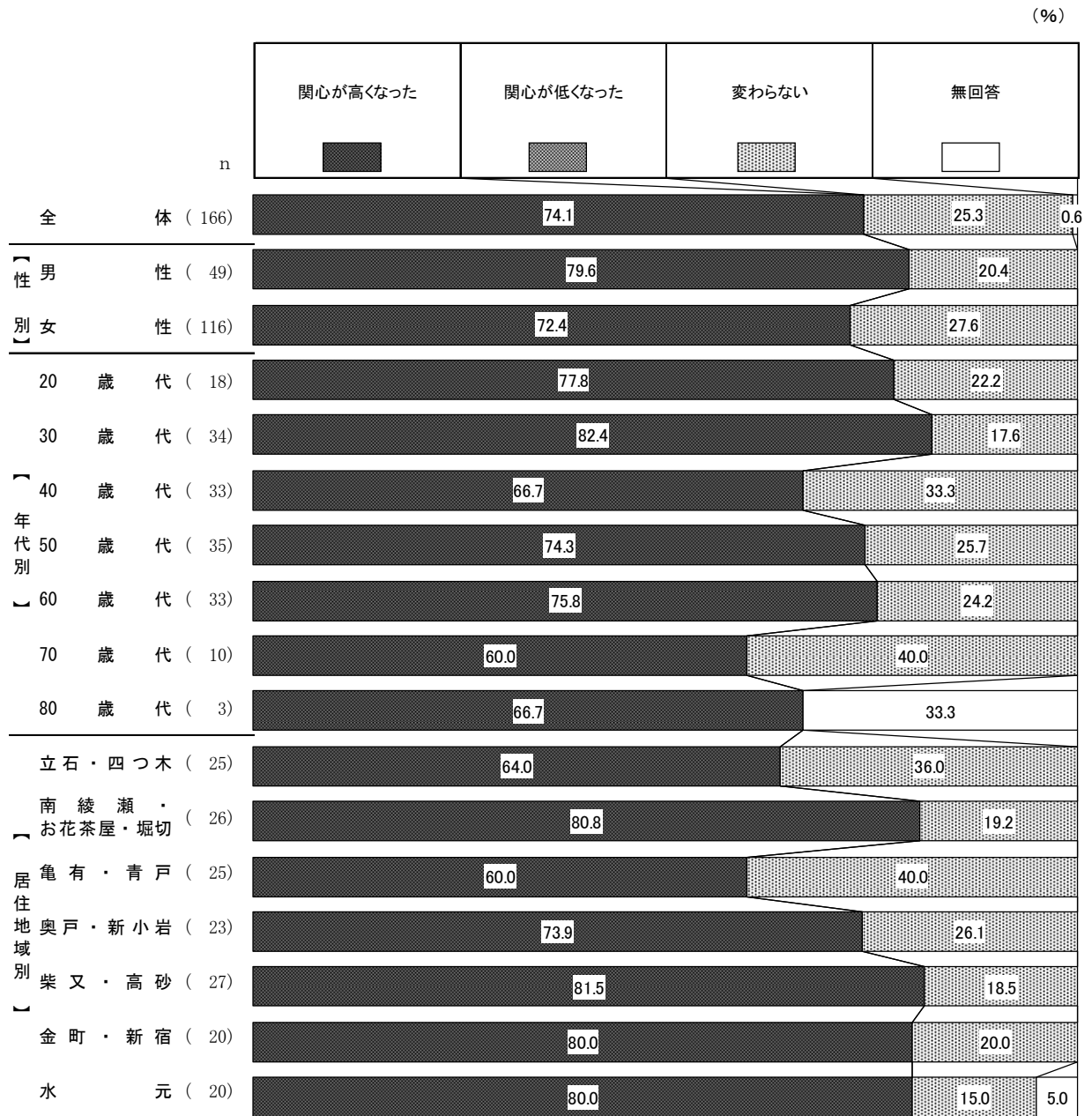
区政への関心度は、「関心が高くなった」が74.1%で最も高く、次いで「変わらない」が25.3%となっている。

年代別で見ると、「関心が高くなった」は全ての年代で6割以上となっており、30歳代が82.4%で最も高くなっている。「変わらない」は、70歳代が40.0%で最も高くなっている。

図表-65 区政への関心度（全体）



図表-66 区政への関心度
(全体・性別・年代別・居住地域別)



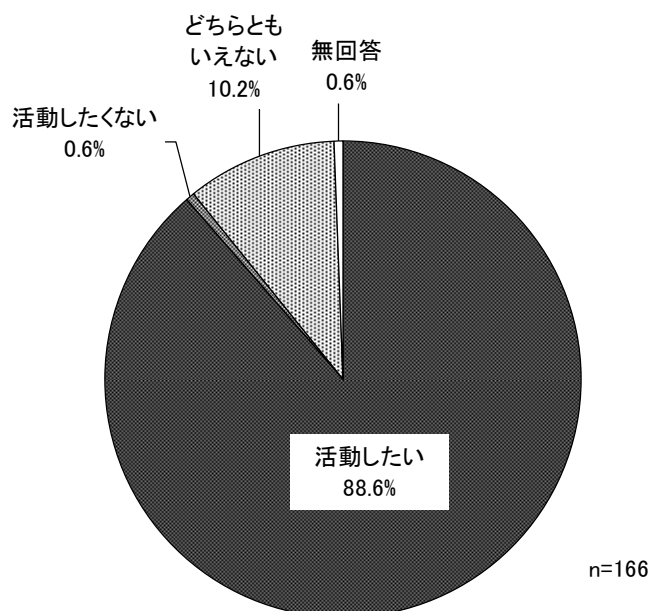
(37) またモニターとして活動したいか

問 37 2年間区民モニターとして活動いただきましたが、機会があればまたモニターとして活動したいと思いますか？（○は1つ）

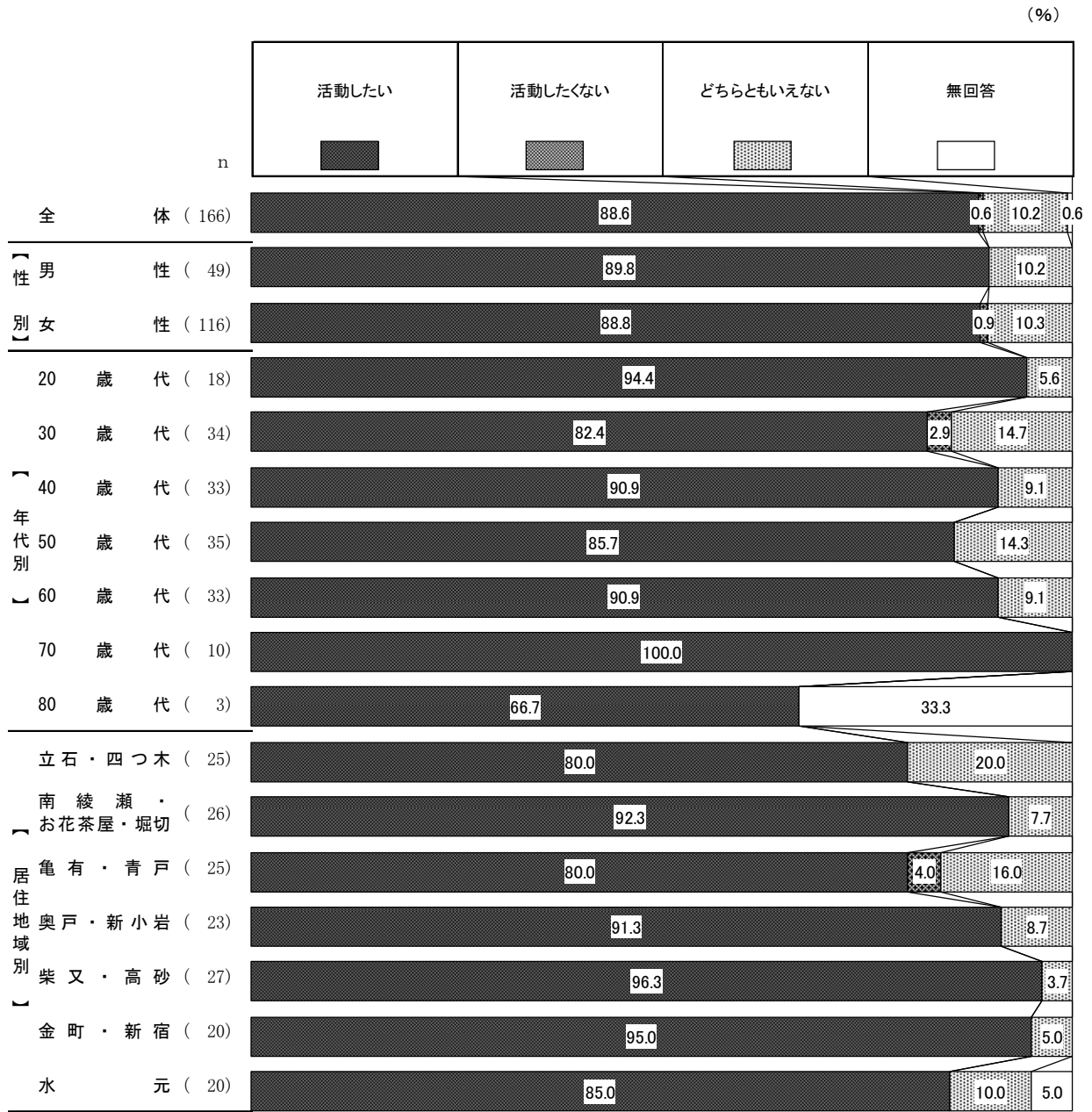
またモニターとして活動したいかは、「活動したい」が88.6%、「活動したくない」が0.6%、「どちらともいえない」が10.2%となっている。

年代別でみると、「活動したい」は全ての年代で6割以上となっており、80歳代を除く全ての年代で8割以上となっている。

図表-67 またモニターとして活動したいか（全体）



図表-68 またモニターとして活動したいか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(38) 区民モニター調査に関する意見

問 38 区民モニター調査に関して、今後の改善点や取りあげてほしいテーマ、全体を通しての感想などがありましたらご記入ください。(自由記述)

【主なご意見】

<取り上げてほしいテーマ>

- ・スポーツや観光、イベントに関するテーマ。
- ・町会や地域における情報共有や助け合いについて。
- ・路上喫煙対策について。
- ・自転車の利用マナーについて。
- ・いじめ問題に関すること。
- ・区役所の移転に関して。
- ・子育て世帯への支援や政策について。
- ・学校教育や環境について。
- ・健康診断や予防接種について。
- ・水害などの災害について。
- ・高齢者福祉、介護について。
- ・新金線旅客化や犬猫の問題について。
- ・道路の状態や交通ルールに関して。
- ・区のイベント施設の利用について。
- ・周知の意味でも区政全てに関して広く扱ってほしい。
- ・ごみの回収などより生活に身近なテーマにしてほしい。

<今後の改善点や要望>

- ・ほとんどウェブで回答していたため、郵送される調査票が無駄になると感じた。紙とウェブを選択出来るようにしてはどうか。
- ・経費の無駄になるので、調査結果の配付は郵送ではなくホームページでの公開でよい。
- ・毎回調査票を郵送し、返送された回答を取りまとめる現状の方法では、手間もかかるし、資源も無駄になるので、全てインターネットを利用した回答としてよいと思う。
- ・インターネットで回答している人に、冊子での郵送は不要だと感じる。
- ・毎回ウェブ回答なので、冊子の郵送はもったいないと感じていた。調査結果も立派な冊子に無くても、PDFで見ることができれば十分だと思う。
- ・アンケートフォームに関して、もう少しやわらかくイラストなどを使ってみてはどうか。
- ・古着の集団回収についての設問で、文字の説明だけでなく写真などがあればもっとわかりやすいと感じた。
- ・調査票および調査結果について、紙の撤廃を求める。
- ・区民モニター調査はインターネットで行うようにしてほしい。
- ・小さなことでも、調査での意見を受けて設置されたものや開催されたイベントなどの成果があれば教えてほしい。様々な人の時間が使われて、意見が集約されているので、体裁だけにせず、集めた意見は是非とも早めに反映してほしい。

- ・モニターの見解が役に立っているかを知りたい。
- ・区民モニター調査という制度があることを、もっと区民に知らせる活動が必要なのではないかと感じた。
- ・出した見解がどう取り上げられ、活用されるのかどうかなどについて、インターネット上で公開して欲しい。

<感想など>

- ・区が様々なことを考え、取り組もうとしていることがよくわかったと同時に、多くの区民には伝わっていないことがたくさんあるのではないかと感じた。
- ・調査結果が区民の生活環境などの向上につながることを期待する。
- ・区民モニターの題材を通じて、自分の住んでいる区に対して考えるよい機会となった。このような活動があることをもっと様々な人に知ってもらった方がよいと思う。
- ・知らなかった区の実組を知るよい機会となった。
- ・広報かつしかだけでは区の実組がわからない。今回、区民モニターになって初めて知ることが多かった。
- ・自分の見解や他の区民の方の見解を直接知ることが出来て、関心が高まった。
- ・この調査の結果のどこの部分を取り入れて、実際に改善した等の報告があれば、役に立ったと実感できてよいと思う。
- ・年齢や住居が違ふ様々な方の見解が集まるのはすごくよいことだと思う。
- ・モニターを通じて、区民として「意識」が生まれたように思う。今後、何か気付いたことがあれば区へ見解してみようと思う。
- ・現在区がどのような実組をしているのか、また、今どのような問題があるのかがよくわかり、モニター調査に参加してとてもよかった。次回もまた参加したい。
- ・2年間全く負担を感じずに活動できたと思う。高齢者や子育て世代などこれから身近な家族がさらに区政に求めることは多くあるので、モニター調査は必要だと実感した。
- ・全ての回に回答した。役に立てたのならよかった。
- ・回答率が低くなるなら、回答率に比例した謝礼にすればよいかもしれない。モニターとしての活動は楽しかった。
- ・自分の住んでいる区に多少関心が高まった。モニター活動をしてよかったと思う。
- ・区民モニター調査をするようになってから、区のホームページや広報かつしかに目を通すようになり、区政への関心や愛着が高まった。貴重な経験だったと思う。
- ・活動を通して、今まで知らなかったことや、関わりがなかったテーマについて考えることで、勉強になった。調査報告書で他の方の見解を知ることができるのもよかった

令和5年度
葛飾区区民モニターアンケート調査報告書
第2回 一般モニター

令和6年（2024年）3月発行

葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係

東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03-3695-1111（代表）